然也、裁判法律具有成文、固如斷行論者言、唯國力如此之耗屈、兵備如此之綿弱、方今萬國交際有公法、而公法行于強國、而不行於弱國、無他、無國力足以行公法之權也、五胡亂晉、實源于雜居、況強百倍五胡者乎、余覩樺太無故爲彼所蠶食、不忍旁觀于舉世吸々論者之言、不覺發此言、若使此言不當、則天下蒼生之幸、宗社萬世之榮、迂濶如余者、固應絕口不復談當世也、

薩哈嗹島露國ノ漁業新規則

明治三十二年十一月一日露國政府ハ期限ヲ付セス薩島漁業區域ヲ外國人ニ許可シ漁業新規則ヲ發布シタル由ニシテ函館薩島漁業組合總代内山吉太森德松兩氏ハ該件ニ就キ哥留蕃港領事久世氏ノ電報ニ依リ過日愛國丸ニ乘シ同地ニ出張シ十一月二十八日久世氏ト共ニ室蘭ヲ經テ歸函セリ今許可シタル「テベニー」岬ヨリ「アニワ」灣岬ニ至ル又「クリオン」岬ヨリ「ポコビ」岬ニ至ルノ間ニ測定シタル新規則ノ要領ヲ聞クニ左ノ如シ

一　企業者ハ勞働夫トシテ露國臣民又ハ外國人ヲ隨意雇入ルヽコトヲ許可ス

一　地方住民等ハ自己需要ノ爲ニハ無稅ヲ以テ釣具釣鉤乾網其他ノ小漁具ヲ使用シ漁撈スルコトヲ得ヘシ

一　外國民ハ漁場ニ通辯ヲ有セサルヘカラス

一　漁區永年限リ借地ハ每時總督ノ許可ヲ受ク特例ノ契約ニ於テ交付セラルヽモノトス

一　漁夫每年ノ交付方ハ國財省支部ヨリ翌年ノ漁期ニ於ケル各漁區ノ價格ヲ附スル假リニ告示スルモノニ基キ施行ス其價格以下ニ於テハ漁區交付セラレサルモノトス

一　漁區ノ價格ハ二十五留ヨリ百五十留ノ間ヲ昇降スルモノトス

一　該價格ノ外締粕及ヒ乾魚日本鹽漬ノ意)一布度ニ付露國民ハ五哥外國人ヨリハ七哥ツヽ徵收ス

一　漁夫交付ノ際露國臣民ハ外國人ニヽテ尊敬先權ノ意)ヲ與ヘラルヽモノトス

一　上述ノ外既ニ從來ヨリ其漁區ヲ占メ且ツ常住ノ建物ヲ有スル者等ハ尊敬セラルヽモノトス

一　前記ノ特權ハ翌年漁期ニ於ケル漁區ノ下附願書ハ該漁期ノ前年九月一日前ニ地方州長官ニ於テ受理サレタルモノニ限リ授ケラレタルモノトス

一　九月一日後休場トナリタル殘餘ノ漁區ハ之ヲ借地シタキ念願書ヲ第一差出シ

タルモノニ交付ス、

一　條件ノ同一ナル時ハ九月下半月ニ地方州長官ニ於テ口頭ノ競爭ヲ爲サシム

一　來ル千九百年ノ漁期ニ於テ九月ノ代リニ願書提出ノ期ハ二月一日ト定ム而シテ競爭ハ同年二月下半期ニ於テス

一　漁區ニ對スル納稅ハ無競爭ニ依リ漁區ヲ得タル輩モ其者ノ漁區ト定リタル旨通知ヲ受クシヨリ一ケ月以內ニ於テ爲ササルヘカラス然ラサレハ之ヲ辭セシモノト認メ漁區ハ他ノ志願者ニ交附セラルヘシ

一　地方ノ土人又ハ露國漁業者ハ納金ノ代リニ國法ヲ制定シアル擔保及ヒ(原名ミールスキュブレガヲール)ヲ提出スル特權ヲ授ケ而シテ外國人ニハ若シ領事ニ於テ同胞漁業者ニ代リ其年內ニ納金スヘキノ保證ヲ入ルルニ於テハ納金ナク布度稅ニ屬スル海獵物ノ輸出ヲ差許ス

一　材木稅ハ以前通リ地稅ハ一「サージェン」ニ付一哥ツヽ支拂フヘシ

一　建網類ノ距離ハ紅魚漁ハ二露里ヨリ少ナカラス

一　鰊漁ハ該距離ヨリ少ナキコトナカルヘシ之ニ因リ漁區ノ類ハ前年ニ對シ減少スヘシ

一　鰊粕ハ鰊ニ限リ製造スルコトヲ許ス

一　魚類ノ貯藏製造ハ鯨ノ外船舶內ニ於テスルコトヲ禁ス

以上ノ如クニシテ薩島北部ニハ亦他ノ規則ヲ設クタリト云フ尙玆ニ注意シ置ク必要アルハ地稅ハ蓿來一「デシヤテン」ニ付一留ナリシ所本年度ニ於テハ一「サアジン」哥ニアリ即チ「デシヤテン」ハ二十四留ニ當ル

薩哈嗹島ノ漁業

北見國宗谷ヨリ露國薩哈連島白主渡海場ニ到ル三十八浬白主ヨリ楠渓我カ領事館マテ約七十四浬陸路三十五里通シテ百十浬餘通常瀛船ニテ十二時間前後ヲ費スヘシ夫レ樺太即チ薩島ハ既ニ屢ニ記載セシ如ク遠ク寬政ノ初年ヨリ露國人民ト我カ國民トノ間ニ於テ紛擾常ニ絕ヘス政府之レカ處置ニ就キ多年ノ間警戒ヲ加ヘ爲メニ國費ヲ耗シタルモノモ亦タ少ナキニアラザルナリ(樺太交換ノ際遠ク千島ニ在ル北海外交ニ關スル記事ニ詳ナリ)彼ノ國民動モスレハ擅橫暴行以テ國際ヲ破リ波瀾ヲ起サントスルモノ屢ナリ明治八年千島樺太交換成リシヨリ旣ニ二十五年此間北海ノ國境ニ於テ兩國間國際上ニ於テ平波

無事ナリシハ喜フヘシト雖モ然レモ此交換ハ實ニ止ヲ得ザルニ出テタルニアリ是レ多年兩國間ノ關係葛藤シテ解クヘカラサル中我カ國家内外多事強硬ナル談判ヲ遂ケル迫ナク終ニ數歩ヲ彼レニ讓リタルモノト云ハサルヲ得ス彼ニ與ヘタル讓歩ハ早晩回復ノ途モアルヘシ或ハ曰ク國家ノ上ヨリ觀察ヲ下ストキハ敢テ損害ヲ受ケタルニアラズト然レモ此二十五年間ニ讓リ受ケタルクルーリ諸島即チウルツプ以東ニ於テ何等ノ利益ヲ得タルヤ否ヤ果シテ一ノ利益ヲ得サルノミナラス却テ厄介物ナル密獵船ノ取締航海ノ補助等不生産的ノ國費ヲ失ヒ又熱瞰ナル郡司大尉ノ如キ千島拓殖ニ盡瘁セルモノアリト雖モ未タ嘗テ其効果ヲ見ルニ至ラス實ニ慨嘆セサルヘカラサルヤ故ニ今之カ恢復ヲ計ラントスル敢テ難キニアラス即チ本道人民ノ奮起ニアルノミ何スレソ恢復ヲ計ルヿヲ得ルヤ漁業ノ利益ヲ得テ以テ之ヲ償ハントスルニ過キサルノミ夫レ樺太ハ鮭鱒ヲ以テ重要ノ海産物トナス而シテ其漁期ノ如キハ本道ヨリ約一ケ月早ク鱒獵ヲ終レハ直ニ鮭漁ニ着手スルヲ得テ漁業ノ手配最モ利便ナリ從前ハ樺太ノ穴粕ト稱ヘ鮭獵ニ富ミ之ヲ製造スルノ暇ナク釜ニテ煮上ケ沙中ニ穴ヲ掘リ焚タル鮭ヲ打込ミ後乾燥シテ粕トナスカ如キ又穢製ノ如キモ穴中ニ鹽漬シテ持チ歸ルカ如キ是等ノ狀況ニ依テ見ルモ鮭鱒ノ豐漁ナル知ルヘキナリ今ハ以前ノ如クナラズト雖モ我カ北海道ノ如キ鮭鱒ハ年々凶歉ヲ告ケ衰頽ニ傾キ價格非常ニ暴騰スト雖モ猶漁業ノ得失償ハザルカ如キ獨リ鮭鱒ノミナラス鯡等ノ如キモ年々薄獵ヲ告ケ報酬漸減シテ倒ルヽ、漁家比々相加ハラントス此機ニ乘シ我北海道ノ漁家團結シテ薩島ニ出稼シ勇進奮起漁業ヲ爲スアラハ其得ル所ノモノ少ナカラザルヘシ蓋シ樺太漁業ノ先鞭ハ函館在住ノ人ニ多ク又彼ノ地ノ事情ニ通シタルモノモ猶函館人ヲ以テ最一トス然レモ薩島露國總督府ノ規則ヲ熟知セザルヨリ動モスレバ反則者トナリ終ニ信用ヲ墮シ政府ノ厄介ニナルモノアラントス且又該總督府モ一定ノ規則ヲ施行セズ内國人ニ厚クシテ外國人ヲ壓制スルノ嫌ナキニアラス然ルニ本年發布スル所ノ規則ノ如キハ内外人ノ區別アリト雖モ之ヲ昔日ニ比ブレバ雲壤ノ差アリ是レ久世領事ノ與ツテ力ラヲ致セシ結果ナリト雖モ亦露國開放主義ニ由テタルハ明カナリ獨リ漁業ノミナラス鑛物モ亦地中ニ埋没シツヽアリ是等ノ遺利ヲ拾收スルモ可ナリ獨リ薩島ノミナラズ西比利亞海岸浦港以北漁業盛ナル地ニ勇進シテ漁利ヲ獲スルモ亦可ナリ然レモ本道ノ漁業家ハ沿海ノ漁業ニ馴レ勇奮シテ外國ニ出獵スルノ氣象ニ乏シ我カ領海ニ遠洋漁業ヲ爲スモノモ實ニ稀ナリ故ニ協同一致ノ力ヲ以テ大ニ隣國ニ出獵シテ壯快ナル拾利ヲ收メ一ハ千島ノ利益ヲ薩島ニ償ヒ一ハ對岸ニ出獵シテ富源ヲ求メ以テ神州ノ氣力ヲ

養成セントスルハ是レ實ニ余カ有爲ノ諸士ニ諗クル所ノ赤誠ナリ猶一言ノ注意ヲ要スル事件アリ若シ夫レ余カ希望ノ如ク多數ノ漁業家彼ノ地ニ出獵セントスルカ或ハ規則ヲ無視シ犯人トナリ又ハ粗暴ノ行爲ヲナシ法律ニ觸ルヽカ如キ事アラハ一人ノ犯罪ハ延テ我カ國民ノ信用ヲ害スルモノナレハ玆ニ鑑ミ深ク愼ミ永遠ニ安全ナル漁業ヲ爲シ進ンテ商業及鑛業等ニ從事シ生存競爭ノ結果餘贏ヲ得ルアラハ戰勝ト奚ソ撰ハンヤ樺太紀行ノ增訂ヲ記スルニ當リ既往ノ事今謂ツテ益ナシ其現今薩島ノ狀況ノ如キハ他日之ヲ稿シテ有志家ニ頒ツコトアラントス玆ニ增訂ノ稿ヲ納ムルニ當リ岡本文平氏ノ著ハセシ窮北日誌ヲ閱シ氏カ慶應乙丑ノ年五月ヨリ八月ニ至ル一百餘日樺太桑州七百餘里ヲ跋涉シ風土文物ヲ詳ニシテ開拓ノ事業及ヒ施設ノ方法ヲ雄圖セシ往時ヲ追懷シ該島有名ノ大河靜香(鮭獵最モ盛ナル河流ナリ)ノ河畔ニ露營シ蝦夷人ヲ集メテ豪飮シ徹夜開拓ノ經綸ヲ凝ラシ意氣豪放詩ヲ賦シテ志ヲ敘フ亦盛ナリト云フヘシ曰ク

三面青山聳遙遙翠黛新曠野數十里洪濟不見垠一水自北來一水自西北二水合流處耕漁可貨殖誰知立洪基(急務在遊獵男兒有所見欲取陳機宜中原會陽九孤忠無由表空懷)

卜居志且俟後人紹

顯三曰意氣冲天氣骨如鐵、

露領薩哈連島沿岸本邦人漁業三十三年三月十日官報掲載)

露領薩哈連島ニ於ケル本邦人ノ漁業ニ附キ在哥爾薩港帝國領事館事務代理外務書記生鈴木陽之助ヨリ去月二十五日發左記ノ電報到達セリ

黒龍江總督ノ命ニ依リ本年ノ漁期ニ對シ漁業者カ既ニ著手セシ準備ト諸費トヲ酌量シ千九百年ニ於テハ新規則第十三條ヲ變更シ交付セシ區域表ニ基キ國籍ノ區別ナク是マテノ通前借地者ニ漁場ヲ交付スヘキ旨ヲ州長官ニ達セシ趣漁業總裁ノ電報ニ接シタリ又願書受理ハ露歷三月一日マテ延期セラレタリ

○黒龍沿道總督府管內漁業區域　露國黒龍沿道總督府管內漁業區域發布ニ付キ浦潮斯德駐在貿易事務官二橋謙ヨリ昨三十二年十二月十五日附ヲ以テ左ノ如ク譯報アリ(昨三十二年十二月本欄參照)(外務省)

千九百年度沿海州漁業區域

第一　薩哈喱島漁區

甲　同島東岸

漁區番號	漁業圖ニ示セル番號	漁場ノ名稱	漁區海岸ノ延長(サーセン)ニテ	免許貸與別	金額
		漁場ノ地位			

第九編　薩哈喱島漁區表

一	ナイブート	六五八	テルペーニ岬ヲ距ル五十七露里	同	鱒鮭漁	
二	ノトヌアード	一一七一九一〇	第一漁區ヨリ四北	同		
三	ノトヌアード	一一七一九一〇	第二漁區ヨリ四北	同		
四五	コヌソヤンケナイ	一三一七九二	第三漁區ヨリ四北	同		
四五	コヌソヤンケナイ	一三一七九二	第四漁區ヲ距ル千七百五十「サーゼン」	同		
六	ジムタキ	二三九二	第五區ヲ距ル五露里ニシテノコロ河ヨリ東方二千九百九十五「サーゼン」ノ所	同		
七	名稱ナシ	一一五〇	第六漁區ノ竝ヒノコロ河ヨリ東方千八百四十五「サーゼン」ノ所	同		
八	ヤンケナヨポント	一〇〇〇	第七漁區ヨリ六露里半ノコロ河ヨリ四方千四百四十七「サーゼン」ノ所	同		
九	ヤンケバニヤクキ	八八三	第八漁區ヨリ千三百十四「サーゼン」ニシテノコロ河ヨリ四方三千七百六十一「サーゼン」ノ所	同		
十	トーケシマナイ	一〇〇〇	第九漁區ヲ距ル七百三十五「サーゼン」ニシテノコロ河ヨリ四方五千三百七十九「サーゼン」ノ所	同		
十一	第壹ートロ號	一〇〇〇	第十漁區ヲ距ル八百「サーゼン」ノコロ河ヨリ四方七千百七十九「サーゼン」ノ所	同		
十二	トコアムニーニ	八七九	第十一漁區ヲ距ル八百「サーゼン」ノコロ河ヨリ四方八千九百七十九「サーゼン」ノ所	同		
十三	タラーイカ號	九一七	第十二漁區ヲ距ル千「サーゼン」タラーイカ河ヨリ東方一萬六百七十七「サーゼン」ノ所	同		
十四	タラーイカ十一號	八八五	第十三漁區ヲ距ル千「サーゼン」タラーイカ河口ヨリ八千七百九十二「サーゼン」ノ所	同		
十五	タラーイカ九號	九六〇	第十四漁區ヲ距ル千「サーゼン」タラーイカ河口ヨリ東方六千	同		

各區ニ付キ漁貨八十箇

十六	タラーイカ七號	一〇〇〇	第十五漁區ヲ距ル千「サーゼン」タラーイカ河口ヨリ東方四千八百三十二「サーゼン」ノ所	同		
十七	タラーイカ五號	七二三	第十六漁區ヲ距ル千「サーゼン」タラーイカ河口ヨリ東方三千百九十「サーゼン」ノ所	同		
十八	タラーイカ三號	七三〇	第十七漁區ヲ距ル七百二十八「サーゼン」タラーイカ河口ヨリ東方千六百五十一「サーゼン」ノ所	同		
十九	タウンコタン一六號	七一二	第十八區ヲ距ル三千二百六十六「サーゼン」タラーイカ河口ヨリ四方千六百十五「サーゼン」ノ所タウンコタン河ヨリ東方二百六十二「サーゼン」ノ所	同		
二十	タランコタン四號	六〇七	第十九漁區ヲ距ル五百三十三「サーゼン」タウンコタン河ヨリ東方千三百二十二「サーゼン」ノ所	同		
二十一	ホロナイ	六一五	ホロナイヲ距ル四千百二十一「サーゼン」ノ所	同		
二十二	ナイ二號	五六一	第二十漁區ヲ距ル六百三十一「サーゼン」ナイ口河ヨリ北方二千二百九十八「サーゼン」ノ所	同		
二十三	ナイ四號	五八一	第二十一漁區ヲ距ル六百二十五「サーゼン」ナイ口河口ヨリ北方千九十五「サーゼン」ノ所	同		
二十四	ナイ六號	六〇一	第二十二漁區ヲ距ル二千八百六十八「サーゼン」ナイ口河口ヨリ南方千七百七十三「サーゼン」ノ所	同		
二十五	ナイ七號	五四〇	第二十三漁區ヲ距ル二千八百六十八「サーゼン」ナイ口河口ヨリ南方三千六十七「サーゼン」ノ所	同		
二十六	ナイ八號	五七八	第二十四漁區ヲ距ル千九百五十四「サーゼン」ナイ口河口ヨリ南方四千二百四十五「サーゼン」ノ所	同		
二十七	ナイ九號	六〇一	第二十五漁區ヲ距ル九百五十四「サーゼン」ナイ口河口ヨリ南方五千八百六十八「サーゼン」ノ所	同		
二十八	ウチトンナイ	六五〇	第二十六區ヲ距ル千三百十四「サーゼン」ナイ口河口ヨリ南方五千二百十二「サーゼン」ノ所	同		
二十九	クチヤウナイ	六七〇	第二十七漁區ヲ距ル千「サーゼン」ナイ口河口ヨリ南方五千八百六十八「サーゼン」ノ所コタンギス河ヨリ南方千二百二十五「サーゼン」ノ所シュンニクイ河ヨリ北方四百二「サーゼン」ノ所	同		
三十	ハニウシコツナイ	六六九				
三十一	チヤクレコタン	七一〇				
三十二	トエクシ	七六〇				

各區ニ付キ漁貨百五十箇

三十三	名稱ナシ	一〇〇〇	第三十二區ヨリ千四百二「サーゼン」ニトーイ河ヨリ南方千	鱒鮭漁		
三十四	名稱ナシ	一〇〇〇	第三十三區ノ竝ヒニトーイ河ヨリ南方二千「サーゼン」ノ所	同		
三十五	アイハコナイポ	六〇六	ニトーイ河ヨリ南方六千七百九十一「サーゼン」ノ所	同		
三十六	モサフコタン	一五七八	第三十五區ヨリ六百五十「サーゼン」ニトーイ河ヨリ南方八千四十七「サーゼン」ノ所	同		
三十七	サフコタン	八七五	第三十六區ノ竝ヒニトーイ河ヨリ南方九千六百二十五「サーゼン」ノ所	同		
三十八	イソシシナイ	七九二	第三十七區ヨリ八百六十「サーゼン」セリコトウ河ヨリ北方三千二百十二「サーゼン」ノ所	同		
三十九	チヤカマウシナイ	八〇〇	第三十八區ヨリ七百三十區「サーゼン」セリコトウ河ヨリ北方一千六百七十三「サーゼン」ノ所	同		
四十	ソポモナイオタシカス	一二三二	第三十九區ヨリ二千七百「サーゼン」クエンコタン河ヨリ北方千「サーゼン」ノ所	同		
四十一	ヤンケナイ	九七五	第四十區ヨリ二千「サーゼン」クエンコタン河ヨリ南方一千九百七十五「サーゼン」ノ所	同		
四十二			第四十一區ノ竝ヒクエンコタン河ヨリ南方一千九百七十五	同		
四十三	レプンケナイ	一〇四八	第四十二區ノ竝ヒクエンコタン河ヨリ南方三千六百六十一「サーゼン」ノ所	同		
四十四	ポロナイポ	八九〇	第四十三區ヨリ千百六十二「サーゼン」クエンコタン河ヨリ南方五千八百七十七「サーゼン」ノ所カスプ河ヨリ北方四千二百二十九「サーゼン」ノ所	鱒雌雄ニ漁ス		
四十五	クアマル	九〇四	第四十四區ヨリ五千二百二十九「サーゼン」カスプ河ヨリ南方千「サーゼン」ノ所	同		

各區ニ付貨七十五留

四十六	ソーヤ	七五〇	第四十五區ヨリ七百「サーゼン」カスプ河ヨリ南方二千六百「サーゼン」ノ所	同		
四十七	アカラ	九〇〇	第四十六區ヨリ三千三十五「サーゼン」カスプ河ヨリ南方六千三百八十九「サーゼン」ノ所モケンコタン河ヨリ北方三千九百三十八「サーゼン」ノ所	同		
四十八	フレテイシ	一〇〇〇	第四十七區ノ竝ヒモケンコタン河ヨリ北方二千九百三十八	同		
四十九	ウヤンケ	七八八	第四十八區ヨリ千百五十「サーゼン」モケンコタン河ヨリ北方千「サーゼン」ノ所	同		
五十	ノプリホロ一號	一〇〇〇	モケンコタン河ヨリ南方八千七百「サーゼン」ノ所	同		
五十一	ノプリホロ二號	八九二	第五十區ノ竝ヒモケンコタン河ヨリ南方九千七百「サーゼン」ノ所	同		
五十二	ヘケ	四六三	第五十一區ヨリ二千「サーゼン」チハポロナイ河ヨリ北方二千九百十二「サーゼン」ノ所	同		
五十三	ソニンコタン	四一二	第五十二區ヨリ千五百「サーゼン」チハポロナイ河ヨリ北方「サーゼン」ノ所	同		
五十四	ロレ	六九五	第五十三區ヨリ六露里乃至七露里モヌエ河ヨリ北方千「サーゼン」ノ所	同		
五十五		一二一	第五十四區ヨリ二千「サーゼン」モヌエ河ヨリ南方千「サーゼン」ノ所	同		
五十六	ホロナ	一〇〇〇	ナイパ河ヨリ南方千二百「サーゼン」ノ所	同		
五十七	シュマヤ	八五〇	第五十六區ヨリ八百五十「サーゼン」ナイパ河ヨリ南方三千九百「サーゼン」ノ所	同		
五十八	フンチトマリ	一〇〇〇	第五十七區ヨリ千「サーゼン」ナイパ河ヨリ南方四千九百「サーゼン」ノ所	同		

五十九	七サトサツ	七三〇	第五十八區ヨリ八百「サーセン」ナイバ河ヨリ南方六千七百「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十	九オサイコテ	九五〇	第五十九區ヨリ千「サーセン」ナイバ河ヨリ南方八千四百三十「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十一	｜イルコセナイ	｜	オサイコテ及シオウンナイ間	同	同	同	同	同
六十二	一四シオウンナイ	一〇〇〇	ナイバ河ヨリ南方一萬二千八百九十「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十三	一七モイントマリ	八八〇	第六十二區ヨリ二千百三十七「サーセン」ナイバ河ヨリ南方一萬六千二十七「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十四	二九マイントマリ	七九〇	トナイチヤ分流ヨリ北方一萬一千五百九十「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十五	｜	八八〇	第六十四區ヨリ二千「サーセン」チオリナイ及クッレコタン間トナイチヤ分流ヨリ北方八萬七千百「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十六	三五イタバクエナイ	一〇〇〇	トナイチヤ分流ヨリ北方五千六百九十「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十七	三九トナイチヤ	五〇〇	第六十六區ヨリ六千七百七十「サーセン」トナイチヤ分流ヨリ千「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十八	四〇ノボロ	一〇〇〇	第六十七區ノ竝ヒトナイチヤ分流ヨリ南方千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
六十九	四一イクニ	一〇〇〇	第六十八區ノ竝ヒトナイチヤ分流ヨリ南方二千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
七十	四二	一〇〇〇	第六十九區ノ竝ヒナイチヤ分流ヨリ南方三千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同
七十一	四三	一〇〇〇	第七十區ノ竝ヒトナイチヤ分流ヨリ南方四千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同	同

各區ニ付キ露貨百留

七十二	四四	｜	一〇〇〇	第七十一區ノ竝ヒトナイチヤ分流ヨリ南方五千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同
七十三	四五	｜	一〇〇〇	第七十二區ノ竝ヒトナイチヤ分流ヨリ南方六千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同
七十四	四六トボロ	｜	一〇〇〇	第七十三區ノ竝ヒトナイチヤ分流ヨリ南方七千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同
七十五	四七アベラサン	｜	一〇〇〇	第七十四區ノ竝ヒトナイチヤ分流ヨリ南方八千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同
七十六	五〇ボロトマリ	｜	一〇〇〇	第七十五區ヨリ二千「サーセン」トナイチヤ分流ヨリ南方一萬千五百「サーセン」ノ所	同	同	同	同
七十七	五一ヤンケンルン	｜	一〇〇〇	第七十六區ノ竝ヒトニン岬ヨリ四ヘトナイチヤ分流ヨリ二十五露里ノ所	同	同	同	同
七十八	五三ホトス	｜	一〇〇〇	第七十七區ヨリ千「サーセン」トニン岬ヨリ東南千「サーセン」ノ所	同	同	同	同
七十九	五五トヨマイ	｜	一〇〇〇	第七十八區ヨリ千「サーセン」トニン岬ヨリ南方へ三千「サーセン」ノ所	同	同	同	同
八十	五七カモニクシ	｜	一〇〇〇	第七十九區ヨリ千「サーセン」トニン岬ヨリ南方五千「サーセン」ノ所	同	同	同	同
八十一	六一オヤクチ	｜	一〇〇〇	第八十區ヨリ三千「サーセン」シエレーズヌイ岬ヨリ南方トニン岬ヨリ九千「サーセン」ノ所	同	同	同	同
八十二	六四ヤンケナイ	｜	一〇〇〇	第八十一區ヨリ二千「サーセン」トルードヌイ岬ヨリ北方トニン岬ヨリ一萬二千「サーセン」ノ所	同	同	同	同
八十三	七八第一ベツ	｜	一〇〇〇	第八十二區ヨリ南方二十六露里ミナベツ湖畔	同	同	同	同
八十四	七九第二ベツ	｜	一〇〇〇	第八十三區ノ竝ヒレクッノトルン岬附近	同	同	同	同

各區ニ付キ五十

乙　アニワ灣

八十五	八二	シセホカ	一〇〇〇	レウボノトルン岬ヨリ南方二千七百「サーゼン」ノ所	鰊群來ニ餘	
八十六	八六	チシナイ	一〇〇〇	第八十五區ヨリ三千「サーゼン」シチナイ岬附近（四北方ヘ）	同	
八十七	八七	ホレノトナイ	一〇〇〇	第八十七區ノ竝ヒ	同	
八十八	九三	エサウエニカ	一〇〇〇	第八十七區五百「サーゼン」ノシコ岬ヨリ南方	同	
八十九	九五	チコンテ	一〇〇〇	第八十八區ヨリ千九百「サーゼン」パロウイチ岬ヨリ北方	同	
九十	九六	ムラーモルヌイ岬一號	三七〇	ムラーモルヌイ岬ヨリ南方	鰊群來ニ餘	
九十一	九七	ムラーモルヌイ岬二號	一〇〇〇	第九十一區ヨリ二千三百五十「サーゼン」ムラーモルヌイ岬ヨリ北方三千三百五十「サーゼン」ノ所	同	
九十二	一〇〇	セツトポ	一〇〇〇	第九十二區ノ竝ヒオマンベツ、ポリショイ河口ヨリ南方千「サーゼン」ノ所	同	
九十三	一〇一	オマンベツアールイ	一〇〇	第九十三區ヨリ三千七百「サーゼン」オマンベツ、ポリショイ河ヨリ南方千「サーゼン」ノ所	同	
九十四	一〇五	トマリ	六四〇	第九十四區ヨリ二千五百「サーゼン」オマンベツ、ポリショイ河口ヨリ千五百「サーゼン」ノ所	同	
九十五	一〇七	フレツマ	一〇〇〇	第九十五區ヨリ六百「サーゼン」ナイオナイ河口ヨリ南方六百二十「サーゼン」ノ所	同	
九十六	一〇九	モシリ	一二六〇			

各區ニ附キ二十五份

九十七	一一〇	コサエベツ	—			
九十八	一一〇		一〇〇〇	第九十六區ヨリ千六百二十「サーゼン」ナイオナイ河ヨリ北方千「サーゼン」ノ所	鰊群來ニ餘	
九十〃	一一三	ノーテナイ	一〇〇〇	第九十七區ノ竝ヒアスセ入江分流ヨリ南方千「サーゼン」ノ所	同	
百	一一四		一〇〇〇	第九十八區ヨリ二千五百九十「サーゼン」アスセ入江分流ヨリ北方千「サーゼン」ノ所	同	
百一	一一五		—	第九十九區ノ竝ニアスセ入江分流ヨリ北方二千「サーゼン」ノ所	同	
百二	一一六	ナイトモ	一〇〇〇	第百區ノ竝ヒアスセ入江分流ヨリ北方三千「サーゼン」ノ所	同	
百三	一一七	ホウブニ	一〇〇〇	第百一區ノ竝ヒアスセ入江分流ヨリ北方三千七百五十「サーゼン」ノ所	同	
百四	一一八	チニサニ	五四〇	第百二區ノ竝ヒアスセ入江分流ヨリ北方四千七百五十「サーゼン」ノ所	同	
百五	—	カストムスキーカメニ	七五〇	第百三區ヨリ二千五百二十「サーゼン」チニサニ村ヨリ四方	同	
百六	一一九	カマトマリ	七九〇	第百四區ノ竝ヒユガキンナヤ河ヨリ四方二千八百八十「サーゼン」ノ所	鰊流	
百七	一二〇	オコバチ	一〇〇〇	第百五區ノ竝ヒユガキンナヤ河ヨリ四方千四百三十「サーゼン」ノ所	同	
百八	一	ユガキンナレーチカ	四〇九	第百六區ノ竝ヒユガキンナヤ河ヨリ東方四百三十「サーゼン」ノ所	同	
百九	二	ベールイ、カーメニ	四三四	第百七區ヨリ四百三十「サーゼン」コルサコーフスクヨリ二十二浬里ノ所	鰊群來ニ餘	
				第百八區ヨリ三百六十三「サーゼン」ノ所	同	

二十五份　各區ニ付キ七十五份

百十	六—七	名稱ナシ	五五八	第百九區ヨリ八百四十九「サーセン」ノ所				
百十一	八	カタイレンコ	六九七	第百十區ヨリ二百六十八「サーセン」コルサコーフスクヨリ十六露里ノ所	同	鰊漁ニ適ス		
百十二	九	メレイスキー、モースト	四一九	第百十一區ヨリ千六百六「サーセン」コルサコーフスクヨリ十二露里ノ所	同	鰊漁ニ適ス		
百十三	一二	アルサルレリースカヤハーデイ	三〇九	第百十二區ヨリ六百四「サーセン」コルサコーフスタヨリ十露里ノ所	同	鰊漁ニ適ス		
百十七	一七	プロフイアントスキーポマス	八二八	コルサコーフスクヨリ五露里ノ所	同	鰊漁ニ適ス		
百十八	一九—二〇	名稱ナシ	七〇四	第百十七區ノ界ヨリ三百五十八「サーセン」コルサコーフスクヨリ三露里ノ所	同	鰊漁ニ適ス		
百十九	二一—二二	ボロアントマリ號ノ二		第百十八區界ヨリボロアントマリ河口マデ	同	鰊漁		
百二十	二三—二四	ボロアントマリ號ノ一		第百十九區界ヨリボロアントマリ號ヲ過ギ	同	鰊漁		
百二十一	二五	ラクシュチスイ	三二五	第百二十區ノ somewhere	同	鰊漁		
百二十二	二六	カランテインスイ	三九七	第百二十一區ノ somewhere	同	鰊漁		
百二十四		フトラーヤ、パーデイ						
百二十五		ナヴベ		リユトか河ヨリ東方左へ六露里ノ所	同	鰊漁ニ適ス		
百二十六		クーパ第二		リユトか河口ヨリ東方左へ四露里ノ所	同	鰊漁ニ適ス		

各區ニ附キ百留

百二十七		クーパ第一		リユトか河口ヨリ東方左へ二露里ノ所	同			
百二十八		名稱ナシ		リユトか河口ヨリ右へ一二一五「サーセン」ノ所	同			
百二十九		リーラ		リーラ河口ヨリ東北(左)へ六五〇「サーセン」ノ所	同			
百三十		タナナイ		タナナイ河南方右へ五〇〇「サーセン」ノ所	同			
百三十一		ピフルナイ	第百三十區ヨリ南方へ二露里ノ所		同			
百三十二		ホロナイホ	タナナイ河ヨリ南方へ六露里イカツキナイ河ヨリ北方へ三露里ノ所		同			
百三十三		シブナイ	イカツキナイ河ヨリ南方へ二露里ノ所		同			
百三十四		パーチンスカヤ、レーチカ	第百三十三區ヨリ南方へ二露里ノ所		同			
百三十五		ウリユーム	第百三十四區ヨリ四露里ノ所ウリユーム河附近河口ヨリ二露里ヲ距リ投網スルヲ得		同			
百三十六		センゼナイ	ウリユーム河ヨリ南方へ三露里半ノ所		同			
百三十七		ベストウロ	第百三十六區ヨリ七露里ベストウロ河附近ニテハ北河口ヨリ一露里ヲ距リ投網スルヲ得		同			
百三十八		ドロカワ	第百三十一區ヨリ十露里ノ所ドロカワ河附近		同			
百三十九		ドマリオナイ	第百三十八區ヨリ四露里ノ所トマリオナイ河附近		同			

各區ニ附キ二十五留

百四十	トエクシ	上	第百三十九區ヨリ二露里ノ所トエクシ河附近	鰊漁
百四十一	オホイ	同	第百四十區ヨリ三露里ノ所オホイ河附近	同
百四十四	ナイチヤ	同	第百四十一區ヨリ三露里半ノ所ナイチヤ河附近河口ヲ距ル一露里以外ニ投網スルヲ得	鰊漁ニ非ス
百四十五	モツナイ	同	第百四十四區ヨリ四露里半ノ所	同
百四十六	モチ	同	第百四十五區ヨリ一露里ノ所モチ河附近	鰊漁
百四十七	ライトマリ	同	第百四十六區ヨリ三露里ノ所ヴエンノチ岬ヨリ北方	鰊漁ニ非ス
百四十八	モゴツイ	同	ヴエンノチ岬ヨリ南方一露里半ノ所モコツイ河附近	鰊漁
百四十九	ノホリ	同	第百四十八區ヨリ三露里ノ所	鰊漁ニ非ス
百五十	ナシヤ（ユサニ）	同	第百四十九區ヨリ二露里ノ所ナシヤ湾内	同
百五十一	ピシヤニ	同	第百五十區ヨリ二露里半ノ所	鰊漁
百五十二	名稱ナシ	同	第百五十一區ヨリ一露里ノ所	同
百五十三	間上	同	第百五十二區ヨリ二露里ノ所	鰊漁ニ非ス
百五十四	間上	同	クリサン岬ヨリ八露里ノ所	同

各區ニ附キ七十五留

各區ニ附キ十五留

丙　薩哈璘島西岸

百五十五	同	上	第百五十四區ヨリ二露里半ノ所クリサン岬ヨリ五露里八分ノ一ノ所	同
百五十六	シワクシ一號	同	クリサン岬ヨリ十三百二十二「サーゼン」ノ所シワクシ岬マデワヤ、ソーニヨリ北方	鰊漁ニ非ス
百五十七	シワクシ二號	同	同上	同
百五十八	ベストモナイ	同	ポリシヤーヤ、ソーニ岬方ヨリベストモナイ河口	鰊漁
百五十九	ソーニ	同	ポリシヤーヤ ソーニ岬ノ北灣	鰊漁ニ非ス
百六十	ウインデイス	同	ウインデイス岬ノ北灣	同
百六十一	モシウスシナイ	同	シンナイ岬ヨリ南方十八露里ノ所モシウスシナイ河口附近投網ハ河口ヨリ一露里ヲ距ルベシ	同
百六十二	シブシナイホ	同	第百六十一區ヨリ四露里ノ所シブシナイホ河口附近投網ハ河口ヨリ一露里ヲ距ルベシ	同
百六十三	ウイ	同	第百六十二區ヨリ九露里半ノ所	同
百六十四	ナイア（ナイポロ）	同	第百六十三區ヨリ三露里半ノ所シンナイ岬ヨリ南方メイホ河口附近投網ハ河口ヨリ一露里ヲ距ルベシ	同
百六十五	ケヌシナイホ	同	シンナイ岬ヨリ北方ケヌシナイホ河附近投網ハ河口ヨリ一露里ヲ距ルベシ	同
百六十六	タコンホ	同	タコンホ河口ニ於ケルタコンホ岬附近投網ハ河口ヨリ一露里ヲ距ルベシ	同

各區ニ附キ十五留

百六十七	ハンドケシ				
百六十八	トオブシ				
百六十九	オコ				
百七十	オホトマリ				
百七十一	ピロツ				
百七十二	テヒトマリ				
百七十三	アキゾシ				
百七十四	トムマイ				
百七十五	ヤー				
百七十六	ポントマリ				
百七十七	マウカ				
百七十八	アラクブイ				
百七十九	クメクマイ				
百八十					

第百六十六區ヨリ二露里半ノ所			
タコンボ岬ヨリ北方へ六露里ノ所トープシ河口附近投網ハ河口ヨリ一露里ヲ距ルベシ	鱒並ニ鮠流	同	
第百六十八區ヨリ四露里半ノ所オコ河口附近投網ハ河口ヨリ一露里ヲ距ルベシ	同	同	
第百六十九區ヨリ十八露里ノ所オホトマリ河口附近	同	同	
第百七十一區ヨリ三露里ノ所ピロツ川口附近	同	同	
第百七十二區ヨリ一露里ノ所	同	同	
第百七十三區ヨリ二露里ノ所	同	同	
第百七十四區ヨリ三露里半ノ所	同	同	
第百七十五區ヨリ一露里半ノ所アイ河附近投網ハ河口ヨリ一露里ヲ距ルベシ	同	同	
第百七十六區ヨリ三露里ノ所	同	同	
第百七十七區ヨリ一露里ノ所	同	同	
第百七十八區ヨリ一露里ノ所	同	同	
第百七十九區ヨリ一露里ノ所	同	同	

百八十一	ウエントマリ				
百八十二	チンナイポ				
百八十三	ポロトマリ				
百八十四	ポンコタン				
百八十五	フクマカ				
百八十六	スムマルシトマリ				
百八十七	トマリポ				
百八十八	ウラントマリ				
百八十九	トナイキス				
百九十	トーコタン				
百九十一	ソヤナイプ	五七〇			
百九十二	アブマイ	五〇〇			
百九十三	ピロトンナイポ	一〇四〇			

第百八十區ヨリ一露里ノ所			
第百八十一區ヨリ一露里ノ所	同	同	
第百八十二區ヨリ二露里ノ所	同	同	
第百八十三區ヨリ二露里ノ所	同	同	
第百八十四區ヨリ二露里ノ所	同	同	
第百八十五區ヨリ一露里ノ所	同	同	
第百八十六區ヨリ一露里ノ所エンルム岬附近	同	同	
第百八十七區ヨリ一露里ノ所	同	同	
第百八十八區ヨリ一露里ノ所	同	同	
第百八十九區ヨリ一露里半ノ所トーコタン岬附近	同	同	
第百九十區ヨリ三露里ノ所	同	同	
第百九十一區ヨリ四露里半ノ所	同	同	
第百九十二區ヨリ十八露里ノ所タウツクス岬ヨリ北方二露里ノ所	同	同	

各區ニ付キ一箇

百九十四	―	パイコサクシ	―	第百九十三區ヨリ三露里ノ所	
百九十五	三〇	クシナイボ	九六〇	第百九十四區ヨリ二露里ノ所	
百九十六	二九	ピタレクルン	六二〇	第百九十五區ヨリ二露里ノ所	
百九十七	二八	オシモナイボ	一〇〇〇	第百九十六區ノ竝ヒ	
百九十八	二七	アラコーイ	九〇〇	第百九十七區ノ竝ヒ	
百九十九	二六	ハンナスシ	五九〇	第百九十八區ノ竝ヒ	
二百	二五	ヲアマナイボ	七〇〇	第百九十九區ノ竝ヒ	
二百一	二四	チカイナイボ	七四〇	第二百區ヨリ一露里半チカイ岬ヨリ南方	
二百二	二三	ウス ス	三一一	第二百一區ヨリ七露里ノ所ウス岬ヨリ北方	
二百三	二二	チカベスポ	六三〇	第二百二區ヨリ五露里半ノ所チカベスポ岬ヨリ北方	
二百四	二一	オランベントマリ	七四〇	第二百三區ヨリ三露里半ノ所トマナイ河ヨリ左方	
二百五	二〇	ツウマナイ	三一〇	前區ノ次ツウマナイ河ノ右方	
二百六	一九	ヒシポニ	七五〇	前區ノ次	

二百七	一八	第ピンポナイボ一號	六〇〇	前區ノ次	
二百八	一七	第ピシポナイボ二號	五八〇	前區ノ次テシヤルシカ岬以南	
二百九	一六	トマリ、ヤロ	七〇〇	テシヤルシカ岬以北	
二百十	一五	トマリ、ポ	八五〇	前區ノ次	
二百十一	一四	ナソイコントマリ	七七〇	前區ノ次	
二百十二	一三	エベケレンルン	七〇〇	前區ノ次	
二百十三	一二	エポポマ、ナイプ	五七〇	前區ノ次	
二百十四	一一	シラロロ	一〇〇〇	前區ヨリ四分ノ三露里コスウナ河以南十六露里ノ所	
二百十五	一〇	コミサラロ	六八〇	コスウナイ河以北三露里ニヲナイボ河ノ邊	
二百十六	九	第パイコサクシ一號	七五〇	前區ノ次ポロナイボ河ノ邊	
二百十七	八	第同二號	四四〇	前區以北二露里ノ所	
二百十八	七	第同三號	七五〇	前區以北一露里イトヲ、ナイ河邊	
二百十九	六	チウコ、ナイボ	一〇〇〇	前區ノ次ノクサム岬以南五露里ノ所	

二百二十	五	ニサイ	一〇〇〇	モニイ岬ノ附近	鮭漁
二百廿一	四	ウスツウムナイ	一〇〇〇	ゴンドクス岬以北前區ヨリ二露里ノ所	鰊漁
二百廿二	三	ウスウ口	一〇〇〇	前區ヨリ三露里半ウスウ曲江	同
二百廿三	二	ベンクントマリ	三七〇	前區ヨリ三露里半ノ所	同
二百廿四	一	チロケシ	一三七〇	前區ノ次コモイントロ岬トモニホンツウ岬ノ間ナルケシ河口ノ所	同

第二　沿海州西南區

漁場番號	漁場ノ名稱	漁場ノ地位	免許業別	貸與金額
第一	ナリカ灣	—	鰊漁	一〇〇圓
第二	ウラジミル灣	フルニ河口ヲ距ル二露里以外	鰊鱒鮭漁	一五〇
第三	〃	ソヤフレ河口ヲ距ル二露里以外	同上	五〇
第四	〃	チユチハ河口ヲ距ル二露里以外	同上	五〇
第五	チプリチニク灣	ムツウハ河口ヲ距ル二露里以外	同上	七〇
第六	タギト山江	ユヅウハ河口ヲ距ル二露里以外	同上	七〇
第七	テルテイ山江	サイエンウエイ河ヲ距ル二露里以外	同上	一〇〇
第八	〃	クグチツチフ河ヨリ北二露里以外ナリンピアダ岬ノ邊	同上	八〇
第九	〃	スウエトラヤ河ヨリ北二露里以外	同上	五〇

第三　沿海州ウヅスク區

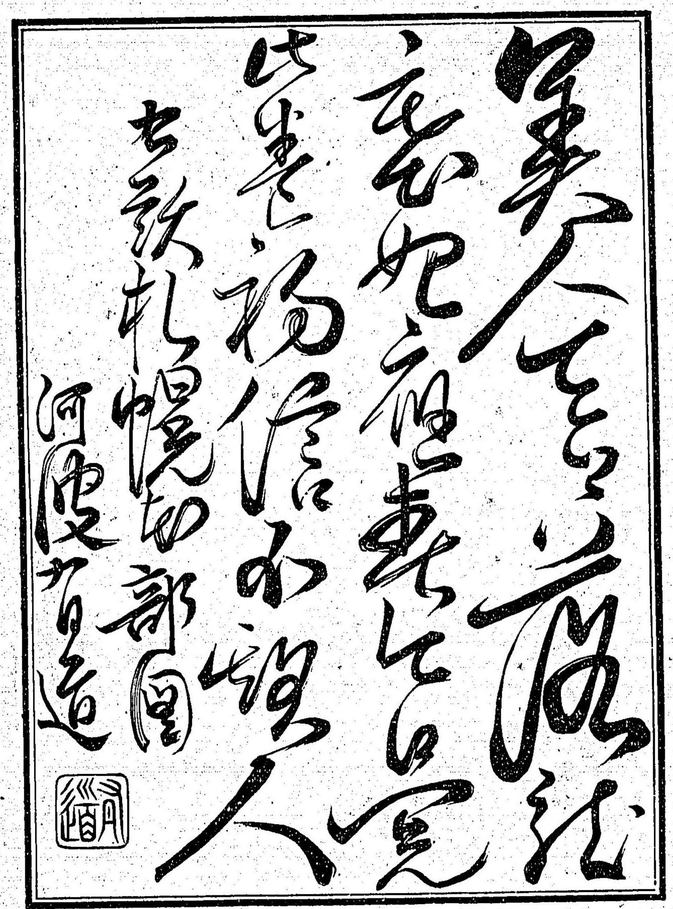
ウヅスク行政區管內ニコラエフスク林務官漁場ノ區域ヲ示定シ每區ヲ漁業別ハニコラエフスク林務官之ヲ定ム〔每區一〇〇留〕ホツク海沿岸百留ツツニテ漁業ヲ許可スヘシ

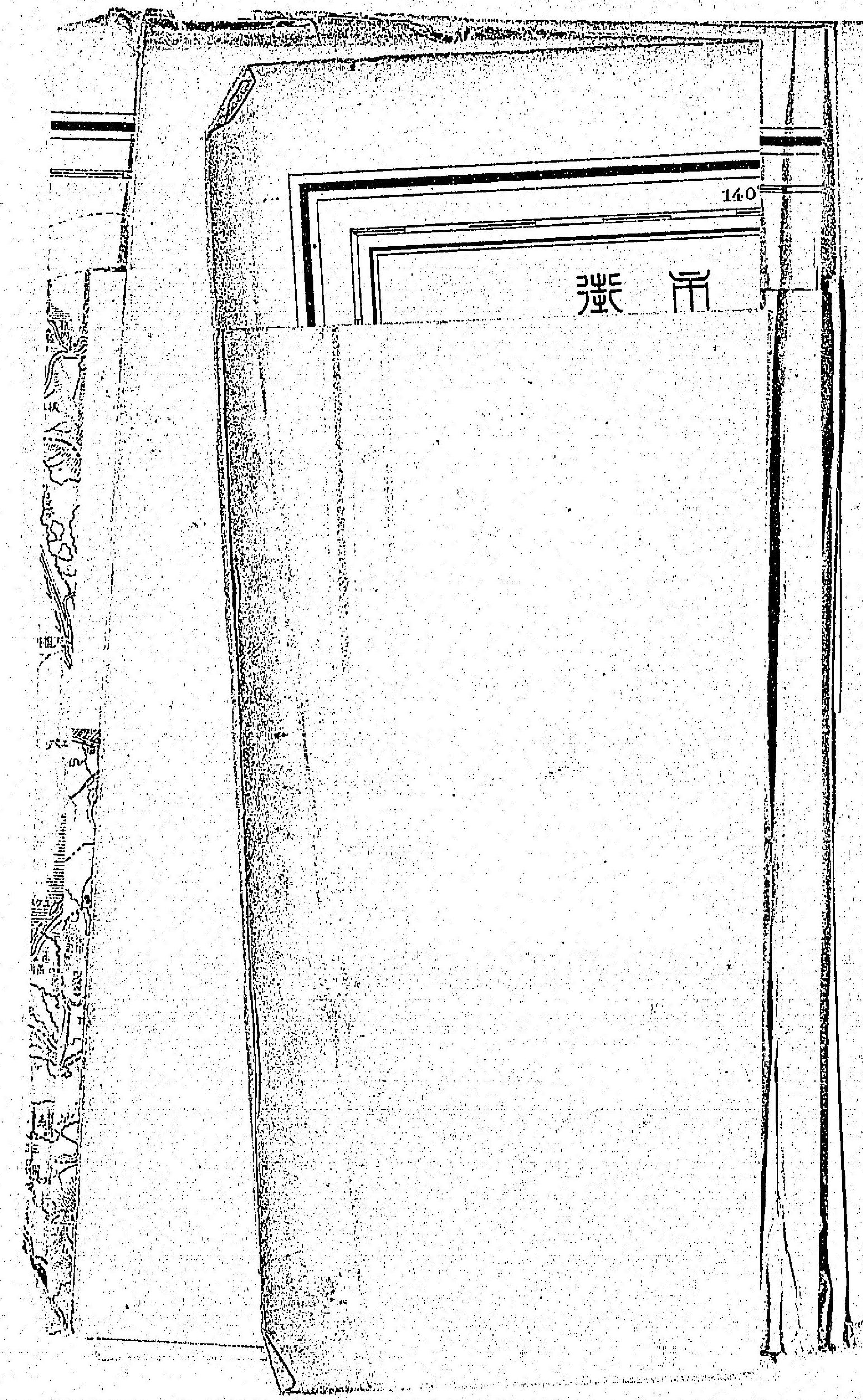
第四　沿海州北區

ウヅスク行政區以北ヤク漁區ノ示定及漁業ノ許可ハオホツク、ギジギツス州界〔漁業別ハ各行政區長之ヲ定ム〕〔每區一〇〇留〕マテノ間ガン、ペトロパウロフスクコマンドル群島及マナシルホツク及ペーリング海並ニ北氷洋ノ沿岸各行政區長之ニ任シ每區ノ借料ヲ各百留ト定ム

（附言）場第二一號ヨリ二四號マテ、同第一一四號ヨリ一一六號マテ、同第一二三號、一四二號及一四三號ハ漁業者クラマレンコニ貸與濟ナルヲ以テ本表ニ載セス又第一七〇號乃至一九〇號及一九四號ハ競爭外セメヨノフ及デンビーニ貸與スルモノトス

（完）





題函館港圖

海路開成際此
逢又一新作東
亞擇利濟上
立功勳

小濱志士

北海道全圖

142°　143°　144°　145°　146°　147°

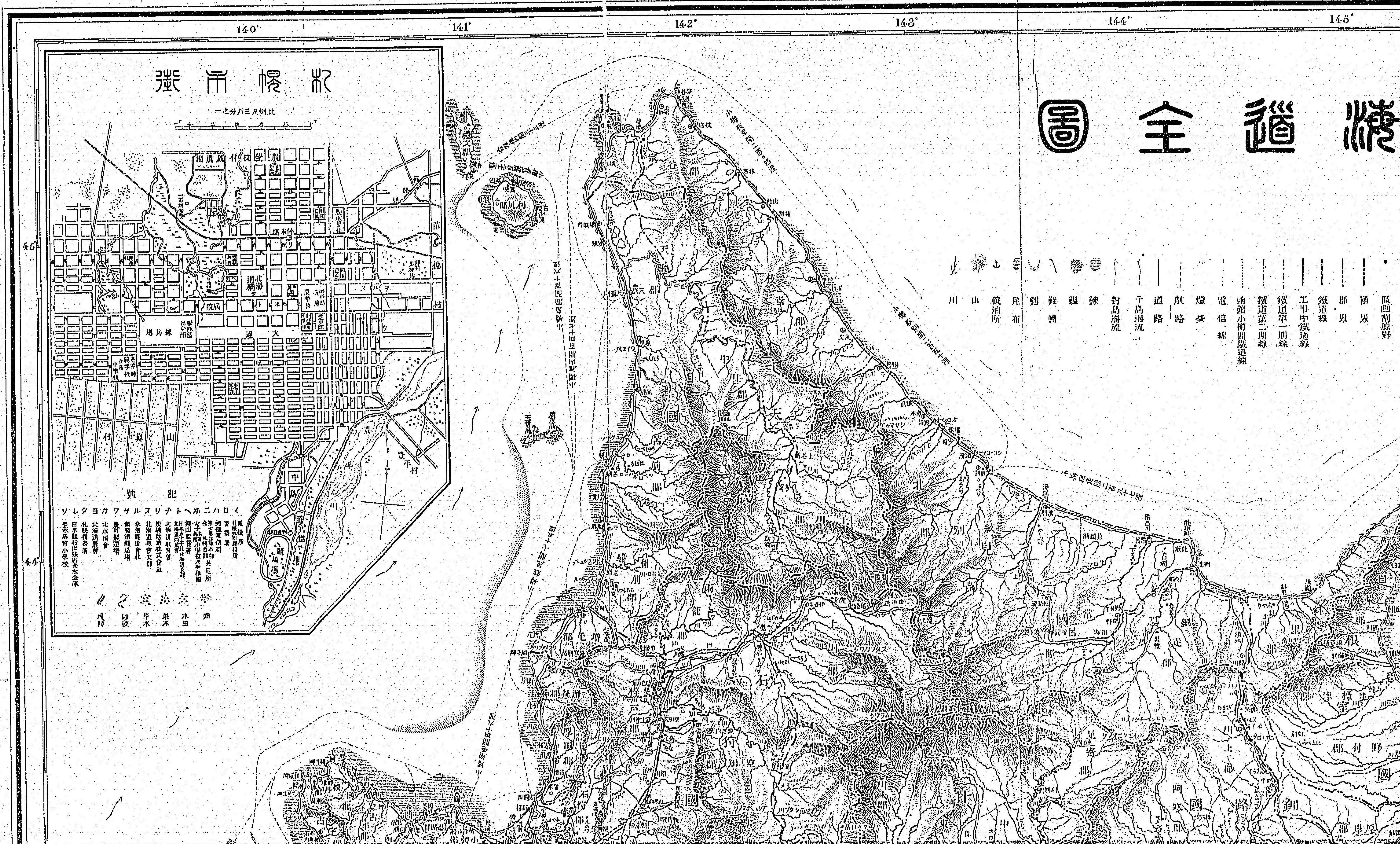
45°

44°

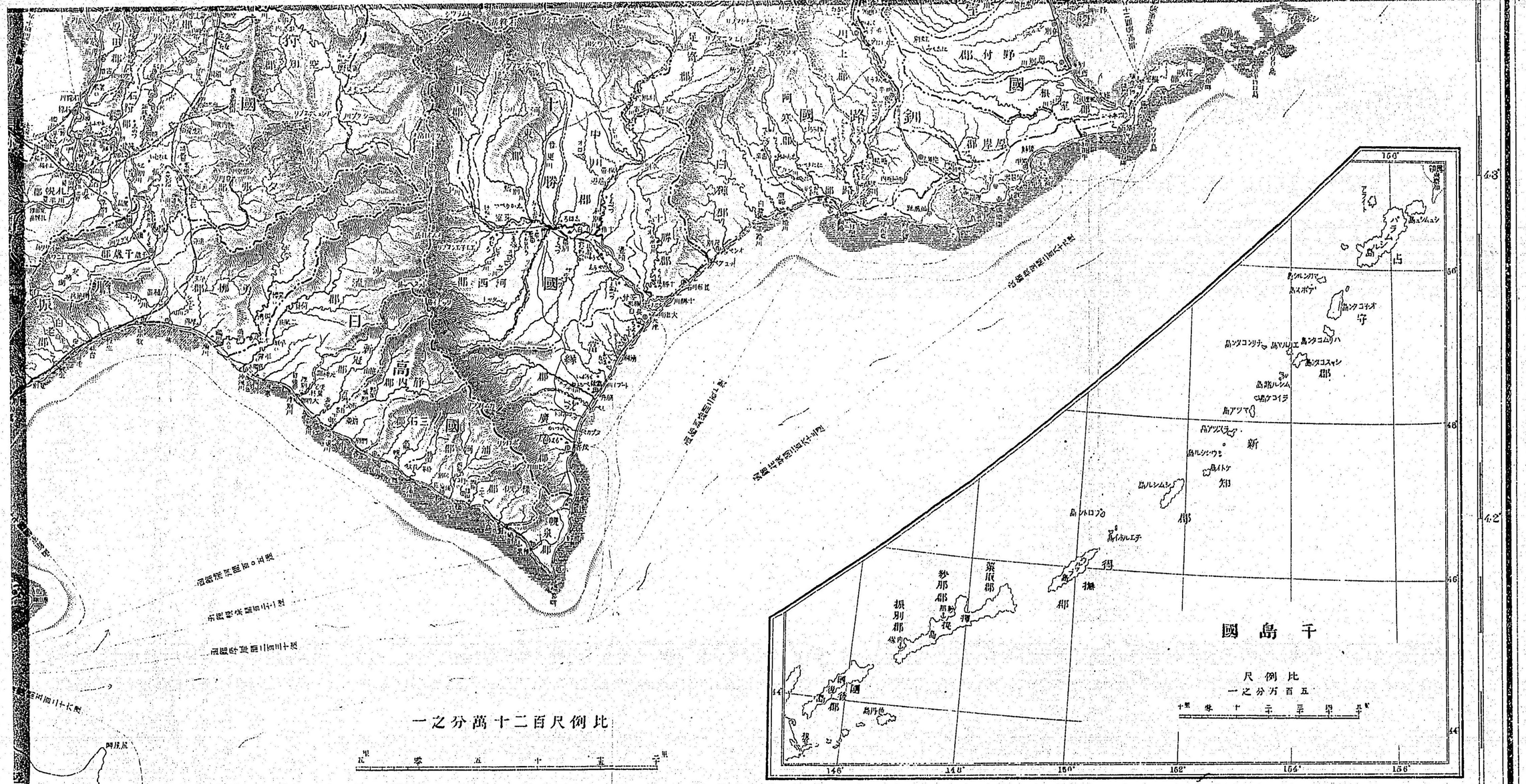
記號

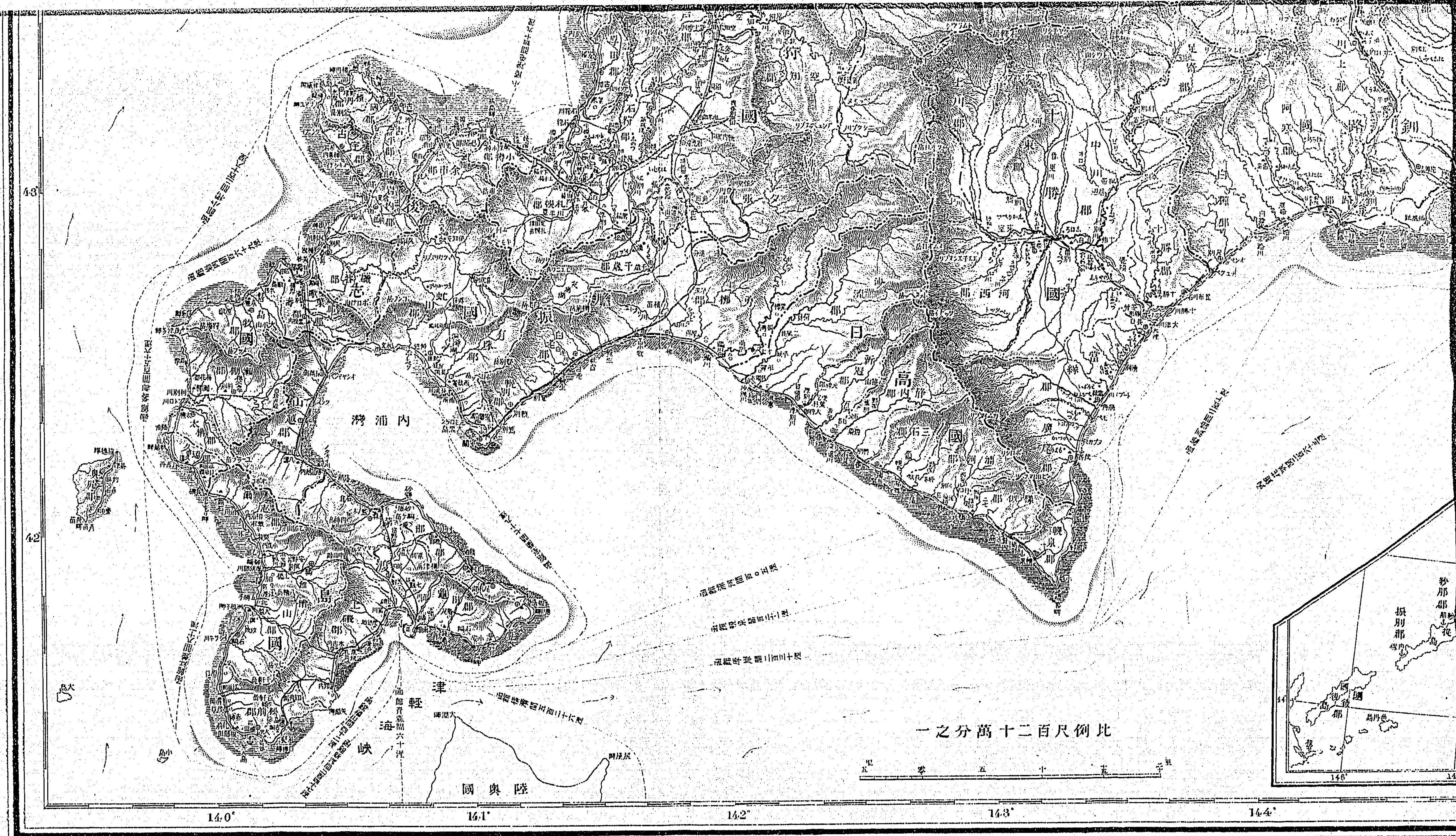
- 北海道廳
- 郡區役所并戸長役場所在
- ▲ 戸長役場并警察署
- 集治監
- 公立小學校
- 郵便局
- 郵便電信局
- 電信局
- 陣邊
- 屯田兵村
- 區画制限外
- 國界
- 郡界
- 鐵道線
- 工事中鐵道線
- 鐵道第一期線
- 鐵道第二期線
- 函館小樽間鐵道線
- 電信線
- 燈臺
- 航路
- 道路
- 千島海流
- 對島海流
- 陸
- 雜物
- 鑛
- 昆布
- 碇泊所
- 山
- 川

160°



海道全圖
札幌市街
比例尺三万分之一
記號
140°
141°
142°
143°
144°
145°
45°
44°
屯田兵村
區画割原野
國界
郡界
鐵道線
工事中鐵道線
鐵道第一期線
鐵道第二期線
函館小樽間鐵道線
電信線
燈臺
航路
道路
千島海流
對馬海流
鯡
鱒
鮭
鱈
昆布
碇泊所
山
川

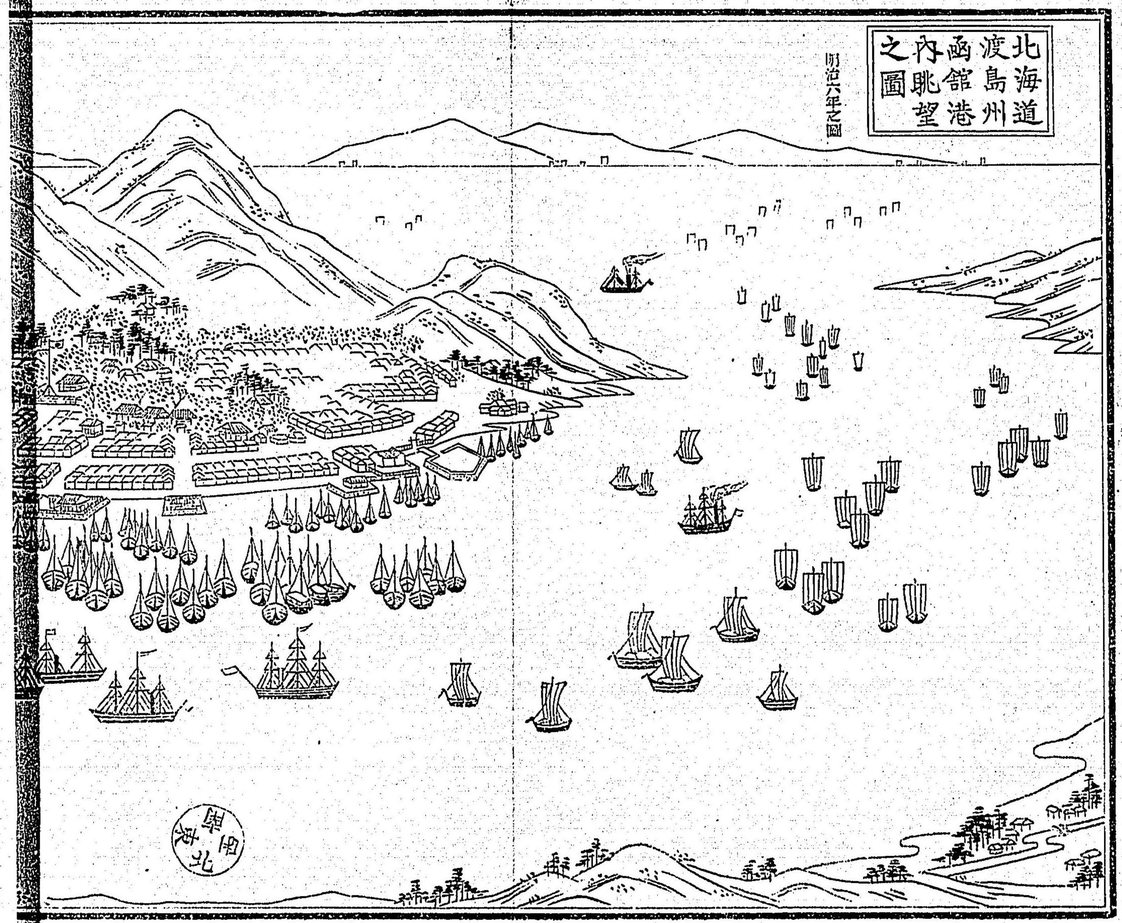

一之分萬十二百尺例比
千島國
比例尺
一之分万百五
十里 五 十 一 二
160°
155°
150°
145°
140°
135°
130°
125°
120°
115°
110°
105°
100°
95°
90°
85°
80°
75°
70°
65°
60°
55°
50°
45°
40°
35°
30°
25°
20°
15°
10°
5°
0°
5°
10°
15°
20°
25°
30°
35°
40°
45°
50°
55°
60°
65°
70°
75°
80°
85°
90°
95°
100°
105°
110°
115°
120°
125°
130°
135°
140°
145°
150°
155°
160°
165°
170°
175°
180°
185°
190°
195°
200°
205°
210°
215°
220°
225°
230°
235°
240°
245°
250°
255°
260°
265°
270°
275°
280°
285°
290°
295°
300°
305°
310°
315°
320°
325°
330°
335°
340°
345°
350°
355°
360°
365°
370°
375°
380°
385°
390°
395°
400°
405°
410°
415°
420°
425°
430°
435°
440°
445°
450°
455°
460°
465°
470°
475°
480°
485°
490°
495°
500°
505°
510°
515°
520°
525°
530°
535°
540°
545°
550°
555°
560°
565°
570°
575°
580°
585°
590°
595°
600°
605°
610°
615°
620°
625°
630°
635°
640°
645°
650°
655°
660°
665°
670°
675°
680°
685°
690°
695°
700°
705°
710°
715°
720°
725°
730°
735°
740°
745°
750°
755°
760°
765°
770°
775°
780°
785°
790°
795°
800°
805°
810°
815°
820°
825°
830°
835°
840°
845°
850°
855°
860°
865°
870°
875°
880°
885°
890°
895°
900°
905°
910°
915°
920°
925°
930°
935°
940°
945°
950°
955°
960°
965°
970°
975°
980°
985°
990°
995°
1000°
1005°
1010°
1015°
1020°
1025°
1030°
1035°
1040°
1045°
1050°
1055°
1060°
1065°
1070°
1075°
1080°
1085°
1090°
1095°
1100°
1105°
1110°
1115°
1120°
1125°
1130°
1135°
1140°
1145°
1150°
1155°
1160°
1165°
1170°
1175°
1180°
1185°
1190°
1195°
1200°
1205°
1210°
1215°
1220°
1225°
1230°
1235°
1240°
1245°
1250°
1255°
1260°
1265°
1270°
1275°
1280°
1285°
1290°
1295°
1300°
1305°
1310°
1315°
1320°
1325°
1330°
1335°
1340°
1345°
1350°
1355°
1360°
1365°
1370°
1375°
1380°
1385°
1390°
1395°
1400°
1405°
1410°
1415°
1420°
1425°
1430°
1435°
1440°
1445°
1450°
1455°
1460°
1465°
1470°
1475°
1480°
1485°
1490°
1495°
1500°
1505°
1510°
1515°
1520°
1525°
1530°
1535°
1540°
1545°
1550°
1555°
1560°
1565°
1570°
1575°
1580°
1585°
1590°
1595°
1600°
1605°
1610°
1615°
1620°
1625°
1630°
1635°
1640°
1645°
1650°
1655°
1660°
1665°
1670°
1675°
1680°
1685°
1690°
1695°
1700°
1705°
1710°
1715°
1720°
1725°
1730°
1735°
1740°
1745°
1750°
1755°
1760°
1765°
1770°
1775°
1780°
1785°
1790°
1795°
1800°
1805°
1810°
1815°
1820°
1825°
1830°
1835°
1840°
1845°
1850°
1855°
1860°
1865°
1870°
1875°
1880°
1885°
1890°
1895°
1900°
1905°
1910°
1915°
1920°
1925°
1930°
1935°
1940°
1945°
1950°
1955°
1960°
1965°
1970°
1975°
1980°
1985°
1990°
1995°
2000°
2005°
2010°
2015°
2020°
2025°
2030°
2035°
2040°
2045°
2050°
2055°
2060°
2065°
2070°
2075°
2080°
2085°
2090°
2095°
2100°
2105°
2110°
2115°
2120°
2125°
2130°
2135°
2140°
2145°
2150°
2155°
2160°
2165°
2170°
2175°
2180°
2185°
2190°
2195°
2200°
2205°
2210°
2215°
2220°
2225°
2230°
2235°
2240°
2245°
2250°
2255°
2260°
2265°
2270°
2275°
2280°
2285°
2290°
2295°
2300°
2305°
2310°
2315°
2320°
2325°
2330°
2335°
2340°
2345°
2350°
2355°
2360°
2365°
2370°
2375°
2380°
2385°
2390°
2395°
2400°
2405°
2410°
2415°
2420°
2425°
2430°
2435°
2440°
2445°
2450°
2455°
2460°
2465°
2470°
2475°
2480°
2485°
2490°
2495°
2500°
2505°
2510°
2515°
2520°
2525°
2530°
2535°
2540°
2545°
2550°
2555°
2560°
2565°
2570°
2575°
2580°
2585°
2590°
2595°
2600°
2605°
2610°
2615°
2620°
2625°
2630°
2635°
2640°
2645°
2650°
2655°
2660°
2665°
2670°
2675°
2680°
2685°
2690°
2695°
2700°
2705°
2710°
2715°
2720°
2725°
2730°
2735°
2740°
2745°
2750°
2755°
2760°
2765°
2770°
2775°
2780°
2785°
2790°
2795°
2800°
2805°
2810°
2815°
2820°
2825°
2830°
2835°
2840°
2845°
2850°
2855°
2860°
2865°
2870°
2875°
2880°
2885°
2890°
2895°
2900°
2905°
2910°
2915°
2920°
2925°
2930°
2935°
2940°
2945°
2950°
2955°
2960°
2965°
2970°
2975°
2980°
2985°
2990°
2995°
3000°
3005°
3010°
3015°
3020°
3025°
3030°
3035°
3040°
3045°
3050°
3055°
3060°
3065°
3070°
3075°
3080°
3085°
3090°
3095°
3100°
3105°
3110°
3115°
3120°
3125°
3130°
3135°
3140°
3145°
3150°
3155°
3160°
3165°
3170°
3175°
3180°
3185°
3190°
3195°
3200°
3205°
3210°
3215°
3220°
3225°
3230°
3235°
3240°
3245°
3250°
3255°
3260°
3265°
3270°
3275°
3280°
3285°
3290°
3295°
3300°
3305°
3310°
3315°
3320°
3325°
3330°
3335°
3340°
3345°
3350°
3355°
3360°
3365°
3370°
3375°
3380°
3385°
3390°
3395°
3400°
3405°
3410°
3415°
3420°
3425°
3430°
3435°
3440°
3445°
3450°
3455°
3460°
3465°
3470°
3475°
3480°
3485°
3490°
3495°
3500°
3505°
3510°
3515°
3520°
3525°
3530°
3535°
3540°
3545°
3550°
3555°
3560°
3565°
3570°
3575°
3580°
3585°
3590°
3595°
3600°
3605°
3610°
3615°
3620°
3625°
3630°
3635°
3640°
3645°
3650°
3655°
3660°
3665°
3670°
3675°
3680°
3685°
3690°
3695°
3700°
3705°
3710°
3715°
3720°
3725°
3730°
3735°
3740°
3745°
3750°
3755°
3760°
3765°
3770°
3775°
3780°
3785°
3790°
3795°
3800°
3805°
3810°
3815°
3820°
3825°
3830°
3835°
3840°
3845°
3850°
3855°
3860°
3865°
3870°
3875°
3880°
3885°
3890°
3895°
3900°
3905°
3910°
3915°
3920°
3925°
3930°
3935°
3940°
3945°
3950°
3955°
3960°
3965°
3970°
3975°
3980°
3985°
3990°
3995°
4000°
4005°
4010°
4015°
4020°
4025°
4030°
4035°
4040°
4045°
4050°
4055°
4060°
4065°
4070°
4075°
4080°
4085°
4090°
4095°
4100°
4105°
4110°
4115°
4120°
4125°
4130°
4135°
4140°
4145°
4150°
4155°
4160°
4165°
4170°
4175°
4180°
4185°
4190°
4195°
4200°
4205°
4210°
4215°
4220°
4225°
4230°
4235°
4240°
4245°
4250°
4255°
4260°
4265°
4270°
4275°
4280°
4285°
4290°
4295°
4300°
4305°
4310°
4315°
4320°
4325°
4330°
4335°
4340°
4345°
4350°
4355°
4360°
4365°
4370°
4375°
4380°
4385°
4390°
4395°
4400°
4405°
4410°
4415°
4420°
4425°
4430°
4435°
4440°
4445°
4450°
4455°
4460°
4465°
4470°
4475°
4480°
4485°
4490°
4495°
4500°
4505°
4510°
4515°
4520°
4525°
4530°
4535°
4540°
4545°
4550°
4555°
4560°
4565°
4570°
4575°
4580°
4585°
4590°
4595°
4600°
4605°
4610°
4615°
4620°
4625°
4630°
4635°
4640°
4645°
4650°
4655°
4660°
4665°
4670°
4675°
4680°
4685°
4690°
4695°
4700°
4705°
4710°
4715°
4720°
4725°
4730°
4735°
4740°
4745°
4750°
4755°
4760°
4765°
4770°
4775°
4780°
4785°
4790°
4795°
4800°
4805°
4810°
4815°
4820°
4825°
4830°
4835°
4840°
4845°
4850°
4855°
4860°
4865°
4870°
4875°
4880°
4885°
4890°
4895°
4900°
4905°
4910°
4915°
4920°
4925°
4930°
4935°
4940°
4945°
4950°
4955°
4960°
4965°
4970°
4975°
4980°
4985°
4990°
4995°
5000°
5005°
5010°
5015°
5020°
5025°
5030°
5035°
5040°
5045°
5050°
5055°
5060°
5065°
5070°
5075°
5080°
5085°
5090°
5095°
5100°
5105°
5110°
5115°
5120°
5125°
5130°
5135°
5140°
5145°
5150°
5155°
5160°
5165°
5170°
5175°
5180°
5185°
5190°
5195°
5200°
5205°
5210°
5215°
5220°
5225°
5230°
5235°
5240°
5245°
5250°
5255°
5260°
5265°
5270°
5275°
5280°
5285°
5290°
5295°
5300°
5305°
5310°
5315°
5320°
5325°
5330°
5335°
5340°
5345°
5350°
5355°
5360°
5365°
5370°
5375°
5380°
5385°
5390°
5395°
5400°
5405°
5410°
5415°
5420°
5425°
5430°
5435°
5440°
5445°
5450°
5455°
5460°
5465°
5470°
5475°
5480°
5485°
5490°
5495°
5500°
5505°
5510°
5515°
5520°
5525°
5530°
5535°
5540°
5545°
5550°
5555°
5560°
5565°
5570°
5575°
5580°
5585°
5590°
5595°
5600°
5605°
5610°
5615°
5620°
5625°
5630°
5635°
5640°
5645°
5650°
5655°
5660°
5665°
5670°
5675°
5680°
5685°
5690°
5695°
5700°
5705°
5710°
5715°
5720°
5725°
5730°
5735°
5740°
5745°
5750°
5755°
5760°
5765°
5770°
5775°
5780°
5785°
5790°
5795°
5800°
5805°
5810°
5815°
5820°
5825°
5830°
5835°
5840°
5845°
5850°
5855°
5860°
5865°
5870°
5875°
5880°
5885°
5890°
5895°
5900°
5905°
5910°
5915°
5920°
5925°
5930°
5935°
5940°
5945°
5950°
5955°
5960°
5965°
5970°
5975°
5980°
5985°
5990°
5995°
6000°
6005°
6010°
6015°
6020°
6025°
6030°
6035°
6040°
6045°
6050°
6055°
6060°
6065°
6070°
6075°
6080°
6085°
6090°
6095°
6100°
6105°
6110°
6115°
6120°
6125°
6130°
6135°
6140°
6145°
6150°
6155°
6160°
6165°
6170°
6175°
6180°
6185°
6190°
6195°
6200°
6205°
6210°
6215°
6220°
6225°
6230°
6235°
6240°
6245°
6250°
6255°
6260°
6265°
6270°
6275°
6280°
6285°
6290°
6295°
6300°
6305°
6310°
6315°
6320°
6325°
6330°
6335°
6340°
6345°
6350°
6355°
6360°
6365°
6370°
6375°
6380°
6385°
6390°
6395°
6400°
6405°
6410°
6415°
6420°
6425°
6430°
6435°
6440°
6445°
6450°
6455°
6460°
6465°
6470°
6475°
6480°
6485°
6490°
6495°
6500°
6505°
6510°
6515°
6520°
6525°
6530°
6535°
6540°
6545°
6550°
6555°
6560°
6565°
6570°
6575°
6580°
6585°
6590°
6595°
6600°
6605°
6610°
6615°
6620°
6625°
6630°
6635°
6640°
6645°
6650°
6655°
6660°
6665°
6670°
6675°
6680°
6685°
6690°
6695°
6700°
6705°
6710°
6715°
6720°
6725°
6730°
6735°
6740°
6745°
6750°
6755°
6760°
6765°
6770°
6775°
6780°
6785°
6790°
6795°
6800°
6805°
6810°
6815°
6820°
6825°
6830°
6835°
6840°
6845°
6850°
6855°
6860°
6865°
6870°
6875°
6880°
6885°
6890°
6895°
6900°
6905°
6910°
6915°
6920°
6925°
6930°
6935°
6940°
6945°
6950°
6955°
6960°
6965°
6970°
6975°
6980°
6985°
6990°
6995°
7000°
7005°
7010°
7015°
7020°
7025°
7030°
7035°
7040°
7045°
7050°
7055°
7060°
7065°
7070°
7075°
7080°
7085°
7090°
7095°
7100°
7105°
7110°
7115°
7120°
7125°
7130°
7135°
7140°
7145°
7150°
7155°
7160°
7165°
7170°
7175°
7180°
7185°
7190°
7195°
7200°
7205°
7210°
7215°
7220°
7225°
7230°
7235°
7240°
7245°
7250°
7255°
7260°
7265°
7270°
7275°
7280°
7285°
7290°
7295°
7300°
7305°
7310°
7315°
7320°
7325°
7330°
7335°
7340°
7345°
7350°
7355°
7360°
7365°
7370°
7375°
7380°
7385°
7390°
7395°
7400°
7405°
7410°
7415°
7420°
7425°
7430°
7435°
7440°
7445°
7450°
7455°
7460°
7465°
7470°
7475°
7480°
7485°
7490°
7495°
7500°
7505°
7510°
7515°
7520°
7525°
7530°
7535°
7540°
7545°
7550°
7555°
7560°
7565°
7570°
7575°
7580°
7585°
7590°
7595°
7600°
7605°
7610°
7615°
7620°
7625°
7630°
7635°
7640°
7645°
7650°
7655°
7660°
7665°
7670°
7675°
7680°
7685°
7690°
7695°
7700°
7705°
7710°
7715°
7720°
7725°
7730°
7735°
7740°
7745°
7750°
7755°
7760°
7765°
7770°
7775°
7780°
7785°
7790°
7795°
7800°
7805°
7810°
7815°
7820°
7825°
7830°
7835°
7840°
7845°
7850°
7855°
7860°
7865°
7870°
7875°
7880°
7885°
7890°
7895°
7900°
7905°
7910°
7915°
7920°
7925°
7930°
7935°
7940°
7945°
7950°
7955°
7960°
7965°
7970°
7975°
7980°
7985°
7990°
7995°
8000°
8005°
8010°
8015°
8020°
8025°
8030°
8035°
8040°
8045°
8050°
8055°
8060°
8065°
8070°
8075°
8080°
8085°
8090°
8095°
8100°
8105°
8110°
8115°
8120°
8125°
8130°
8135°
8140°
8145°
8150°
8155°
8160°
8165°
8170°
8175°
8180°
8185°
8190°
8195°
8200°
8205°
8210°
8215°
8220°
8225°
8230°
8235°
8240°
8245°
8250°
8255°
8260°
8265°
8270°
8275°
8280°
8285°
8290°
8295°
8300°
8305°
8310°
8315°
8320°
8325°
8330°
8335°
8340°
8345°
8350°
8355°
8360°
8365°
8370°
8375°
8380°
8385°
8390°
8395°
8400°
8405°
8410°
8415°
8420°
8425°
8430°
8435°
8440°
8445°
8450°
8455°
8460°
8465°
8470°
8475°
8480°
8485°
8490°
8495°
8500°
8505°
8510°
8515°
8520°
8525°
8530°
8535°
8540°
8545°
8550°
8555°
8560°
8565°
8570°
8575°
8580°
8585°
8590°
8595°
8600°
8605°
8610°
8615°
8620°
8625°
8630°
8635°
8640°
8645°
8650°
8655°
8660°
8665°
8670°
8675°
8680°
8685°
8690°
8695°
8700°
8705°
8710°
8715°
8720°
8725°
8730°
8735°
8740°
8745°
8750°
8755°
8760°
8765°
8770°
8775°
8780°
8785°
8790°
8795°
8800°
8805°
8810°
8815°
8820°
8825°
8830°
8835°
8840°
8845°
8850°
8855°
8860°
8865°
8870°
8875°
8880°
8885°
8890°
8895°
8900°
8905°
8910°
8915°
8920°
8925°
8930°
8935°
8940°
8945°
8950°
8955°
8960°
8965°
8970°
8975°
8980°
8985°
8990°
8995°
9000°
9005°
9010°
9015°
9020°
9025°
9030°
9035°
9040°
9045°
9050°
9055°
9060°
9065°
9070°
9075°
9080°
9085°
9090°
9095°
9100°
9105°
9110°
9115°
9120°
9125°
9130°
9135°
9140°
9145°
9150°
9155°
9160°
9165°
9170°
9175°
9180°
9185°
9190°
9195°
9200°
9205°
9210°
9215°
9220°
9225°
9230°
9235°
9240°
9245°
9250°
9255°
9260°
9265°
9270°
9275°
9280°
9285°
9290°
9295°
9300°
9305°
9310°
9315°
9320°
9325°
9330°
9335°
9340°
9345°
9350°
9355°
9360°
9365°
9370°
9375°
9380°
9385°
9390°
9395°
9400°
9405°
9410°
9415°
9420°
9425°
9430°
9435°
9440°
9445°
9450°
9455°
9460°
9465°
9470°
9475°
9480°
9485°
9490°
9495°
9500°
9505°
9510°
9515°
9520°
9525°
9530°
9535°
9540°
9545°
9550°
9555°
9560°
9565°
9570°
9575°
9580°
9585°
9590°
9595°
9600°
9605°
9610°
9615°
9620°
9625°
9630°
9635°
9640°
9645°
9650°
9655°
9660°
9665°
9670°
9675°
9680°
9685°
9690°
9695°
9700°
9705°
9710°
9715°
9720°
9725°
9730°
9735°
9740°
9745°
9750°
9755°
9760°
9765°
9770°
9775°
9780°
9785°
9790°
9795°
9800°
9805°
9810°
9815°
9820°
9825°
9830°
9835°
9840°
9845°
9850°
9855°
9860°
9865°
9870°
9875°
9880°
9885°
9890°
9895°
9900°
9905°
9910°
9915°
9920°
9925°
9930°
9935°
9940°
9945°
9950°
9955°
9960°
9965°
9970°
9975°
9980°
9985°
9990°
9995°
10000°



內浦灣
津輕海峽
陸奥國
日高國
膽振國
後志國
渡島國
石狩國
十勝國
釧路國
比例尺二百十萬分之一
43°
42°
140°
141°
142°
143°
144°

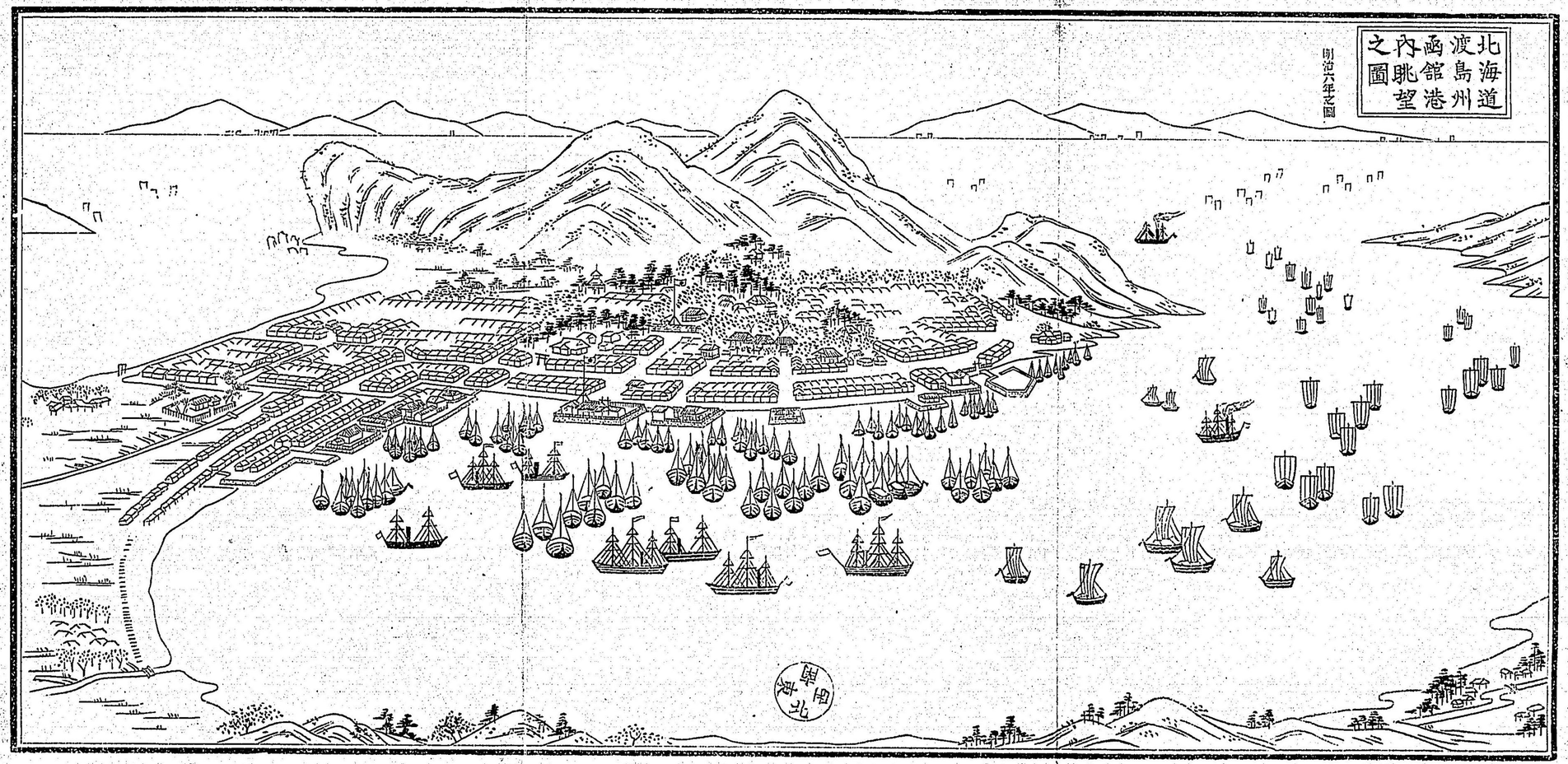
北海道渡島州函館港內眺望之圖

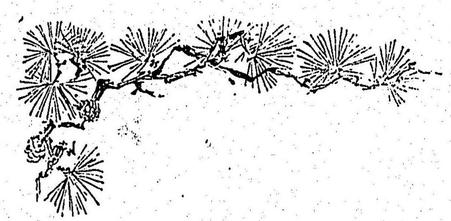
明治六年之圖

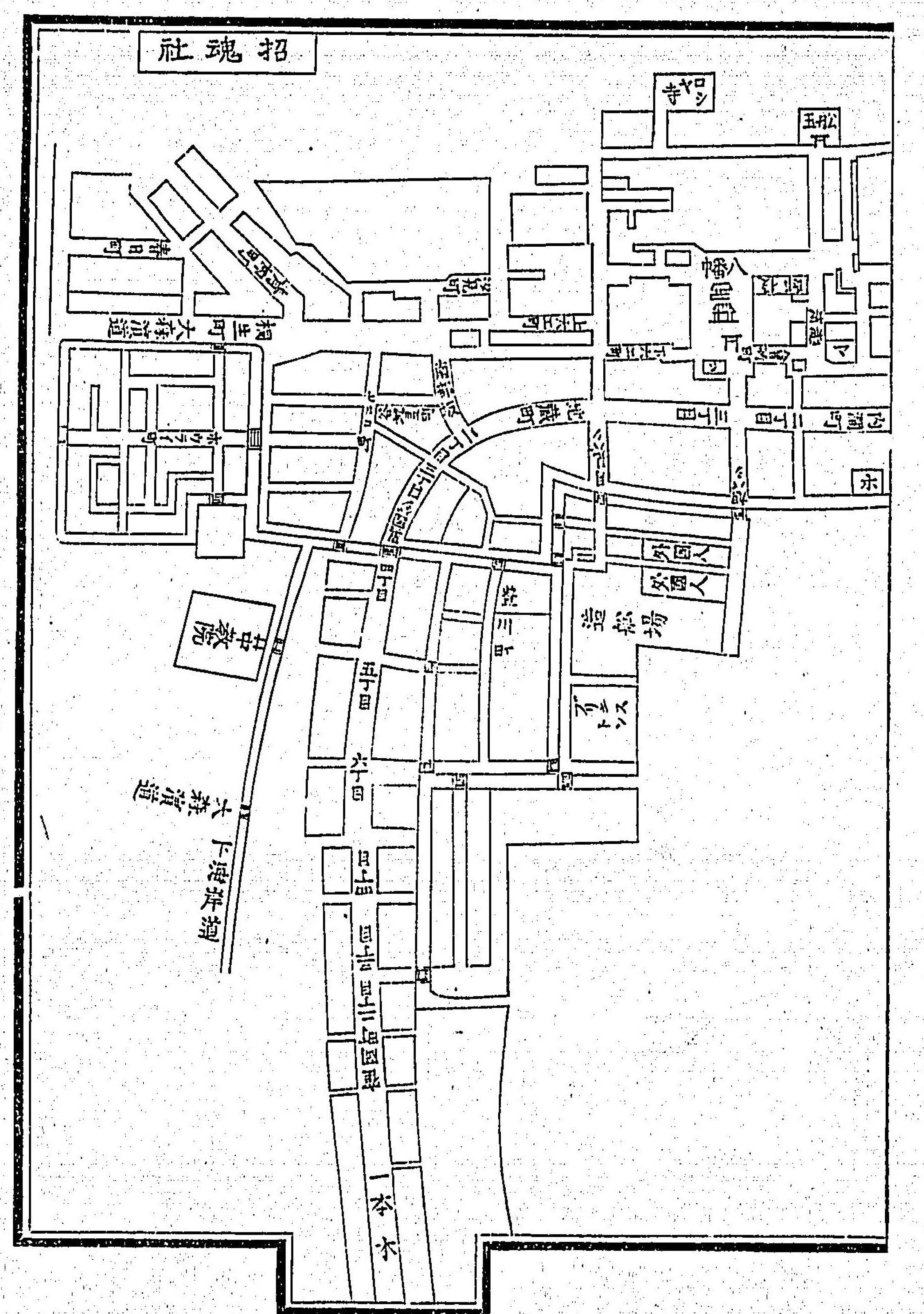


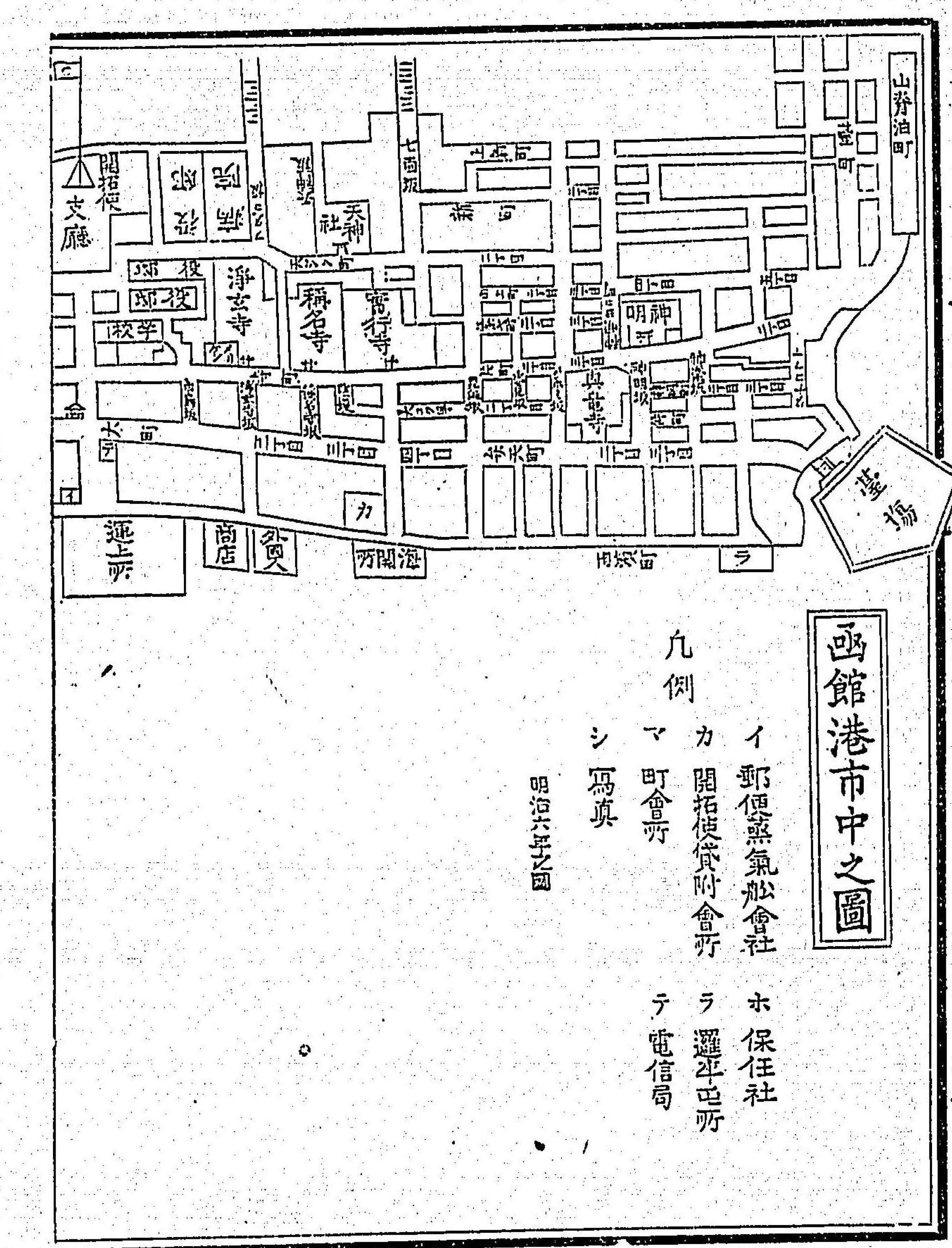
北海道渡島州函舘港內眺望之圖

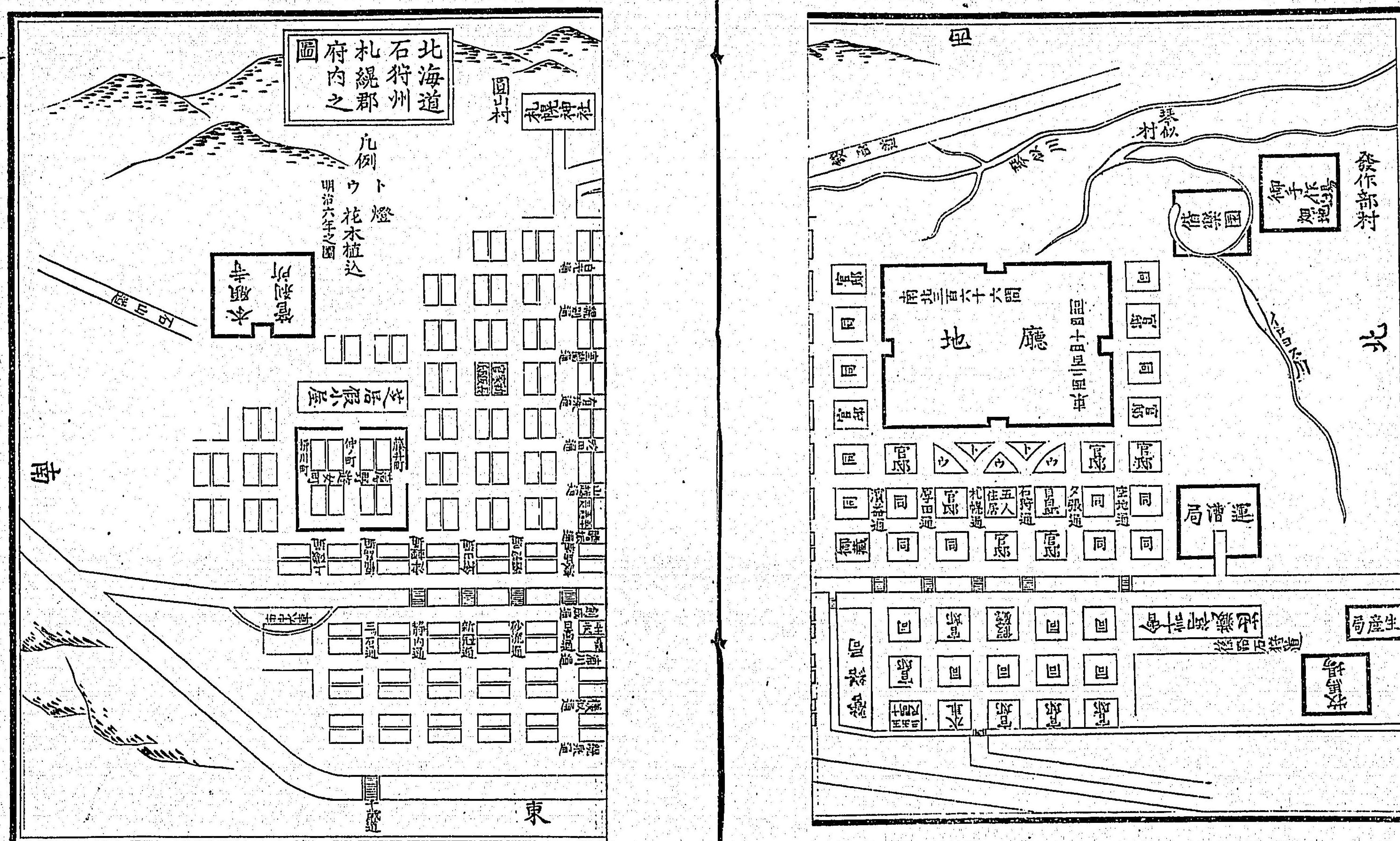
明治六年之圖






招魂社
大森濱道
一本木


函館港市中之圖
凡例
イ 郵便蒸氣船會社
ホ 保任社
カ 開拓使貸附會所
ラ 邏卒屯所
マ 町會所
テ 電信局
シ 寫眞
明治六年之圖
臺場
支廳



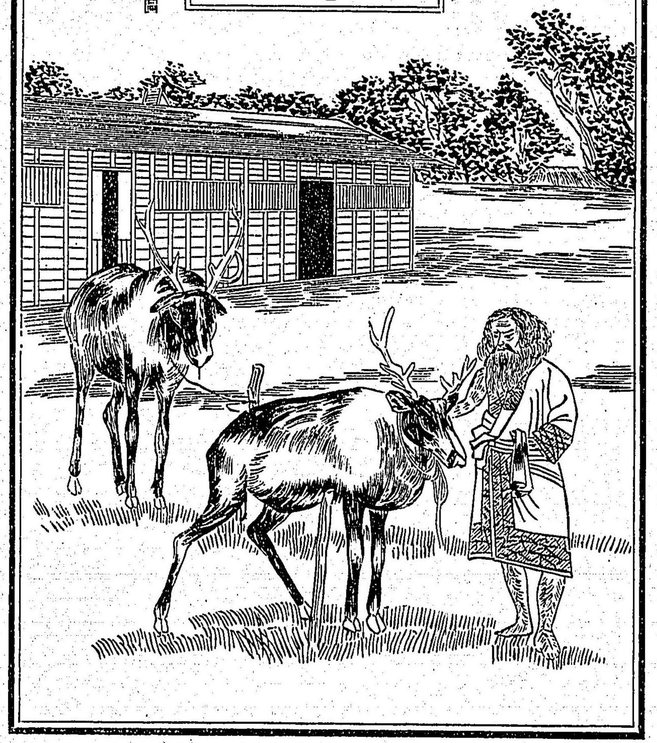
北海道石狩州札幌郡府内之圖
凡例 ト 燈 ウ 花木植込
明治六年之圖
札幌神社
南
東
西
北
廳地
運漕局
生産局
發作部村

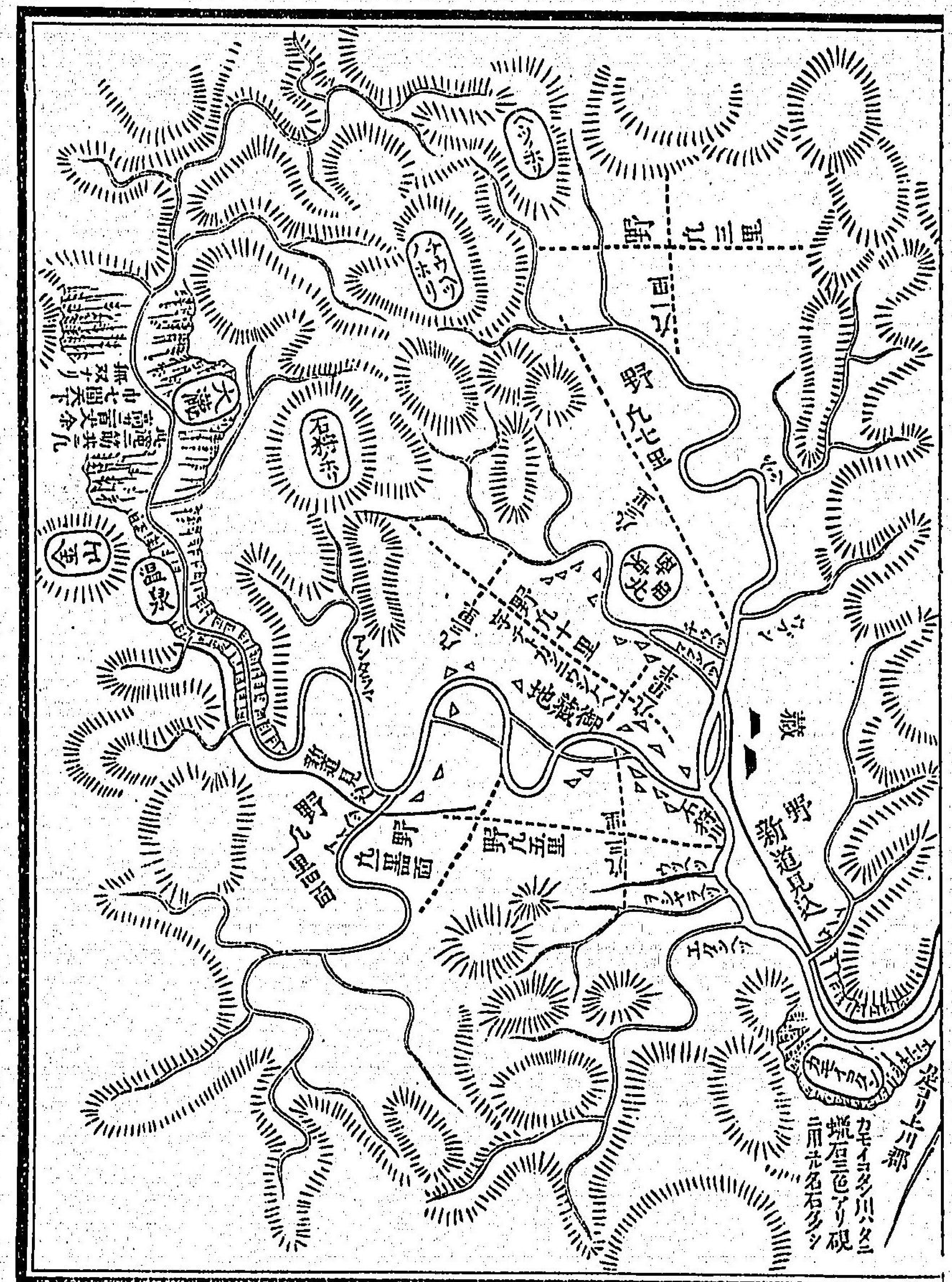
膽振國山越内土人
村長ヘビンケ之像

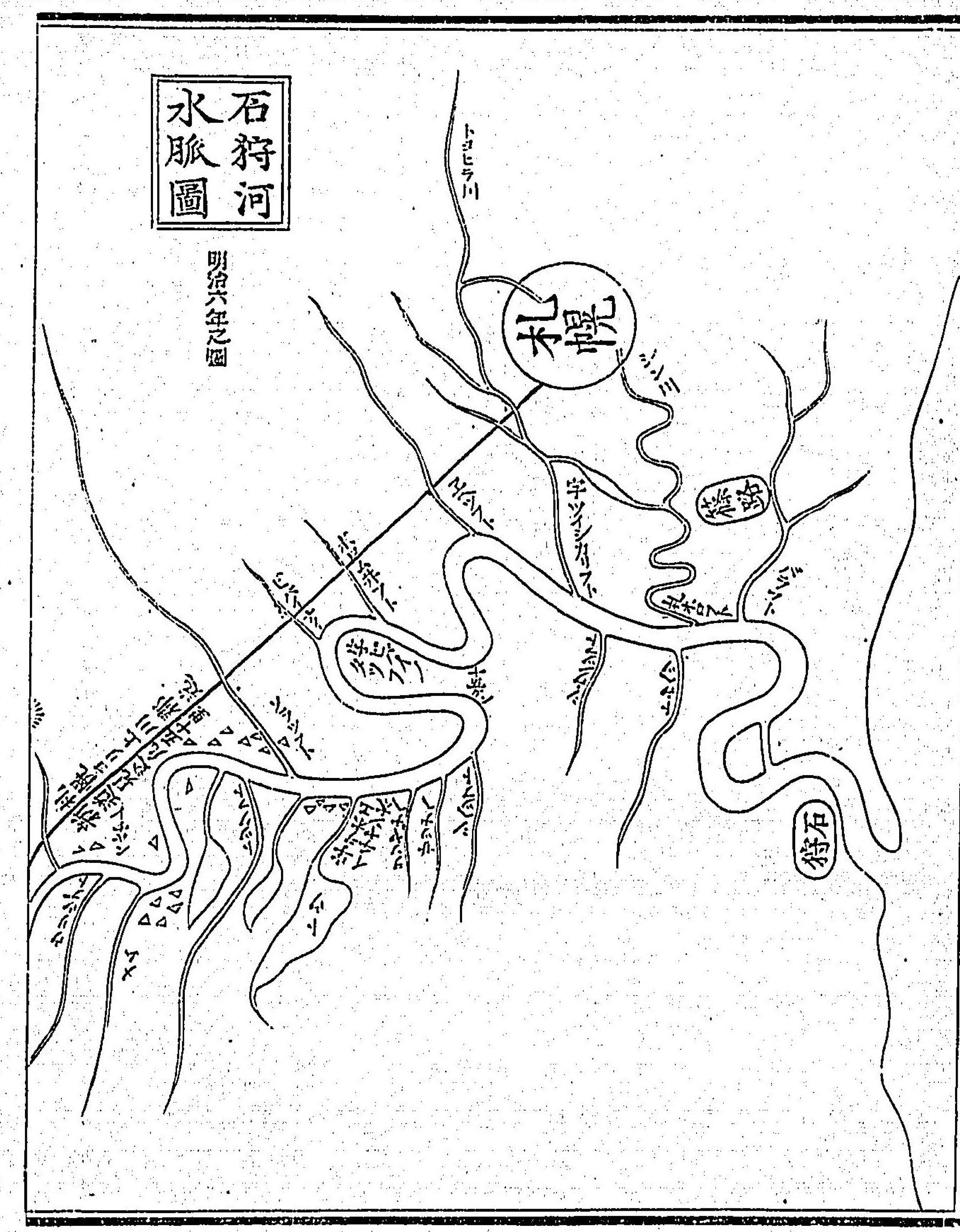
明治六年之圖

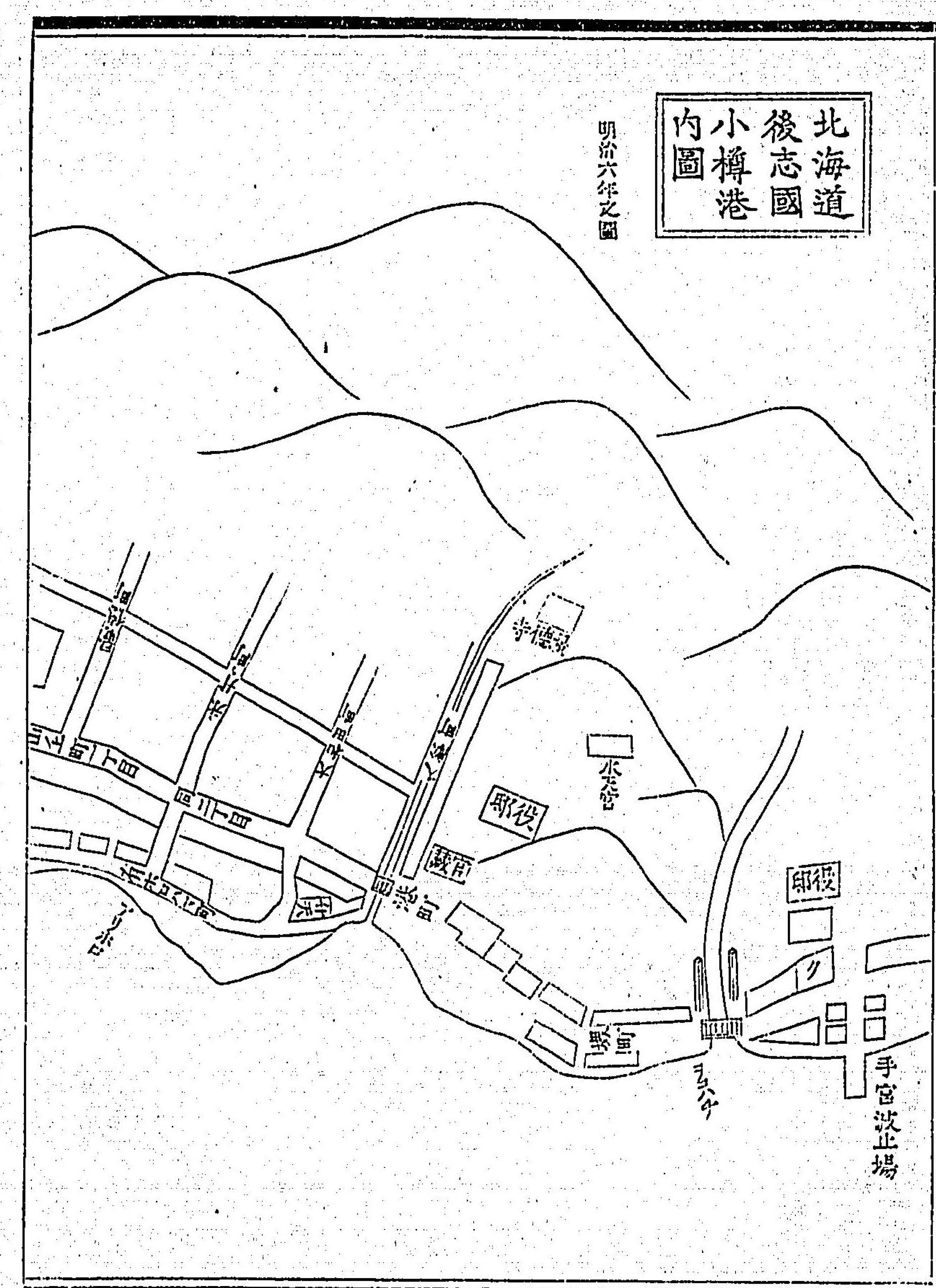
樺太産之獸「トナカイ」札幌ニ於テ養飼之圖

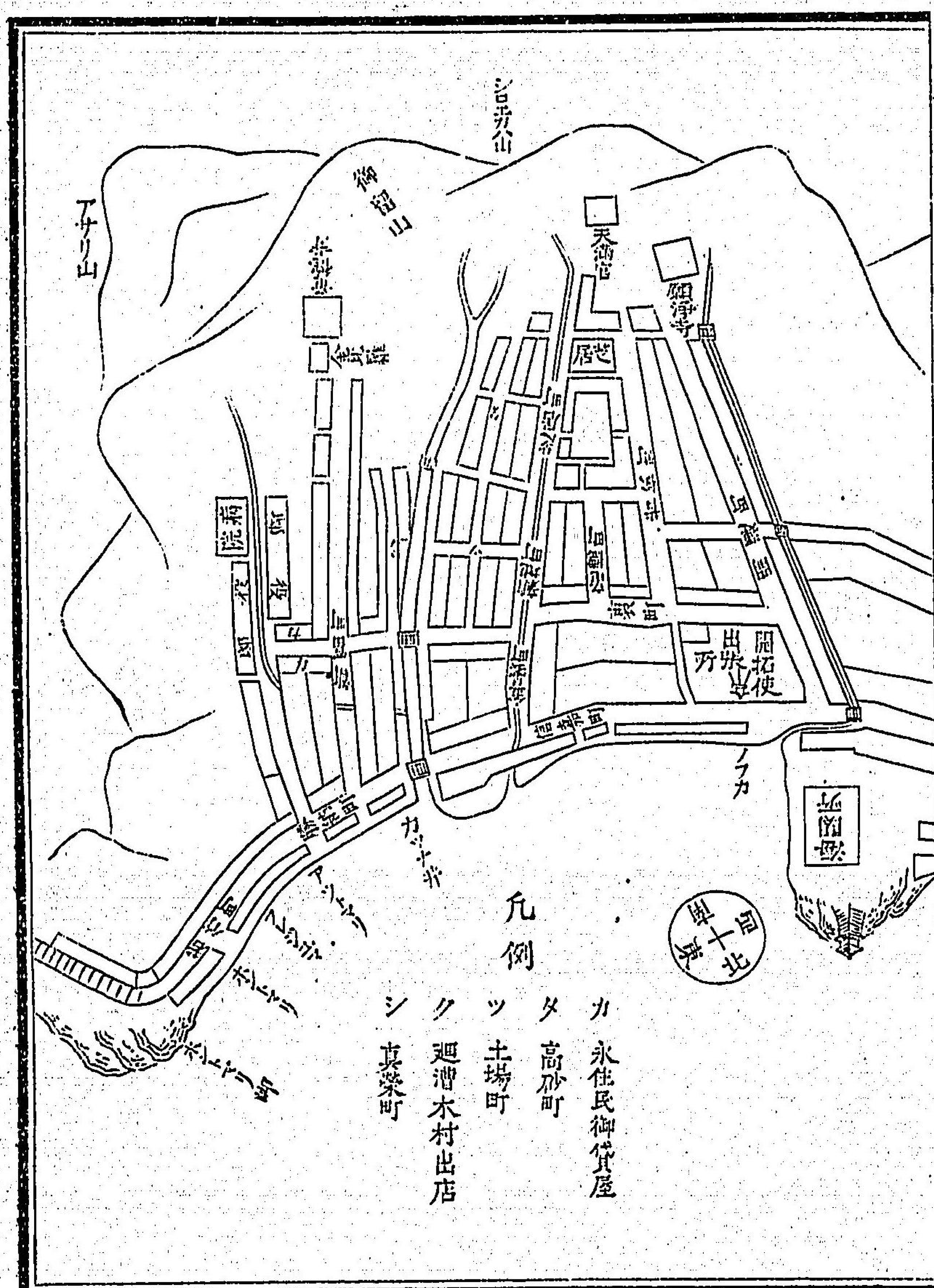
明治六年之圖





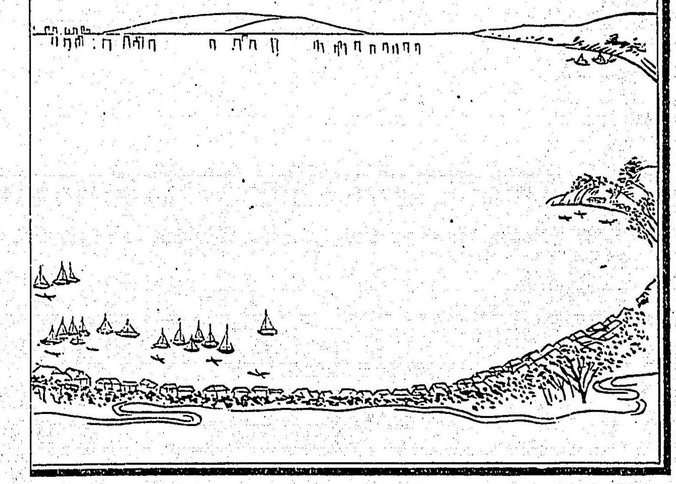

石狩河水脈圖
明治六年之圖
札幌


北海道後志國小樽港内圖
明治六年之圖
手宮波止場


凡例
カ　永住民御貸屋
タ　高砂町
ツ　土場町
ク　廻漕木村出店
シ　真栄町

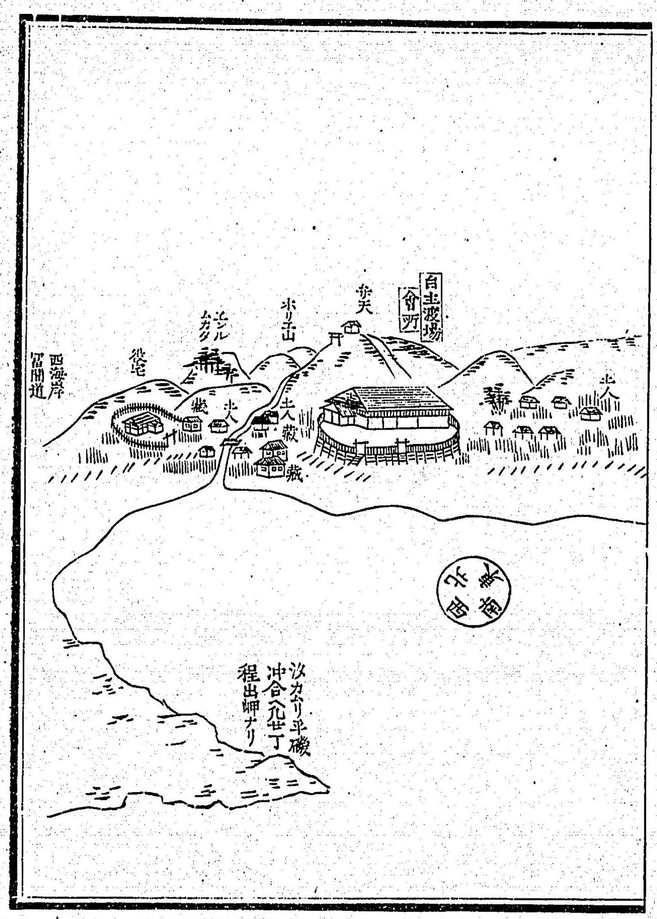
後志國
小樽港
內之圖

明治六年之圖

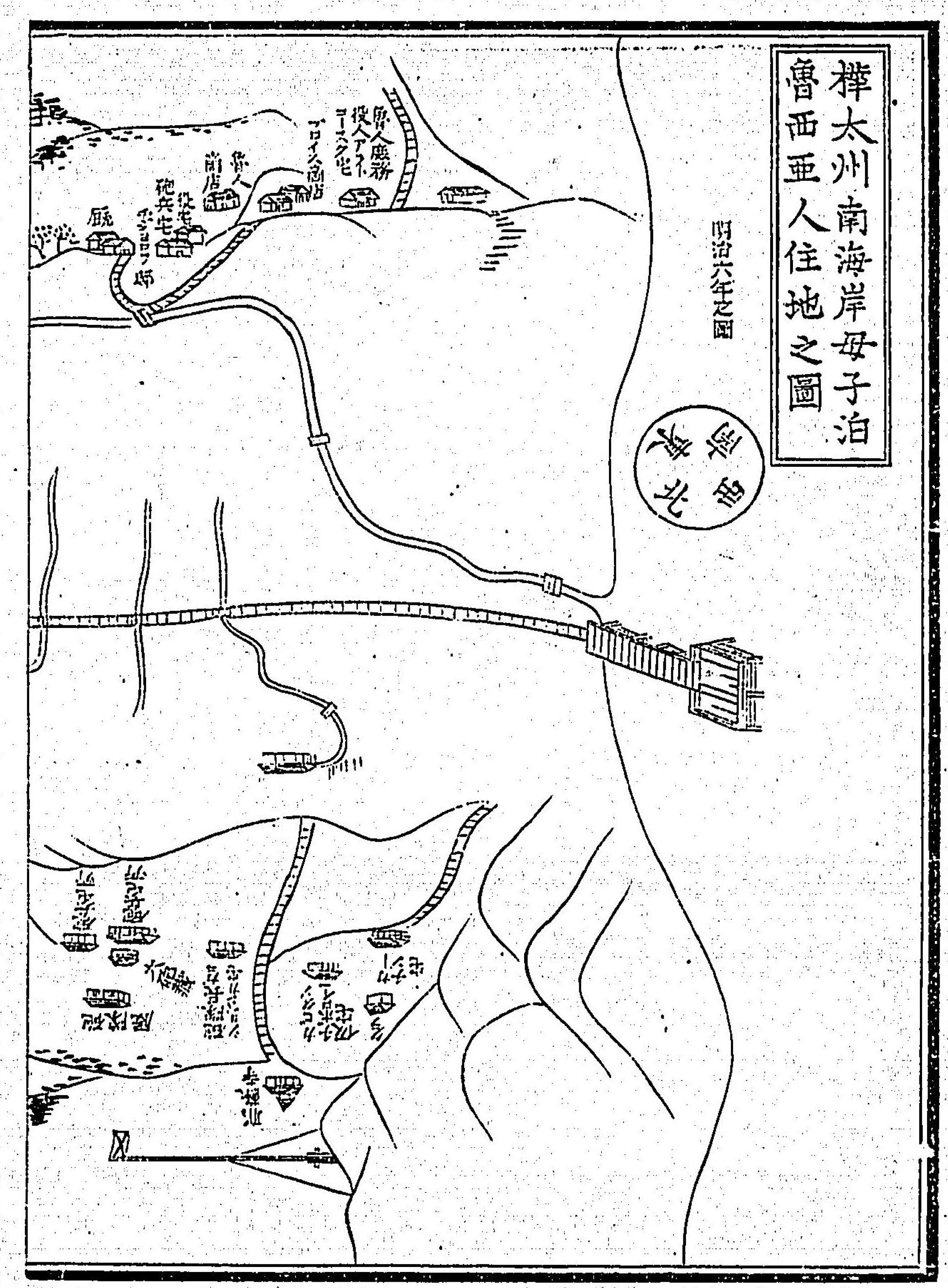


樺太州西海岸白主之圖

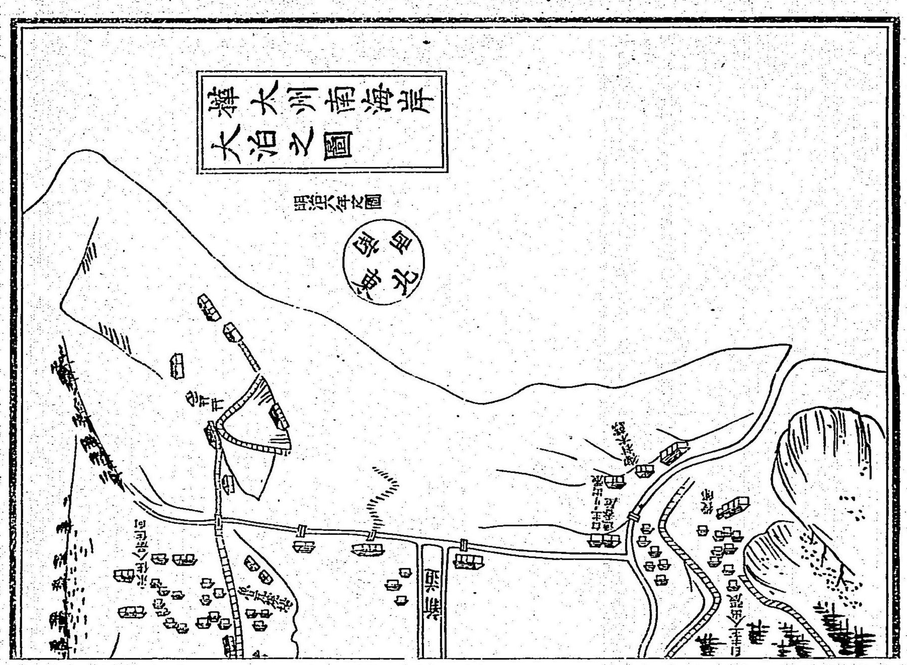
明治六年之圖

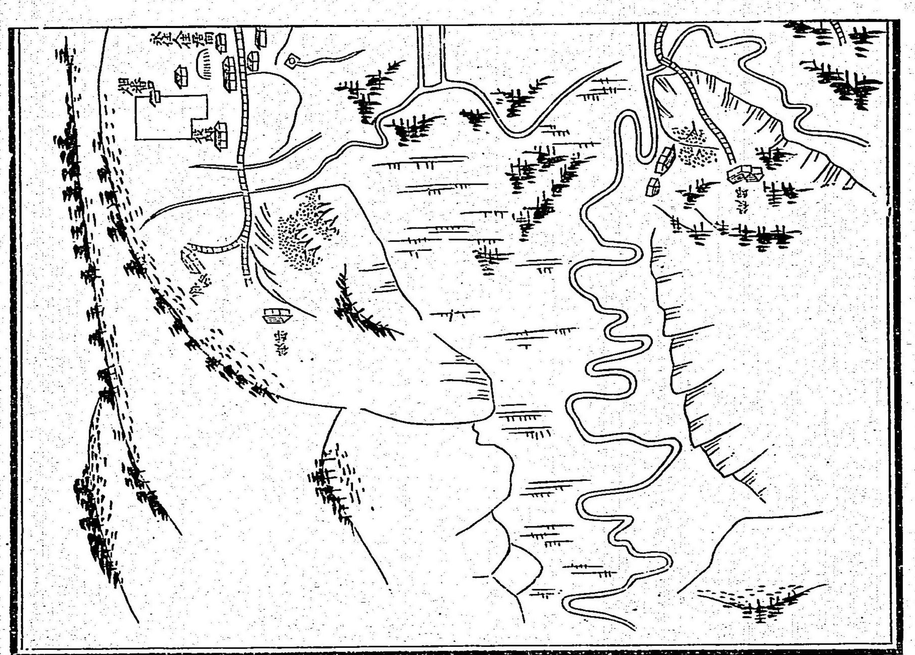


樺太州南海岸楠渓之圖
明治三十年之調



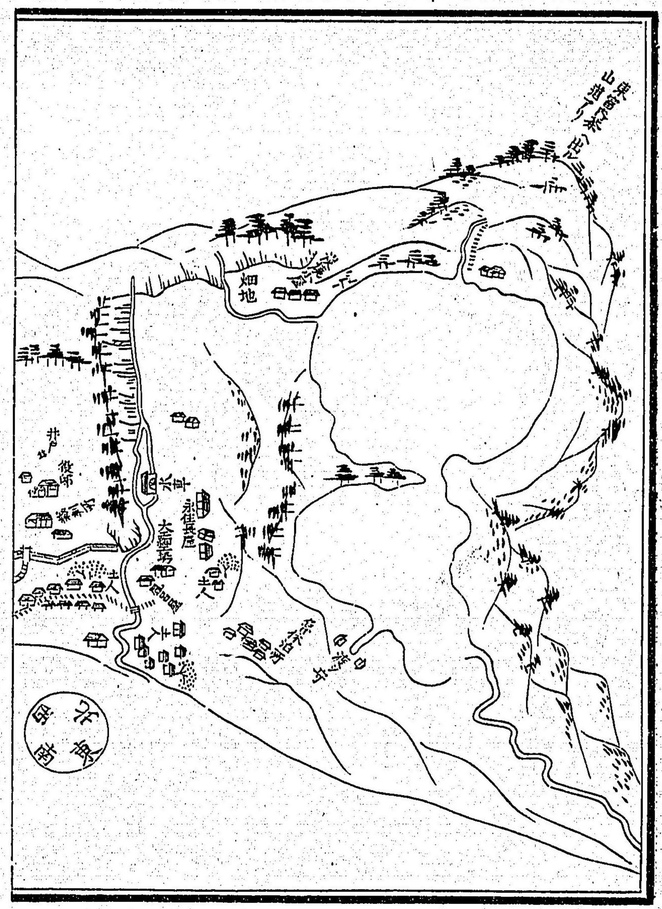
樺太州南海岸毋子泊
魯西亜人住地之圖
明治六年之圖


青海湖大沼之圖



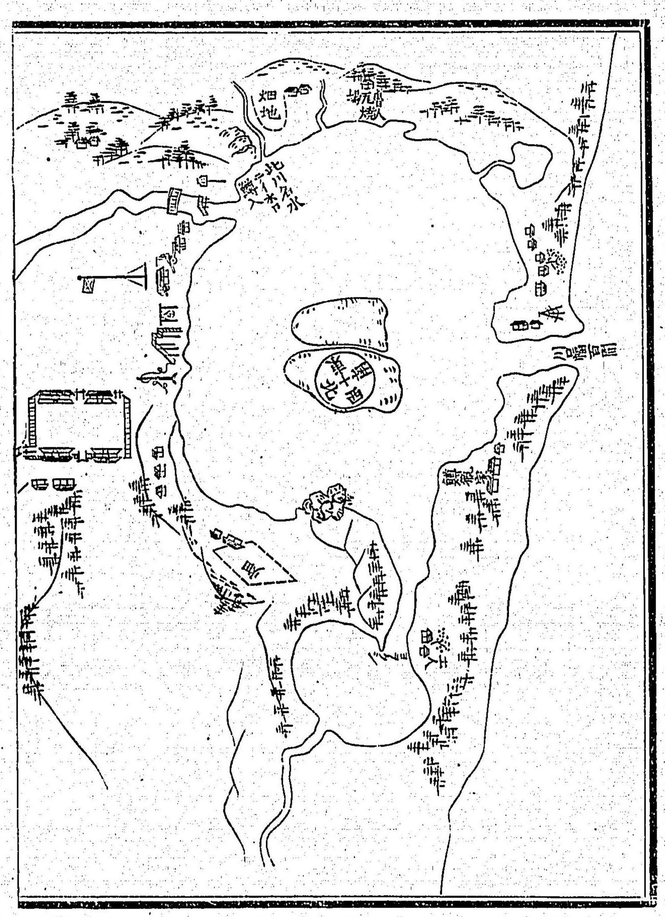
撰太州南海岸小實之圖

順治六年之圖



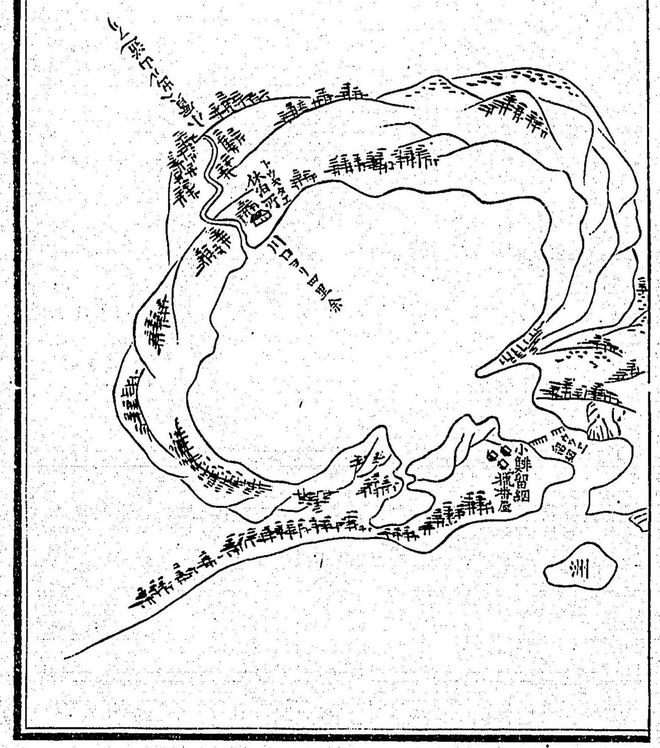
樺太州南海岸遠淵之圖

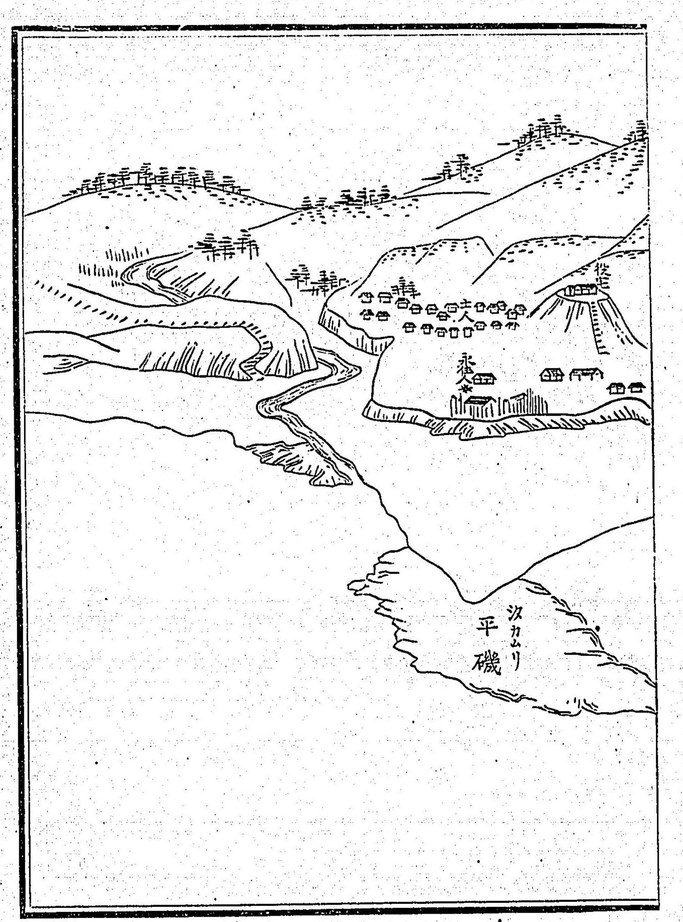
明治六年之圖

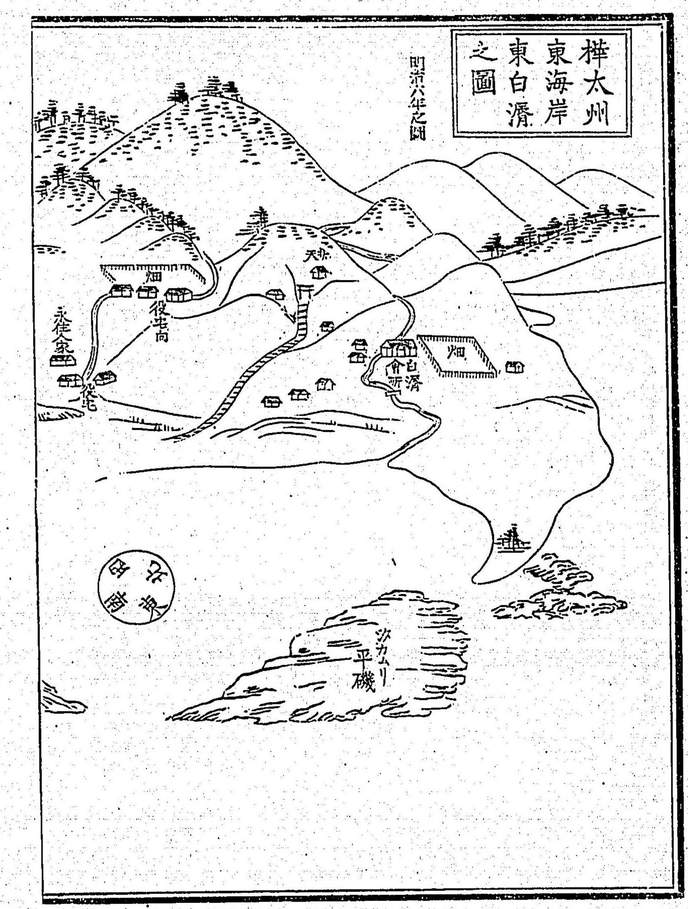


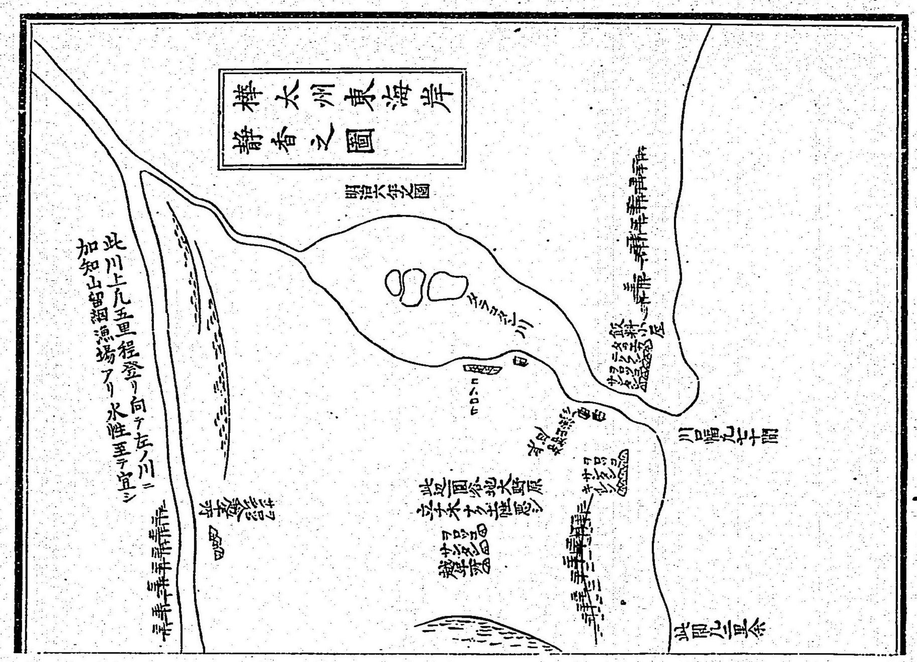
樺太州東海岸冨内茶之圖

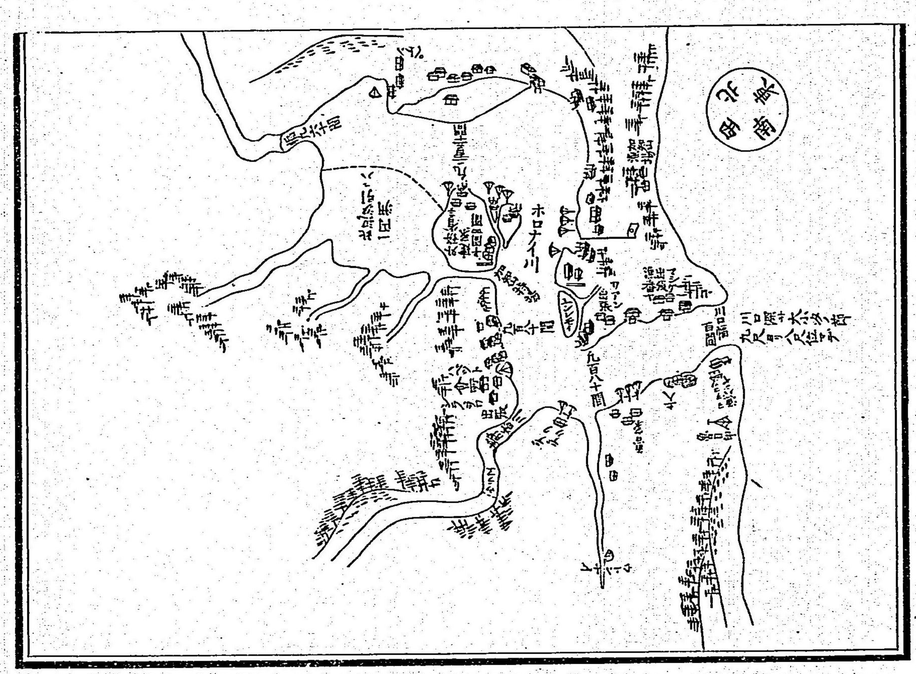
川泊六年之圖




汶カムリ
平磯

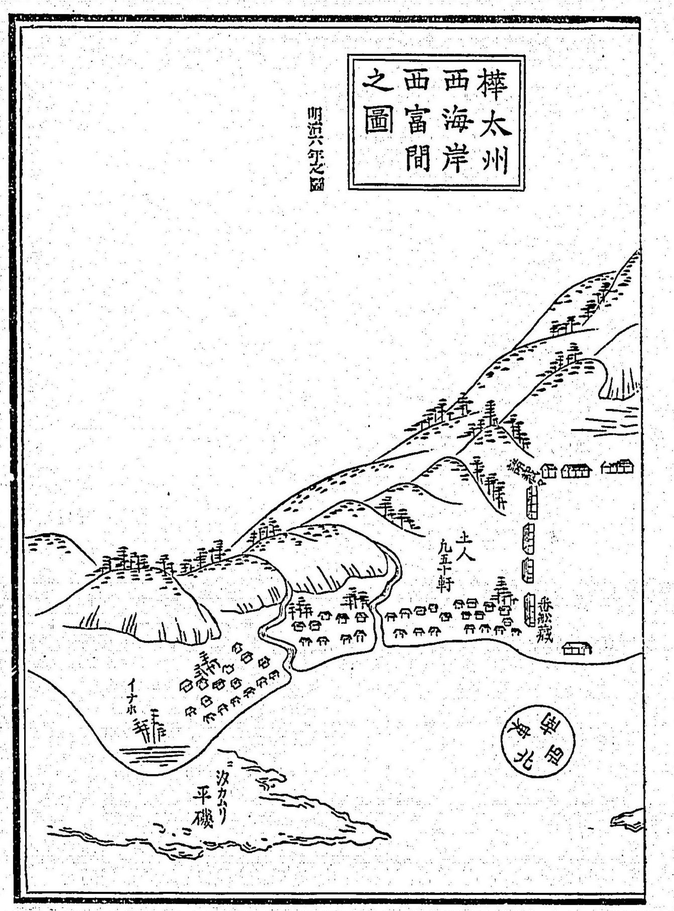

樺太州東海岸東白濱之圖
白濱分署之圖
汶カムリ
平磯

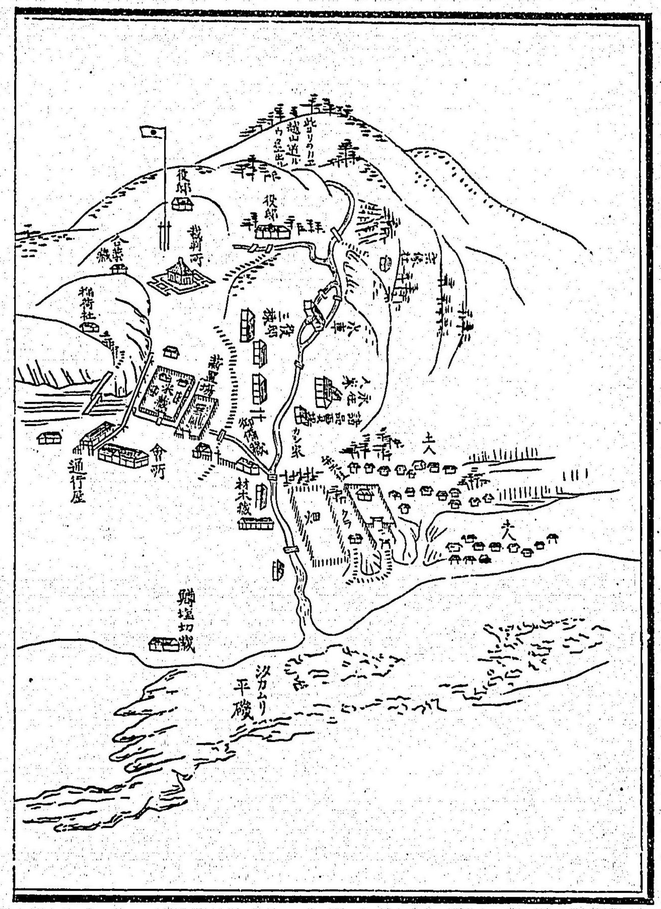

靜香之圖
本州東海岸



樺太州西海岸西富間之圖

明治六年之圖

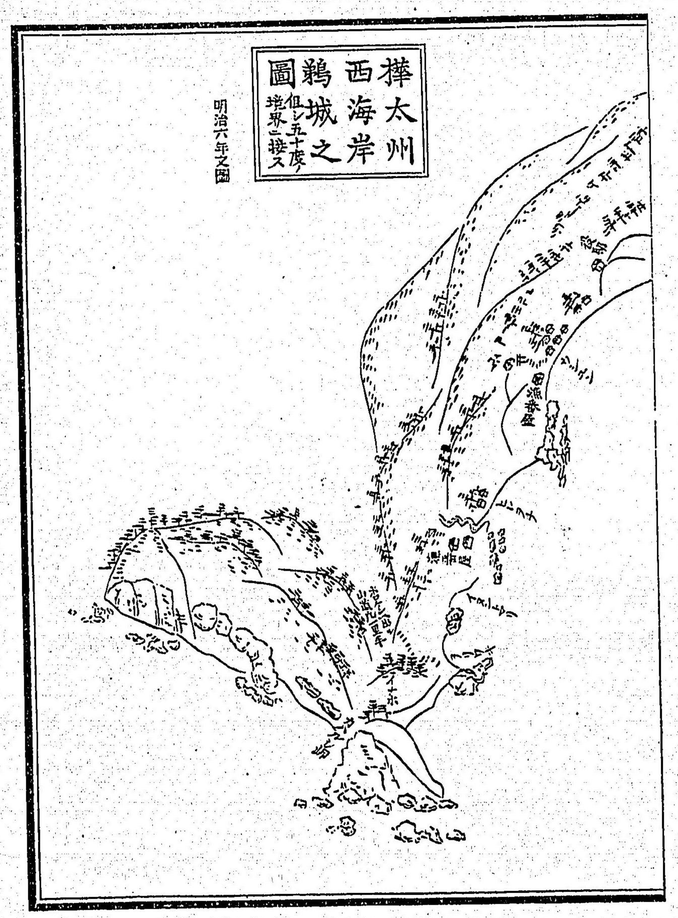


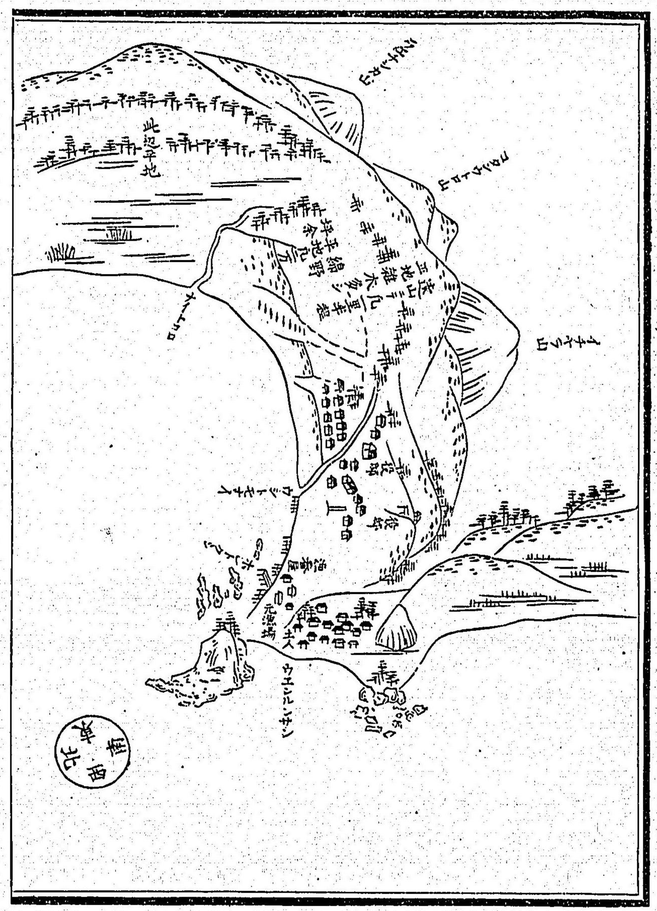


撒太州西海岸鵜城之圖

但シ五十度ノ境界ニ接ス

明治六年之圖

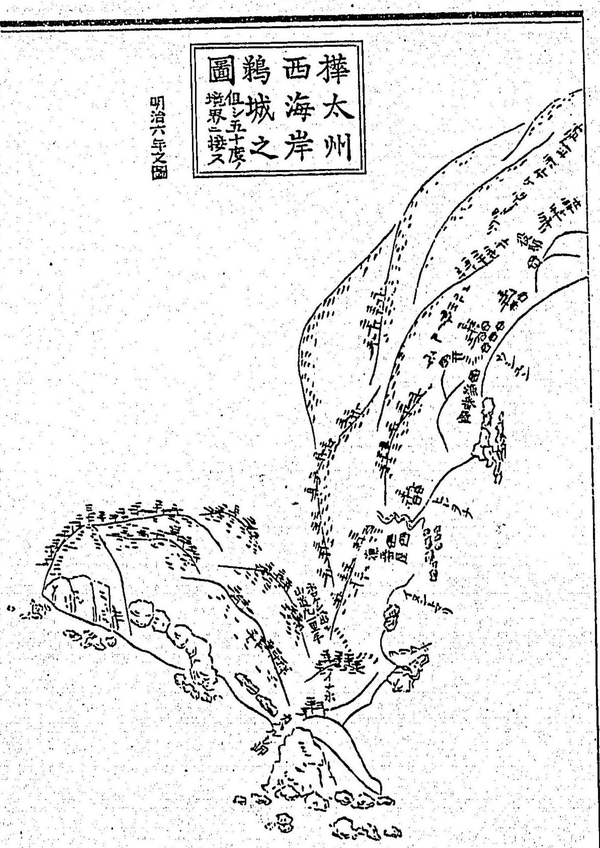


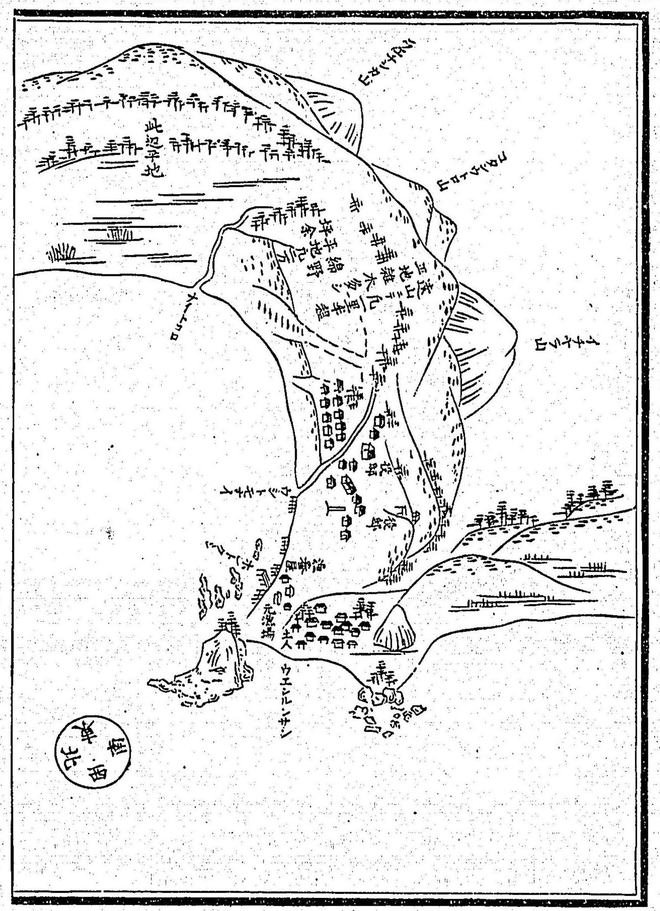


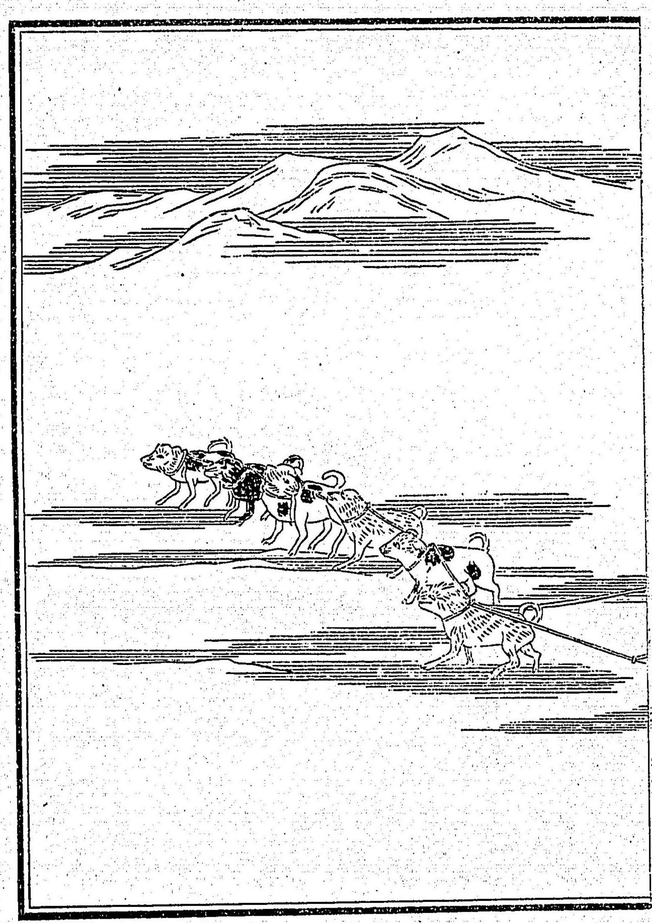
樺太州西海岸之鵜城圖

（但シ五十度ノ境界ニ接ス）

明治六年之圖

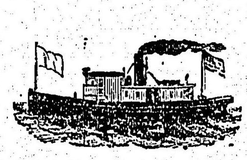






使犬牽艙圖

明治六年之圖



第六 北海道土地處分案内

○法第二十六號　明治三十年三月二十七日

北海道國有未開地處分法

第一條　北海道國有未開地ノ賣拂、付與、交換及ビ貸付ノ處分ハ此法律ニ依ル

第二條　前條ノ賣拂及ビ貸付ハ此ノ法律ニ於テ特ニ規定スル場合ノ外競爭ニ付セス

第三條　開墾牧畜若クハ植樹等ニ供セントスル土地ハ無償ニテ貸付シ全部成功ノ後無償ニテ付與スヘシ

前項ノ貸付地面積ノ制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ貸付地ハ全部成功ニ到ラスト雖モ土地整理上支障ナシト認ムル場合ニ於テハ其ノ成功地ノ全部若クハ一部ヲ付與スルコトヲ得

第四條　公用若クハ公共ノ利益トナルヘキ事業ニ供セントスル土地ハ直チニ賣拂、付與又ハ有償若クハ無償ニテ貸付スルコトヲ得

第五條　市街地市街豫定地其他土地ノ狀況ニ由リ必要ト認ムル土地ハ競爭ニ付シ直チニ賣拂フコトヲ得

第六條　社寺地又ハ墓地ニ供セントスル土地其他事業ノ目的ニ由リ必要ト認ムル土地ハ直チニ賣拂フコトヲ得

第七條　素地ノ儘使用セントスル土地ハ有償若クハ無償貸付チナスコトヲ得

第八條　民有地ト交換スルコトヲ得ヘキ土地ハ其評定價格相均キモノニ限ル

第九條　土地ノ貸付ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

無償貸付　十ケ年

有償貸付　十五ケ年

植樹又ハ泥炭地ノ開墾ニ限リ特ニ二十箇年以内ノ期間ヲ以テ貸付スルコトヲ得

天災其他避クヘカラサル事故ニ由リ貸付期間内ニ成功スルコト能ハサルトキハ貸付期間ノ半期間迄延期スルコトヲ得

第十條　第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ豫定ノ事業成功程度ニ從ヒ隨時其成否ヲ點檢シ豫定ノ如ク成功セサルトキハ未成功地ノ全部ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ拓殖上又ハ土地整理上支障アリト認ムルトキハ其ノ成功地ノ一部若クハ全部ヲ無償ニテ返還セシムルコトアルヘシ

第十一條　貸付地ニシテ公用又ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ニ供セントスルトキハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ建設物其ノ他ノ物件アルトキハ所有者ノ請求ニ由リ評定ノ上移轉料ヲ辨償シ又ハ評定價格ヲ以テ之ヲ買收シ且土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ハ之ヲ辨償スルモノトス但シ第三條ニ依リ貸付シタル土地ニ關シテハ其ノ評定價格土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ヨリ多額ナルトキハ其ノ價格ニ由リテ辨償スルモノトス

前項ニ掲クル總テノ費用ハ起業者ノ負擔トス

第十二條　左ノ場合ニ於テ天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ由ルモノヽ外賣拂付與及其貸付處分ヲ取消ス者トス但シ賣拂ニ係ルモノハ其ノ既納ノ代價ヲ還付スヘシ

一　第三條ニ依リ貸付シタル土地ニシテ一箇年以內ニ事業ニ着手セサルトキ

二　第四條及第六條ニ依リ賣拂、付與又ハ有償貸付ヲナシタル土地ニシテ三箇年以內ニ豫定ノ目的ニ使用セサルトキ

三　第四條及第七條ニ依リ無償貸付ヲナシタル土地ニシテ二箇年以內ニ豫定ノ目的ニ使用セサルトキ

第十三條　左ノ場合ニ於テ伐採シタル樹木アルトキハ其ノ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

一　第三條ニ依レル貸付中ノ土地ヲ自己ノ便宜ニヨリ貸付中ノ土地ヲ返還セシメ若クハ自己ノ便宜ニヨリ貸付シタル土地ヲ返還シタル場合又ハ第十條ニ依リ返還セシメタルトキ

二　第四條及第七條ニ依リ無償ニテ貸付シタル土地ヲ豫定ノ目的ニ使用セスシテ返還シ又ハ第十二條ノ處分ヲナシタルトキ

第十四條　第十條ニ依リ貸付地ヲ返還セシメ若クハ自己ノ便宜ニヨリ貸付中ノ土地ヲ返還シタル場合又ハ第十二條ニ依リ賣拂、付與及貸付處分ノ取消ヲナシタル場合ニ於テ其ノ土地ニ存在セル建設物其ノ他ノ物件アルトキハ所有者ハ行政廳ノ定メタル期間內ニ於テ之ヲ除去スヘシ若其ノ期間內ニ除去セサルトキハ其ノ物件ハ國ノ所有ニ歸ス

第十五條　左ノ貸付地ニ限リ行政廳ノ許可ヲ得テ其ノ貸付地ノ上ニ有スル權利ヲ債務ノ擔保ニ供シ又ハ賣買讓與スルコトヲ得

一　第四條及第七條ニ依レル有償貸付地

二　行政廳ニ於テ特ニ指定シタル區域內ニ於ケル貸付地

三　命令ヲ以テ定メタル事項ニ該當スル貸付地

第十六條　第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ貸付期間滿了後一箇年以內ニ其ノ土地ノ付與ヲ請求スヘシ一箇年ヲ超過シテ請求セサルトキハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノトス

第十七條　第三條ニ依リ貸付ヲ受ケタル者ハ其ノ土地ノ全部ヲ成功スルニ非サレハ他ノ土地ノ無償貸付ヲ受クルヲ得ス

但シ相當ノ資力アリテ成功スルヲ得ル者ト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

植樹又ハ泥炭地ノ開墾ニ限リ特ニ二十箇年以内ノ期間ヲ以テ貸付スルコトヲ得

天災其他避クヘカラサル事故ニ由リ貸付期間内ニ成功スルコト能ハサルトキハ貸付期間ノ半期間迄延期スルコトヲ得

第十條　第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ豫定ノ事業成功程度ニ從ヒ隨時其成否ヲ點檢シ豫定ノ如ク成功セサルトキハ未成功地ノ全部ヲ返還セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ拓殖上又ハ土地整理上支障アリト認ムルトキハ其ノ成功地ノ一部若クハ全部ヲ無償ニテ返還セシムルコトアルヘシ

第十一條　貸付地ニシテ公用又ハ公共ノ利益トナルヘキ事業ニ供セントスルトキハ之ヲ返還セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ建設物其ノ他ノ物件アルトキハ所有者ノ請求ニ由リ評定ノ上移轉料ヲ辨償シ又ハ評定價格ヲ以テ之ヲ買收シ且土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ハ之ヲ辨償スルモノトス但シ第三條ニ依リ貸付シタル土地ニ關シテハ其ノ評定價格土地ニ對シテ費シタル直接ノ費用ヨリ多額ナルトキハ其ノ價格ニ由リテ辨償スルモノトス

前項ニ揭クル總テノ費用ハ起業者ノ負擔トス

第十二條　左ノ場合ニ於テ天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ由ルモノヽ外賣拂付與及其貸付處分ヲ取消ス者トス但シ賣拂ニ係ルモノハ其ノ既納ノ代價ヲ還付スヘシ

一　第三條ニ依リ貸付シタル土地ニシテ一箇年以內ニ事業ニ着手セサルトキ

二　第四條及第六條ニ依リ賣拂、付與又ハ有償貸付ヲヲシタル土地ニシテ三箇年以內ニ豫定ノ目的ニ使用セサルトキ

三　第四條及第七條ニ依リ無償貸付ヲヲシタル土地ニシテ二箇年以內ニ豫定ノ目的ニ使用セサルトキ

第十三條　左ノ場合ニ於テ伐採シタル樹木アルトキハ其ノ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

一　第三條ニ依レル貸付中ノ土地ヲ自己ノ便宜ニヨリ貸付期間內ニ返還シ又ハ第十條ニ依リ返還セシメタルトキ

二　第四條及第七條ニ依リ無償ニテ貸付シタル土地ヲ豫定ノ目的ニ使用セス又ハ第十二條ノ處分ヲヲナシタルトキ

第十四條　第十條ニ依リ貸付地ヲ返還セシメ若クハ自己ノ便宜ニヨリ貸付中ノ土地ヲ返還シタル場合又ハ第十二條ニ依リ賣拂、付與及貸付處分ノ取消ヲヲナシタル場合ニ於テ其ノ土地ニ存在セル建設物其ノ他ノ物件アルトキハ所有者ハ行政廳ノ定メタル期間內ニ於テ之ヲ除去スヘシ若其ノ期間內ニ除去セサルトキハ其ノ物件ハ國ノ所有ニ歸ス

第十五條　左ノ貸付地ニ限リ行政廳ノ許可ヲ得テ其ノ貸付地ノ上ニ有スル權利ヲ債務ノ擔保ニ供シ又ハ賣買讓與スルコトヲ得

一　第四條及第七條ニ依レル有償貸付地

二　行政廳ニ於テ特ニ指定シタル區域內ニ於ケル貸付地

三　命令ヲ以テ定メタル事項ニ該當スル貸付地

第十六條　第三條ニ依リ貸付シタル土地ハ貸付期間滿了後一箇年以內ニ其ノ土地ノ付與ヲ請求スヘシ一箇年ヲ超過シテ請求セサルトキハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノトス

第十七條　第三條ニ依リ貸付ヲ受ケタル者ハ其ノ土地ノ全部ヲ成功スルニ非サレハ他ノ土地ノ無償貸付ヲ受クルヲ得ス

但シ相當ノ資力アリテ成功スルヲ得ル者ト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　此ノ法律ニ依リ賣拂、付與又ハ交換シタル土地ハ其ノ民有トナリタル年ノ翌年ヨリ二十箇年ノ後ニ非サレハ地租及地方稅ヲ課セス

第十九條　第十條及第十二條ノ處分ニ不服アル者ハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

附　則

第二十條　此ノ法律ハ明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則ニ依リ貸付中ノ土地ニ對シテモ之ヲ適用ス

但シ此ノ法律施行前牧舍ノ爲ニ貸付シタル土地ニ限リ五箇年以內貸付期間延期スルコトヲ得

第二十一條　此ノ法律施行ノ爲必要ナル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　明治十九年閣令第十六號北海道土地拂下規則及其ノ他此ノ法律ニ牴觸スル成規ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二十三條　此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

○法律第一號　明治三十二年一月十一日

北海道國有未開地處分法第十八條ニ左ノ一項ヲ加フ

此ノ法律ニ依リ土地ノ付與ヲ受ケタル者ニ限リ六個月以內ニ其ノ登記ヲ請フトキ及土地臺帳ニ登錄スルトキハ其登錄稅ヲ免除ス

○勅令第九十八號

北海道國有未開地處分法第三條ニ依レル貸付地ノ面積ハ一人ニ付左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス

一　開墾ニ供スル土地　百五十萬坪

二　牧舍ニ供スル土地　二百五十萬坪

三　植樹ニ供スル土地　二百萬坪

會社又ハ組合ニ對シテハ前項地積ノ二倍迄ヲ貸付スルコトヲ得

○北海道廳令第十九號　明治三十二年三月十日

明治三十年四月北海道廳令第二十五號北海道國有未開地處分法施行規程左ノ通リ改正ス

但シ明治三十年六月北海道廳令第三十八號ヲ廢止ス

北海道國有未開地處分法施行規程

第一條　處分法第三條ニ依リ貸付スヘキ土地ハ區畫ヲ施設シ之ヲ告示スヘシ

區畫外ノ土地ト雖モ特ニ區域ヲ定メ貸付スルコトアルヘシ

宅地ニ供スル土地又ハ沿海ノ土地ハ前二項ニ拘ハラス貸付スルコトアルヘシ

第二條　處分法第三條ニ依リ土地ノ貸付ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ願書ニ起業方法書圖面及戶籍謄本ヲ添ヘ北海道廳長官ニ差出スヘシ

十萬坪以上ノ貸付願書ニハ官廳公署又ハ會社等ノ證明アル財產調書ヲ添付スヘシ

前項ノ外法人ニ在リテハ定款組合ニ在リテハ契約書ヲ添付スヘシ

但シ公共團體ハ此限ニアラス

第三條　處分法第四條第六條第七條第八條ニ依リ土地ノ賣拂、付與、質付若クハ交換ヲ受ケントスル者ハ第二號書式ノ願書ニ圖面ヲ添ヘ北海道廳長官ニ差出スヘシ

第四條　處分法第十五條ニ依リ擔保又ハ賣買讓與ノ許可ヲ受ケントスル者ハ第二號書式ノ願書ニ第二條ノ附屬書類ヲ添付シ當事者連署ノ上北海道廳長官ニ差出スヘシ

第五條　貸付中ノ土地ヲ返還セントスルトキハ第三號書式ノ願書ニ圖面ヲ添ヘ北海道廳長官ニ差出スヘシ

但シ著手以前ニ於テ全地ノ返還ヲ爲サントスルトキハ屆出ヘシ

第六條　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換出願中ノ者若クハ貸付ヲ受ケタル者ニシテ左ノ事項ノ一ニ該當スルトキハ本人又ハ相續人後見人若クハ管理人ヨリ北海道廳長官ニ届出ヘシ

一　死亡失踪相續又ハ改氏名シタルトキ

二　住所又ハ後見人若クハ管理人ニ異動ヲ生シタルトキ

前項届書ニハ住所ニ異動ヲ生シタル場合ノ外戸籍謄本ヲ添付スルヲ要ス

第七條　處分法第三條ニ依リ貸付シタル土地ノ付與ヲ受ケントスル者ハ第四號書式ノ願書ニ圖面ヲ添ヘ北海道廳長官ニ差出スヘシ

但シ區畫地ニシテ異動ヲ生セサルモノハ圖面ヲ要セス

第八條　處分法第三條第三項ニ依リ付與スヘキモノハ開墾若クハ植樹ノ目的ヲ以テ貸付シタル土地又ハ牧畜ノ目的ヲ以テ貸付シタル土地ニシテ開墾スヘキ部分ニ限ルモノトス

前項付與出願ノ場合ハ左ノ標準ニ依ルヘシ

但シ毎回出願ノ地積ハ五千坪ヲ下ルコトヲ得ス

三萬坪未滿	一回
十萬坪未滿	二回
十萬坪以上	三回

第九條　處分法第三條ニ依ル貸付地ノ貸付期間ハ左ノ標準ニ依ルヘシ

但シ處分法第九條第二項ニ依リ特別ノ期間ヲ以テ貸付スルノ必要アルモノハ此限ニアラス

五千坪未滿	三年以內
一萬五千坪未滿	五年以內
三萬坪未滿	六年以內
六萬坪未滿	八年以內
十萬坪未滿	九年以內
十萬坪以上	十年以內

第十條　開墾ヲ目的トスル貸付地ニ在リテハ風防風致又ハ薪炭用材林地トシテ其地積十分ノ一以內ヲ存置スルコトヲ得

第十一條　處分法第五條ニ依リ競爭賣拂ヲ爲サントスルトキハ少クトモ十五日以前三日以上公示スヘシ

第十二條　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換ノ處分其他土地調査ニ關シ實地ニ當事者ノ立會ヲ要スル爲メ當該官吏ヨリ通知ヲ爲シタルトキハ當事者ハ之ニ立會スヘシ

前項ノ場合ニ於テ立會ヲ爲ササル爲メ生スル損害ハ官廳ニ對シ請求スルコトヲ得

第十三條　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換ヲ受ケントスル者ニシテ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ立會前ニ其土地ノ境界ニ假標杭ヲ建設スヘシ

但シ第一條ニ依ル區畫地ハ此限ニアラス

處分法第十條ニ依リ成功程度點檢ノ際ハ其成功區域ニ標杭ヲ建設スヘシ

前二項ノ標杭ハ其土地ノ賣拂、付與、貸付、交換ノ處分ヲ了ル迄之ヲ存置スヘシ

第十四條　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換其他ノ處分ニ關シ隣接地ノ境界調査ヲ必要トシ當該官吏ヨリ其所有者又ハ關係人ニ實地立會ノ通知ヲ爲シタルトキハ所有者若クハ關係人ハ之ニ立會スヘシ

第十五條　法律上ノ無能力者ハ第十二條第十四條ノ立會ヲ爲スコトヲ得

第十六條　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換ノ許可ヲ受タル者ハ指令書受領ノ日ヨリ三十日以內ニ第五號樣式ニ依リ土地ノ境界ニ標杭ヲ建設スヘシ

天災其他避クヘカラサル事故ニ因リ前項ノ標杭ヲ建設スルコトヲ得サルトキハ期間ヲ定メ願出許可ヲ

受クヘシ

本條ノ標杭ハ左ノ期間内之ヲ存置シ亡失毀損ノ場合ハ更ニ建設スヘシ

一　貸付地ハ貸付期間内

二　賣拂、付與、交換ハ十箇年

第十七條　處分法第十條第一項ニ依リ貸付地ヲ返還セシムル場合ニ於テ主タル事業ヲ成功セシテ從タル通路堤塘溝渠建造物等ノミヲ營造シ又ハ成功程度點檢後ニ於テ成功シタル土地ハ未成功トシテ之ヲ處分ス

處分法第三條ニ依リ貸付シタル土地ニシテ成功程度ノ點檢ヲ爲シタルモノト雖モ其土地付與ノ際荒廢ニ屬シタリト認ムルトキハ未成功トシテ之ヲ處分ス

處分法第十條ニ依リ貸付地ノ一部ヲ返還セシメタルトキハ殘有地ノ貸付期間ハ其返還ヲ命シタル日ヲ以テ滿了シタルモノトス

第十八條　處分法ニ依ル土地ノ貸付其他ノ期間ハ左ノ起算方ニ依ルヘシ

一　處分法第三條ニ依ル土地ノ貸付期間ハ許可ノ翌年ヨリ起算ス

二　處分法第四條第七條ニ依ル土地ノ貸付期間ハ許可ノ翌月ヨリ起算ス

三　處分法第十二條ノ期間ハ處分ヲ爲シタル翌日ヨリ起算ス

第十九條　左ノ事項ノ一ニ該當スルモノハ其出願ヲ無効トス

一　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換處分ノ場合ニ於テ第十二條第一項第十三條第一項ニ違背シタルトキ

二　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換ノ場合ニ於テ本人若クハ代理人ノ居所不明ニシテ六十日ヲ過クルモ尚ホ其指令書ヲ下付スルヲ得サルトキ

三　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換出願者ニシテ調査ノ爲メ當該官廳若クハ官吏ノ召喚ニ對シ期日内ニ出頭セサルトキ又ハ居所不明ナルトキ

四　願書ノ訂正ヲ命シタル後六十日ヲ過クルモ訂正願書ヲ差出ササルトキ

第二十條　第二條又ハ第四條ノ貸付賣買讓與ノ願書ニ既ニ貸付ヲ受ケタル土地ヲ記載セスシテ許可ヲ得タルモノアルトキハ其處分ヲ取消スコトアルヘシ

第二十一條　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換出願ノ者若クハ土地ノ貸付ヲ受ケタル者ニシテ地元戶長役場部内（戶長役場ノ設ケナキ地ハ支廳直轄部内）ニ居住セサルトキハ其部内ノ居住者ヲ代理人ニ定メ双方連署ノ上所轄支廳ニ届出スヘシ

第二十二條　處分法第十條第十一條第十二條第十三條ニ依リ土地ノ返還ヲ命シ若クハ處分ノ取消ヲ爲シ又ハ伐木代償ノ辨償ヲ命シタルトキ本人若クハ代理人ノ居所不明ニシテ六十日ヲ過クルモ尚ホ命令書ヲ下付スルヲ得サルトキハ其返還、取消又ハ辨償ヲ命シ了リタルモノトス

第二十三條　處分法第三條ニ依ル貸付地ノ貸付期間ハ其目的及方法ヲ變更スル場合ト雖モ伸長スルコトヲ得ス

但シ第九條ノ貸付期間標準ニ達セサル者ニ限リ特ニ其標準迄伸長ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十四條　處分法第十一條ノ評定價格及同法第十三條ノ伐木代價ハ北海道廳長官又ハ北海道廳支廳長ノ撰定シタル評價委員ノ評定ニ依ルヘシ

同法第十一條ノ直接費用ヲ辨償スルニ際シ本人ノ申立ヲ不當ト認ムルトキハ前項評價委員ノ評價ニ依ルヘシ

第二十五條　處分法第十五條第三項ニ依リ擔保又ハ賣買讓與スルコトヲ得ル場合ハ同法第三條ニ依リ貸付シタル土地ニシテ左ノ事項ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一　相續又ハ分家シタルトキ
二　天災其他避クヘカラサル原因ニ基ク故障アルトキ
三　轉居轉業又ハ疾病ニ因リ當初ノ目的ヲ遂シ難キトキ
四　小作人ニ其小作セル貸付地ノ權利ヲ移轉セントスルトキ
五　貸付期間內全地成功シタルト

第二十六條　本則ニ依ル願屆書ハ出願地所轄ノ支廳ヲ經由差出スヘシ
但シ特別ノ規定アルモノハ此限ニアラス

第二十七條　左ニ揭クル事項ノ一ニ該當スル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
一　第十三條第二項第十六條ニ違背シタルモノ
二　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換ヲ受ケタル者ニシテ第十二條第一項ニ違背シタルモノ
三　正當ノ事故ナクシテ第十四條ニ違背シタルモノ
四　第十三條第十六條ノ標杭ヲ移轉シ又ハ撤去毀損シタル者若クハ境界ヲ變更シテ其標杭ヲ建設シタルモノ

第一號書式一

未開地貸付願

何國何郡何町村字何々番地（又ハ何原野何線何番地）
一未開地　何坪　何目的
外
貸代地何坪內成功地何坪未成功地何坪
但シ何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ以テ貸付ヲ受ケ何年何月迄成功ノ豫定
貸付出願地　何坪
但シ何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ以テ貸付出願中
土地貸付ノ許可ヲ受ケタルモノ又ハ土地貸付出願中ノモノナシ
右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成度處分法施行規程ヲ遵守シ別紙起業方法書圖面及戶籍謄本又ハ何々相添ヘ此段奉願候也

年　月　日

何府縣北海道何國何郡何町村何番地
當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地
何　某　印
（代理ヲ以テ出願スルモノハ委任狀若クハ北縣木ヲ添ヘ後見人ヲ以テスルモノハ戶籍吏ノ證明書ヲ添付スヘシ以下之ニ同シ）

北海道廳長官宛

第一號書式二

起業方法書

（耕地ノ例）

一　何國何郡何町村字何々番地（何原野何線何番地）
二　未開地何坪內　道路敷地何坪 排水敷地何坪　別紙圖面ノ箇所
三　樹木ノ種類員數　何樹目通何尺回何木樹木ノ周圍三寸以下ナルトキハ種別ヲ要セス草原地ニシテ樹木ナシ
四　目的地目　田畑又ハ何々
五　方法ノ要領　普通農具又ハ何々法ヲ用ヒ小作人何戶又ハ雇人何名ヲ以テ開墾シ新墾ハ何々ノ方法ヲ以テシ耕墾ハ何々ノ方法ヲ以テス小作人ハ一戶何坪ヲ配當シ何年何月迄全部ヲ移了ス云々等其要領ヲ明記スヘシ
六　小作人トノ契約　小作人ト契約ノ要領ヲ記入スヘシ但シ別ニ契約書寫等ヲ添付スルモ妨ケナシ

一　相續又ハ分家シタルトキ
二　天災其他避クヘカラサル原因ニ基ク故障アルトキ
三　轉居轉業又ハ疾病ニ因リ當初ノ目的ヲ達シ難キトキ
四　小作人ニ其小作セル貸付地ノ權利ヲ移轉セントスルトキ
五　貸付期間内全地成功シタルト

第二十六條　本則ニ依ル願届書ハ出願地所轄ノ支廳ヲ經由差出スヘシ
但シ特別ノ規定アルモノハ此限ニアラス

第二十七條　左ニ揭ル事項ノ一ニ該當スル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

一　第十三條第二項第十六條ニ違背シタルモノ
二　土地ノ賣拂、付與、貸付、交換ヲ受ケタル者ニシテ第十二條第一項ニ違背シタルモノ
三　正當ノ事故ナクシテ第十四條ニ違背シタルモノ
四　第十三條第十六條ノ標杭ヲ移轉シ又ハ撤去毀損シタル者若シハ境界ヲ變更シテ其標杭ヲ建設シタルモノ

第一號書式一

未開地貸付願

何國何郡何町村字何々番地（又ハ何原野何線何番地）
一未開地　何坪　何目的
外
貸代地何坪内（成功地何坪 未成功地何坪）

但シ何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ以テ貸付ヲ受ケ何年何月迄成功ノ豫定
貸付出願地　何坪
但シ何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ以テ貸付出願中
土地貸付ノ許可ヲ受ケタルモノ又ハ土地貸付出願中ノモノナシ
右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成度處分法施行規程ヲ遵守シ別紙起業方法書圖面及戸籍謄本又ハ何々相添ヘ此段奉願候也

年　月　日　　何府縣北海道何國何郡何町村何番地　某　印
　　當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地
　　（代理ヲ以テ出願スルモノハ委任狀若クハ非緊ヲ添ヘ後見人ナル以テスルモノハ戸籍更ノ證明書ヲ添付スヘシ以下之ニ同シ）

北海道廳長官宛

第一號書式二

起業方法書

（耕地ノ例）

一　何國何郡何町村字何々番地（何原野何線何番地）
二　未開地何坪内　別紙圖面ノ箇所（道路敷地何坪 排水敷地何坪）
三　樹木ノ種類員數（何箇目通何尺圍何木樹木ノ周圍三寸以下ナルトキハ種別ヲ要セス草原地ニシテ樹木ナシ）
四　目的地目　田畑又ハ何々
五　方法ノ要領　普通農具又ハ何々法ヲ用ヒ小作人何戸又ハ雇人何名ヲ以テ開墾シ新舊ハ何々ノ方法ヲ以テシ耕鑿ハ何々ノ方法ヲ以テス小作人ハ一戸何坪ヲ配當シ何年何月迄全部ヲ修了ス云々等其要領ヲ明記スヘシ
六　小作人トノ契約　小作人トノ契約ノ要領ヲ記入スヘシ但シ別ニ契約書寫ヲ添付スルモ妨ケナシ

七　事業配當程度

初年何坪田又ハ畑ニ開墾此費用何程（三百坪ニ對シ何程ノ割）

但シ家族何人雇人何名若クハ小作人何戸ヲ以テ開墾

建物何々　何棟何坪　此費用何程

右構造方法何々充用目的何々

道路（幅何間長何間）　何坪　此費用何程

右開鑿方法何々充用目的何々

灌漑水又ハ排水溝（幅何間長何間）　何坪　此費用何程

右同上（水ノ引用及排出ハ非設附ヲ明記シ且ツ圖面ニ示スヘシ）

起業費小計何程

二年以下前年ノ例ニ依ル

起業費合計何程

八　存置地　何坪

但シ何々目的樹木ノ種類員數何々

注　意

一　小作ハ一戸ニ付實際ノ開墾地（道路排水等ヲ除ク）一萬五千坪以内ノ割トナシ其地積ヲ五箇年以内ニ起業配當スルモノトス

二　貸付地ノ成功程度ハ一年ヲ以テ一期トシ之ヲ配當スルモノトス

三　小作ハ成功年數ノ六分ヲ經過スル以前ニ其總數ヲ入レ了ルモノトス

四　十萬坪未滿ハ貸付期間ノ前半期ニ於テ該地積ノ五分以上ヲ成功スルモノトス

自作農法ヲ以テスルモノハ十萬坪以上ノ分ト同シ

五　十萬坪以上ハ貸付期間ノ前半期ニ於テ該地積ノ四分以上ヲ成功スルモノトス

六　貸付期間奇數ナルトキハ其年數ヨリ一箇年ヲ減シ其殘ヲ二除シテ得タル數ニ更ニ一年ヲ加ヘタルモノヲ前半期トスルコトヲ得

七　泥炭地其他ノ土地ニシテ特殊ノ起業ヲ要スルモノハ前各項ニ據ラサルコトヲ得

八　特殊ノ事業ニ係ルモノハ明細ナル起業設計書ヲ添付スルモノトス

九　第四第五第六第七第八ハ他ノ起業ニモ準用スルモノトス

十　各書式ニ適例ナキ方法書ハ各書式ノ體ニ倣ヒ要領ヲ掲クルモノトス

第一號書式三（第一號書式ノ二ニ倣フヘシ）

（宅地ノ例）

一、二、三、四　建物使用ノ目的

五　事業配當程度

六

初年　何坪成功　此費用何程

但シ何々

建物何々　何棟何坪　此費用何程

右構造方法何々

起業費小計何程

二年以下前年ノ例ニ依ル

起業費合計何程

第一號書式四　（牧場ノ例）

一、二、三、四　第一號書式ノ二ニ倣フヘシ

五　方法ノ要領　乳牛、屠牛、種牛馬、農用牛馬、乘用馬等蕃殖ノ目的ヲ以テ放牝畜飼ヲナシ飼料ハ如何ナル方法ニヨリ供給スルカ又種畜ノ種類及其購入ノ地方等ヲ明記スヘシ

六　事業配當程度

初年　何坪成功　此費用何程

但シ建物敷地又ハ牧草畑地等成功地ノ類別ヲ掲クヘシ

牧柵又ハ土壘　延長何間　此費用何程

右仕様

建物何々　何棟何坪　此費用何程

右仕様

飼畜　三才以下　牝何頭牡何頭　四才以上　牝何頭牡何頭　此飼養料金何程

內

購入　三才以下　牝何頭牡何頭　四才以上　牝何頭牡何頭　此購入代金何程

販賣　三才以下　牝何頭牡何頭　四才以上　牝何頭牡何頭　此販賣代金何程

生産　牝何頭牡何頭

牧夫其他使用人夫延人員何人　此費用何程

右常雇又ハ臨時雇ノ區別及賃銀

起業費小計何程

二年以下前年ノ例ニ依ル

起業費合計何程

注意

一　放牧場耕地建物敷地道路排水敷地及牧柵土壘等ノ位置ハ圖面ニ明記スルモノトス

二　放牧地ハ土壘牧柵又ハ排水溝等總テ施設ヲ了スヘキ最終年度ニ其坪數ヲ記入スルモノトス

第一號書式五　（植樹ノ例）

一、二、三、四　第一號書式ノ二ニ倣フヘシ

五　方法ノ要領　全地悉皆何々方法ヲ以テ刈拂ヒ何々方法ヲ以テ植栽ス其苗木ハ何々ノモノヲ用ヒ植付地刈拂ヒ手入補植ハ何々方法ヲ以テ何年間繼續シ新植樹ハ何年目ニ止ム

六　事業配當程度

初年　何坪

苗圃何坪　此費用何程

新植地　何坪　此費用何程　刈拂費何程　植付費何程

植樹種類何々何本

右混植純植ヲ明記シ純植法ヲ以テ數種ノ植付ヲナストキハ其坪及本數數ヲ揭記シ且ツ圖面ニ其區域ヲ示スヘシ

起業費小計何程

二年　何坪

苗圃　何坪　此費用何程
新植地　何坪　此費用何程　刈拂費何程　植付費何程
植樹種類何々何本
補植地　何坪　此費用何程　補植費何程　手入刈拂費何程
右補植種類何々何本
起業費小計何程
三年以下前年ノ例ニ依ル
起業費合計何程

注意

一　針葉樹ハ混植スルヲ得ス且ツ針葉樹ハ一坪ニ付三本以上濶葉樹ハ一坪一本以上ノ割ヲ以テ植樹スヘシ補植ハ前年植樹數ノ二割ヲ見込ミ貸付期限終了前少クモ二年以前ニ新植ヲ了スルモノトス

二　三寸以下樹木地又ハ柴地ナルトキハ第三ニ其樹木ノ重モナル種類及他日天然ニ成林スルノ見込アルヤ否ヤヲ明記スルモノト

第一號書式六

（海産干場ノ例）

一、二、三、四　第一號書式ノ二ニ倣フヘシ　何年何月何日指令第何號ヲ以テ何業許可セラレタルモ朱ヲ以テ何年何月何日何々海産干場ヲ所有セス又ハ何年何月何日何々漁業出願中ニ

五　漁業許可ノ有無

六　方法ノ要領　何網何放何船何隻其他何々ヲ以テ漁業ニ從非シ干場ハ何々方法ヲ以テ成功云々

七　事業配當程度

初年　何坪成功　此費用何程

一六

但シ何々ヲ以テ全地成功

建物何々　何棟何坪　此費用何程

右構造方法何々ヲ充用ノ目的何々

何網何船　網何放　船何隻　此費用何程

起業費小計何程

二年以下前年ノ例ニ依ル

起業費合計何程

右ノ通リ相違無之候也

年　月　日

右願人　何　某　印

第一號書式七　（別紙圖面）

第二號書式一

未開地貸付權利擔保（賣買）（讓與）願

何國何町村字何々番地（又ハ何原野何線何番地）

一　未開地　何坪

何目的

但シ明治何年何月何日指令何號ヲ以テ貸付許可ノ分

外ニ

貸付地　何坪內　成功地何坪　未成功地何坪

但シ何年何月何日何國何郡何町村何番地ニ於テ何目的ヲ以テ貸付ヲ受ケ何年何月迄成功ノ豫定

貸付出願地　何坪

一七

但シ何年何月何日何國何郡村何番地ニ於テ何日的ヲ以テ貸付出願中
土地貸付ノ許可ヲ受ケタルモノ又ハ土地貸付出願中ノモノナシ
右北海道國有未開地處分法第十五條ニ依リ何々（事由ヲ詳記スヘシ）ノ爲メ擔保（賣買）（讓與）致度ニ付許可相成度處分法施行規程ヲ遵守シ財産調書及戸籍謄本（又ハ何々）相添ヘ此段奉願候也
（賣買讓與ノ場合ハ「致度ニ付」ノ下ニ「テハ賣渡人（讓渡人）ノ起業方法書通リ成功可致ニ付」ノ二十二字ヲ加フヘシ）

年　月　日　　何府縣北海道何國何郡何町村何番地
　　債務者（又ハ何々）　何　某　印
　　何府縣北海道郡何町村何地當
　　當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留
　　債權者（又ハ何々）　何　某　印

北海道廳長官宛

注　意

一　外書ニハ買受人讓受人ノ貸付地等ヲ記載スルモノトス
二　財産調書及戸籍謄本ハ買受人讓受人ノ分ヲ添付スルモノトス

第二號書式二

未開地賣拂（付與）（貸付）願

一　何國何郡何町村字何々番地（又ハ何原野何線何番地）
二　未開地段別　（貸付地ナルトキハ坪數ヲ記スヘシ）

三　樹木種類員數
四　目的方法
五　貸付期間
六　見込價格

右北海道國有未開地處分第何條ニ依リ相當代金（又ハ無償）ヲ以テ賣拂（付與）（貸付）相成度處分法施行規程ヲ遵守シ圖面相添ヘ此段奉願候也
（理由ノ記載ヲ要スルモノハ之ヲ詳ニスヘシ）

何村縣北海道何國何郡何町村何番地
當時何縣北海道何國何郡何町村何番地寄留
何　某　印

年　月　日

北海道廳長官宛

注　意

一　圖面ハ貸付ナルトキハ第一號　式ノ七ニ倣ヒ賣拂付與ナルトキハ第四號書式ノ三ニ倣フモノトス
二　有料貸付ノ場合ハ法人ノ出願ヲ除クノ外保證人ヲ要スルモノトス

第二號書式三

未開地交換願

何國何郡何町村字何々番地（又ハ何原野何線何番地）
一　未開地　何町何段何畝何歩
何國何町村字何々番地（又ハ何原野何線何番地）
一　民有地　田又ハ何々　何町何段何畝何歩

右北海道國有未開地處分法第何條ニ依リ何々ノ必要ニ依リ交換致度候間處分法施行規程ヲ遵守シ別紙雨地ノ圖面及價格調書相添ヘ此度奉願候也

年　月　日

北海道廳長官宛

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地
何　某　印

注意

一　圖面ハ第四號書式ノ三ニ倣フモノトス

二　市街宅地ニアリテハ坪數ヲ掲ケ勾位ニ止ムルモノトス

第三號書式　貸付地返還願（屆）

何郡何町村字何々番地（又ハ何原野何線何番地）

一　貸付地　何坪　何々目的

但シ明治何年何月何日指令第何號ヲ以テ許可ノ分

二　伐採樹木ノ種類員數

右ノ土地北海道國有未開地處分法第何條ニ依リ貸付相成候處今般何々（事由）有之返還致度就テハ伐採樹木代價辨償可致候間御開屆相成度圖面相添ヘ此段奉願候也（屆書ニハ「就テハ」以下ヲ「尤モ本地ハ未ダ何等ノ着手不致候此段及御屆候也」トスヘシ）

年　月　日

何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留
何　某　印

北海道廳長官宛

法　意

圖面ハ第一號書式ノ七ニ倣フヘシ

第四號書式一　未開地付與願

何國何郡何町村何々番地（又ハ何原野何線何番地）

一貸付地　何　坪

此田、畑、牧場、反別何段何畝何歩

但シ明治何年何月何日指令第何號許可ノ分

右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成候處今般起業方法ノ通リ成功致候ニ付御檢査ノ上付與相成度此段奉願候也

年　月　日

何府縣北海道何國何郡何町村何番地
何　某　印

北海道廳長官宛

第四號書式二　貸付地部分付與願

何國何郡何町村字何々番地（又ハ何々原野何線何番地）

貸付許可地　何坪　明治何月何日指令第何號許可ノ分

一付與出願地　何坪

此田、畑、牧場、段別何段何畝何歩

一殘地　何坪

外

明治何年何月何日指令第何號ヲ何程付與許可ノ分

右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成候處今般成功ニ付御檢査ノ上付與相成度圖面相添ヘ此段奉願候也

何府縣北海道何國何郡何町村町何番地

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留

何　某　印

年　月　日

北海道廳長官宛

第四號雛式三

（別紙圖面）

第五號樣式

標杭

地上五尺以上根入二尺以上

表

是從　東(西)何間何尺

是從　南(北)何間何尺

明治何年何月何日貸付許可

何國何郡何町村字何々番地住所氏名

裏

注意

基點ニ標杭ヲ建設スルトキハ左ノ一項ヲ附スルモノトス

何々ヲ基點トス

○北海道廳令第七十一號抄錄　明治三十年十一月二十八日

左ニ揭クル事項ハ支廳長ニ委任ス

三十一　北海道國有未開地處分法ニ依リ未開地三十萬坪以內處分ノ事

但シ豫定存置ハ此限ニアラス

三十二　北海道國有未開地處分法施行規程第十五條第二項ニ依ル貸拂付與貸付交換地ノ標木建設ニ關スル願許可ノ事

四十四　公用ニ供シタル國有ノ土地水面ヲ五箇年以內ノ期限ヲ以テ使用許可ノ事

但シ官設鐵道用地及豫定地ハ此限ニアラス

四十五　公用ニ供セサル國有土地水面ヲ市街ニ在テハ百五十坪以下村落ニ在テハ五町歩以下ノ個所ヲ明治二十三年七月勅令第百三十五號官有地特別處分規則ニ依リ賣拂貸付ノ事

貸付許可地　何坪　明治何月何日指令第何號許可ノ分

一付與出願地　何坪

此田、畑、牧場、段別何段何畝何歩

一殘地　何坪

外

明治何年何月何日指令第何號ヲ何程付與許可ノ分

右北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ貸付相成候處今般成功ニ付御檢査ノ上付與相成度圖面相添ヘ此段奉願候也

何府縣北海道何國何郡何町村町何番地

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留

年　月　日　何　某　印

北海道廳長官宛

第四號書式三

（別紙圖面）

第五號樣式

標杭　地上五尺以上根入二尺以上

表

是從　東（西）何間何尺

是從　南（北）何間何尺

明治何年何月何日貸付許可

何國何郡何町村字何々番地住所氏名

裏

注意

基點ニ標杭ヲ建設スルトキハ左ノ一項ヲ附スルモノトス

何々ヲ基點トス

○北海道廳令第七十一號抄錄　明治三十年十一月二十八日

左ニ揭クル事項ハ支廳長ニ委任ス

三十一　北海道國有未開地處分法ニ依リ未開地三十萬坪以內處分ノ事

但シ豫定存置ハ此限ニアラス

三十二　北海道國有未開地處分法施行規程第十五條第二項ニ依ル賣拂付與貸付交換地ノ標木建設ニ關スル願許可ノ事

四十四　公用ニ供シタル國有ノ土地水面ヲ五箇年以內ノ期限ヲ以テ使用許可ノ事

但シ官設鐵道用地及豫定地ハ此限ニアラス

四十五　公用ニ供セサル國有土地水面ヲ市街ニ在テハ百五十坪以下村落ニ在テハ五町歩以下ノ個所ヲ明治二十三年七月勅令第百三十五號官有地特別處分規則ニ依リ賣拂貸付ノ事

四十六　國有土地（官有林ヲ除ク並鐵道豫定地）水面ニ屬スル土石砂利水陸生産物賣拂ノ事　明治三十二年

○北海道廳令第九號　二月九日

明治三十年十一月　北海道廳令第七十一號支廳長委任事項三十一中「三十萬坪」トアルヲ「十萬坪」ト改正ス

○北海道廳令第八號　明治三十二年二月九日

明治三十年四月　北海道廳令第二十四號ニ依ル貸付地ノ豫定存置願ハ直接當廳ヘ差出スヘシ

但シ明治三十年十二月　北海道廳令第八十號ヲ廢止ス

○北海道廳訓令第十九號　明治二十九年四月十日

土地開墾ノ目的ヲ以テ官林解除ヲ出願スル者往々有之候處官林區域内開墾地ト爲スヘキ部分ハ素ヨリ人民ノ出願ヲ待タス當廳ニ於テ夫々調査ノ上解除ノ筈ニテ整理ノ都合モ有之候條自今官林解除ニ關スル出願ハ其名稱ノ如何ニ拘ハラス北海道土地拂下規則ニ依リ受理スヘカラサル儀ト心得ヘシ

○北海道廳令第六十六號　明治三十年十一月十二日

北海道國有未開地競賣規程左ノ通リ定ム

北海道國有未開地競賣規程

第一條　北海道國有未開地處分法第五條未開地ノ競賣ハ本規程ノ定ムル處ニ依ル

第二條　競賣ハ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フヘシ

第三條　入札人ハ第一號書式ニ依リ入札書ヲ差出スヘシ

第四條　入札人ハ競賣保證金トシテ指定額以上ノ現金又ハ有價證券ヲ入札指定ノ出納官吏ニ差出スヘシ

第五條　開札ハ係官吏二名以上立會入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ

第六條　左ニ掲クル入札ハ無効トス

一　書式ニ違背シテ其要領ヲ得サルモノ

二　地積ニ誤謬アルモノ又ハ文字不明瞭ナルモノ

三　競賣保證金ヲ差出サヽルモノ又ハ差出シタルモ指定ノ金額ニ達セサルモノ

四　入札人又ハ其代理人開札ノ場所ニ立會セサルモノ

五　代理人其委任狀ヲ係官吏ヘ差出サヽルモノ

第七條　競賣地ハ最高價ニシテ豫定價格以上ノ入札者ニ賣拂フモノトス

第八條　入札中一モ豫定價格ノ制限ニ達セサルトキハ直チニ入札人ヲシテ再入札ヲナサシムヘシ

但シ再入札望人ナキカ又ハ豫定價格ニ達セサルトキハ之ヲ取消スヘシ

第九條　第七條ニ該當スルモノ二人以上アルトキハ其入札人ヲシテ抽籤ヲ以テ其賣拂ヲ受クヘキ者ヲ定ム

但シ再入札ニシテ尚ホ同價ノ入札アルトキハ直チニ抽籤ニ第二號書式ノ賣拂通書ヲ下付スルモノトス

第十條　賣拂ヲ受クヘキ者ニ對シテハ開札後三日以内ニ第二號書式ノ賣拂通書ヲ下付スルモノトス

第十一條　左ノ場合ニ於テ別ニ通達ヲナサス賣拂ノ處分ヲ取消スモノトス

一　本人又ハ代理人ノ所在不詳ニシテ前條ノ日限内ニ賣拂通書ヲ受ケサル時

二　地代金ヲ指定ノ日限内ニ納付セサルトキ

第十二條　競賣保證金ハ事故ナキモノヽ外ハ開札後直チニ還付スルモノトス

但シ賣拂ヲ受クヘキ者ノ保證金ハ地代金完納後ニアラサレハ還付セス

第十三條　競賣保證金ハ左ノ場合ニ於テ官ノ所得トス

一　第九條ノ再入札ヲ爲サヽルトキ

二　第七條ニ該當スルモノニシテ拂下ヲ希望セサルトキ

三　第十一條ニ依リ賣拂ノ處分ヲ取消シタルトキ

第十四條　實地ノ引渡ハ地代金ノ完納ヲ以テ結了スルモノトス

第十五條　本規程ノ外競賣ニ必要ナル事項ハ其時々告示スルモノトス

第一號書式（用紙半紙）、

入札書

何國何郡何町村（何原野）字何地號

一未開地　何坪（又ハ反別）

此地代金何程

右告示第何號ニ依リ未開地競賣規程及入札人心得書ヲ遵守シ入札仕候也

年　月　日

住所

氏名　印

（代理人ハ其旨ヲ記スヘシ）

長官　宛

入札ハ封書トシテ其表面ニ何村（何原野）字何番號入札何某ト記スヘシ

第二號書式

何國何郡何町村　何番地

又ハ

何府縣何郡何町村　何番地

何　某

明治何年何月何日ノ競賣ニ依リ何國何郡何町村（何原野）字何番號（何地目）何反歩拂下候條地代金何程納付スヘシ

○勅令第三十五號　明治二十三年七月二十一日

官有地特別處分規則

第一條　內務大臣ハ左ノ場合ニ限リ官有地ヲ競爭ニ付セス隨意ノ契約ヲ以テ貸渡又ハ賣渡スコトヲ得

一　直接公用ニ供スル爲メ又ハ公共ノ利益トナル事業ノ爲メ府縣郡市町村及公共組合又ハ其他ノ起業者ニ官有地ヲ貸渡シ又ハ賣渡ストキ

二　不用ニ屬スル官有地一箇所　坪數百五十坪ニ滿タス其定價格二百圓以內ノモノヲ賣渡又ハ其貸渡料一箇年五圓以內ニシテ貸渡期限五箇年以內ノモノヲ貸渡ストキ但望人二名以上アルトキハ此限ニアラス

三　鑛山ニ於ケル鑛物運搬道路、冷温泉場ニ於ケル汲泉場又ハ導泉敷地ノ如キ官許ヲ與ヘタル主タル事業ニ直接附隨シ必要缺クヘカラスト認メタル官有地ヲ其事業者ニ貸渡又ハ賣渡ストキ

四　會計法施行以前土地ノ形質ヲ變更シ又ハ建物ヲ建設スルカ爲貸渡シタル官有地ヲ其借地人ニ賣渡シ又ハ引續キ貸渡ストキ

第二條　直接公用ニ供スル官有地ヲ特ニ府縣郡市町村又ハ公共組合ノ直接公用ニ供スルトキハ借地料ヲ徵收セサルモノトス

第三條　府縣郡市町村又ハ公共組合ニシテ直接公用ニ供スル官有地ノ修理保存費ヲ負擔スルモノハ其直接公用ヲ廢スルトキ官有地財產管理上必要ノモノヲ除ク外之ヲ其費用負擔者ニ無代下付ス府縣郡市町村又ハ公共組合ニ於テ其土地ヲ賣拂ハントスルトキハ隣接地主ハ先買ノ權ヲ有スルモノトス

第四條　北海道官有未開ノ土地並森林原野ニハ本令ヲ適用セス

○勅令第二百七十六號　明治二十三年十一月廿四日

官有地取締規則

第一條　官有地ノ賣買讓與交換及貸付ハ內務大臣之ヲ處理ス

第二條　官有地ニ關スル願書ノ指令契約ノ締結登記ノ請求收入ノ徵收及收納竝訴訟ハ內務大臣地方長官ヲシテ之ヲ取扱ハシムヘシ

第三條　各廳ニ於テ官有地ヲ使用セントスルトキハ內務大臣ニ請求スヘシ

第四條　各廳ノ使用地不用ニ歸シタルトキハ內務大臣其手續ヲ爲スヘシ

第五條　甲乙兩廳ノ間ニ於テ官有地ノ使用ヲ移サントスルトキハ內務大臣受納ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條　各廳ノ所用ニ供スル爲メ民有地ヲ寄附セントスルトキハ無料ニテ之ヲ貸付スヘシ但開墾成功ノ後事業者ニ於テ該地ヲ拂下ケントスルトキハ豫メ契約ニ依テ其代價ヲ定メ置クヘシ

第七條　官有地ヲ開墾セントヲ請フモノアルトキハ無料ニテ之ヲ貸付スヘシ但開墾成功ノ後事業者ニ於テ該地ヲ拂下ケントスルトキハ豫メ契約ニ依テ其代價ヲ定メ置クヘシ

第八條　官有地ト民有地ノ交換ハ兩地ノ坪數及價格稍相均シキモノニアラサレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條　借地人ハ特ニ許可ヲ受クルニアラサレハ其地ヲ當初借用ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得ス

借地人前項ノ規程ニ違反スルトキハ地方長官ハ其使用ヨリ生シタル損害ヲ賠償セシメ返地ヲ命スルコトヲ得

第十條　借地人官ノ許可ヲ得テ土地ノ原形ヲ變シタルトキハ借地滿期ニ至リ自費ヲ以テ之ヲ原形ニ復シ返納スヘシ

但特ニ許可ヲ受タルモノハ此限ニアルス

第十一條　官ニ屬スル公有地及公有水面ヲ其公有ヲ廢シタルニアラサレハ讓與交換又ハ貸付スルコトヲ得ス但公衆ノ妨害トナラサル限リハ公用ニ供シタル儘有料又ハ無料ニテ特ニ其使用ヲ許スコトヲ得

第十二條　官ニ屬スル公有水面ヲ埋立民有地ト爲サンコトヲ請フモノアルトキハ公衆ノ妨害トナラサル部分ニ限リ之ヲ許スコトヲ得

第十三條　官ニ屬スル私有水面ノ賣拂讓與交換貸付及使用ハ本令ニ定ムル土地ノ規定ニ準據スヘシ

第十四條　隨意ノ契約ニ依リ官ニ屬スル土地又ハ水面ノ賣拂讓與交換又ハ有料貸付有料使用ヲ爲サントスルトキハ地方長官其評價ヲ爲サシムヘシ

既ニ貸付シ又ハ使用セシメタル土地又ハ水面ヲ引續キ貸付シ又ハ使用セシムル場合ニ於テモ亦前項ヲ準用ス

第十五條　官有地ニ關スル事項ニシテ本令ニ規定セサルモノハ官有財產管理規則ニ依ル

第十六條　本令ハ勅令ヲ以テ特ニ規定シタルモノ及官有森林原野ニ適用セス

第十七條　官有地臺帳ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條　此規則ハ明治二十四年四月一日ヨリ施行ス

○北海道廳訓令第九號　明治三十一年二月二十五日

堤防敗地處分規程左ノ通リ定ム

堤防敗地處分規程

第一條　堤防敗地ハ河川、湖沼池、溜池、用水路、排水路及鑛泉地ニ沿ヒタル土地ニシテ堤塘築造ノ爲メ除地シタル官有地及明治三十年七月當廳訓第百六十五號土地調查心得第六條第七條ニ依リ同シク除地スヘキ官有地トス

第二條　堤防敗地ノ使用ハ左ノ種目ニ據ラシムルモノトス

但シ特別ノ規程アルモノハ此限ニアラス

第一項　畑地

但シ河川等ニ土砂流出ノ虞ナキモノニ限ル

第二項　宅地

但シ一時居住スル爲メ建造ヲ假設スルモノニ限ル

第三項　物揚場

第四項　物乾場

第五項　物置場

第六項　渡船場

第七項　水車場

第八項　繋船場

第九項　前各項ノ外水利ノ便ニ依ラサルヲ得サル事業

第三條　堤防敷地ヲ畑地又ハ宅地ニ使用ヲ出願セントスルモノハ接續地主若クハ接續地使用人ニ限ルモノトス若シ他人ニ於テ出願セントスルトキハ接續地主又ハ使用人ニ於テ故障ナキ旨ノ承諾書ヲ添付スルヲ要ス

第四條　堤防敷地ノ使用地積ハ其事業ノ目的ニ依リ必要ト認メタルモノニ限ル但シ以テ其目的ニ應シ不相當ト認メタルトキハ相當地積ニ訂正セシムルモノトス

第五條　堤防敷地ニ樹木ヲ植付ケ之ヲ寄附シ又ハ芝草ヲ刈取其他雜產物ノ賣渡若クハ道路水路及排水浪除柵等私費築造又ハ設置ヲ願出スルモノアルトキハ水利治水竝公益上障碍ノ虞ナキ場合ニ限リ之ヲ許可スルコトヲ得

但シ本條ノ目的ヲ以テ堤防敷地ノ使用ヲ出願シタルトキハ此限ニアラス

第六條　堤防敷地ニシテ樹木密生ノ箇所ハ使用ヲ許サスト雖モ樹木ヲ伐採スルトキハ水利治水竝公益上

利益アリト認メタルトキハ之ヲ許可スルコトヲ得

但シ本條ノ場合ハ樹木ノ賣渡ヲ出願セシムルモノトス

第七條　堤防敷地ノ使用ヲ出願スル者アルトキハ水利治水ノ關係ヲ審査シ其他公益上障碍ノ有無ヲ調査シテ之ヲ處分スルモノトス

第八條　堤防敷地ハ直接公用ニ供スルカ又ハ公共ノ利益トナル事業ノ爲メ使用ヲ出願シタルモノノ外ハ使用料ヲ徵收スルモノトス

第九條　堤防敷地ノ使用料ハ願人ノ申出金額及評價委員ノ評價ヲ酌量シテ之ヲ定ムルモノトス

第十條　堤防敷地ノ使用期限ハ滿五箇年以內トシ滿期後繼續使用ヲ許可スルコトヲ得

第十一條　堤防敷地ハ左ニ規定ノ事項ヲ記載シタル命令書ヲ下附シテ之ヲ許可スルモノトス

但シ使用地域ヲ示シタル實測圖ヲ添付スヘシ

第一項　出願人ノ住所氏名

第二項　使用地ノ位置及坪數

第三項　使用ノ目的及期限

第四項　使用料金及納付期日

第五項　使用地ヲ他人ニ使用セシムルヲ得サルコト

第六項　使用地ノ修理保存及之ニ要スル諸費ハ使用人ノ負擔タルコト

第七項　法律命令ノ施行及公益又ハ官用上必要アルトキ若クハ公害ヲ生シ又ハ公害ヲ生セントスル處アリト認ムルトキハ何時ニテモ此命令書ノ條件ヲ增減變更シ若クハ土地ノ使用ヲ停止又ハ禁止スル事

第八項　此命令書ノ條件ニ從ハサルトキハ使用地內ニ現存スル使用人ノ物件ハ行政廳ノ指定シタル期限內

第九項　使用免許權ヲ失ヒタルトキハ使用地內ニ現存スル使用人ノ物件ハ行政廳ノ指定シタル期限內

ニ之ヲ除去スルコト

第十項　前項ノ場合ニ於テ已成工事ニシテ他ニ障碍ヲ及ホシ又ハ堤防救地保存等ノ爲メ障碍アリト認ムルトキハ行政廳ノ指定シタル期限內ニ之ヲ原形ニ復スルコト

第十一項　使用期限滿了又ハ使用人ノ都合ニ依リ使用ヲ止メタル場合モ第九項第十項ヲ適用スルコト

第十二項　免許ヲ受ケタルモノニ於テ此命令書ニ基ク義務ヲ履行セサルトキハ行政廳ハ代テ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ代テ之ヲ執行セシムルコト

第十三項　此命令書ニ從ヒ免許ヲ受ケタル者ノ履行スヘキ義務ノ爲メニ生スル費用及前項ノ費用ハ總テ免許ヲ受ケタル者ニ於テ損害ヲ蒙ムルコトアルモ其賠償ヲ請求スルコトヲ得サルコト

○拓殖務省令第三號　明治三十年四月十日

北海道移住民規則

第一條　開墾ノ目的ヲ以テ團結規約ヲ締結シ北海道ニ移住シ土地ノ貸付ヲ出願セントスル者ハ現住地ノ府縣知事ニ出願シテ證明ヲ受クルコトヲ得

第二條　前條ニ依リ出願スルトキハ左ノ事項ヲ掲記シ府縣知事ニ差出スヘシ

一　事業ノ目的（開墾牧畜植樹等）

二　貸付出願ノ地積

三　移住ノ戶口

四　從來ノ職業

五　總代人ヲ設ケタルトキハ其ノ氏名

六　移住後ニ於ケル隣保救護ノ方法ヲ設ケタルトキハ其ノ方法

七　移住旅費家屋農具衣食等ノ準備並ニ支出ノ方法

八　小作ノ方法ニ依ル場合ハ前各項ノ外小作契約

第三條　第一條ノ出願アリタルトキハ府縣知事ハ之ヲ調査シ確實ト認ムルモノニ限リ證明ヲ與フヘシ

第四條　前條ノ證明ヲ受ケタル者ノ爲ニ北海道廳長官ハ別ニ定メタル規程ニ從ヒ其ノ出願ニ依リ開墾地ノ豫定存置ヲ爲スコトアルヘシ

第五條　證明ヲ受ケタル後六箇月ヲ經過シタルトキハ豫定存置ノ出願ヲ爲スコトヲ得ス

第六條　北海道廳ノ下付シタル土地貸付ノ指令書若クハ北海道廳長官又ハ北海道ニ於ケル郡區長ノ證明書ヲ有スル本人又ハ代理人ニアラサレハ府縣ニ於テ北海道ニ移住スヘキ小作人ヲ募集シ又ハ小作人ヲシテ北海道ニ移住セシムルコトヲ得ス

第七條　當該官吏又ハ市町村吏員ヨリ前條ノ指令書ヲ示スヘキコトヲ命シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八條　第六條第七條ニ違背シタル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第九條　第六條ニ依ル小作人ノ募集又ハ移住ヲ妨害シタル者ハ二圓以上二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

○拓殖務省訓令第十六號　明治三十年四月二十日

本年四月省令第三號ヲ以テ北海道移住民規則發布候處該移住民ニ關シテハ尙左ノ通心得ヘシ

一　北海道長官ハ隨時北海道拓殖ニ關スル必要ノ事項ヲ府縣知事ニ通知スヘシ

二　前條ノ通知ヲ受ケタルトキ府縣知事ハ適宜ノ方法ヲ以テ之ヲ管內ニ公示スヘシ

三　一時ニ多數ノ移住者北海道ヘ出發セントスルトキハ府縣知事ハ其取締保護ニ注意シ豫メ寄着港及到着豫定期日ヲ北海道廳長官ニ通知スヘシ

四　北海道移住民規則第二條ノ出願アリタルトキハ同條ニ掲ケルモノ、外團體ノ情況及總代人並立者ノ資産其他必要ノ事項ヲ調査スヘシ

五　北海道移住民規則第三條ノ證明ヲ爲シタルトキハ其ノ調査ノ事項ヲ審ニシ七日以内ニ北海道廳長官ニ通知スヘシ

六　多數ノ北海道移住民アル府縣廳ニ於テハ北海道移住ニ關スル取扱主任者ヲ置キ其官氏名ヲ拓殖務省及北海道廳ニ通知スヘシ

○拓殖務省告示第四號　明治三十年五月七日

本年省令第三號第四號ノ規定ニツキ北海道廳長官ハ本年四月二十三日同廳令第二十四號ヲ以テ之ヲ公布セリ

○北海道廳令第二十四號　明治三十年四月二十三日

北海道國有未開地處分法第三條ニ依リ土地ノ貸付ヲ受ケントスル者ニシテ府縣知事ノ證明ヲ得タル者ニ對シ左ノ取扱ヲ爲スコトアルヘシ

一　他ノ出願者ニ先ヲ土地ノ貸付ヲ爲スノ事

但シ同一ノ者二人以上アルトキハ出願先後ニ依ル

二　二十戸以上團結シテ三年以内ヲ以テ移住セントスルモノハ其移住ヲ完了スル迄永移住者ニ貸付地ヲ豫定存置スル事

但シ豫定存置期間二年ナルトキハ初年ニ總戸數ノ二分一以上三年ナルトキハ初二年ニ總戸數ノ三分一以上苑移住スル者ニ限ル

三　二十萬坪以上ヲ以テ自作農ト爲ス者又ハ前號ノ移住者若クハ前號ト同一ノ配當ヲ以テ二十戸以上ノ小作人ヲ移住セシメントスル者ハ貸付停止中ノ土地ト雖モ貸付地ヲ豫定存置スル事

四　二號三號ノ移住期間又ハ二十萬坪以上ヲ以テ自作農ヲ爲ス者ノ起業方法ハ特ニ變更セシムルコトアルヘシ

○北海道廳令第十五號　明治三十二年二月二十二日

明治三十年四月北海道廳令第二十四號ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ニ依ル豫定存地ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ書式ノ願書ニ府縣知事ノ證明書及財産證明書（團結移住者ニハノヲテ要セス）團結規約、圖面ヲ添ヘ提出スヘシ

（書式）

貸付地豫定存置願

何國何郡何町村字何々（又ハ何原野何線何番地）

一　未開地　何　坪　何目的

但シ團結移住者何戸ノ內初年何戸二年何戸三年何戸移住（又ハ小作人何戸ノ內初年何戸二年何戸三年何戸移住）

右土地貸付相受度候ニ付豫定存置相成度別紙府縣知事證明書（又ハ何々）圖面相添ヘ此段奉願候也

何府縣何國何郡何町村何番地

當時何府縣北海道何國何郡何町村何番地寄留

（團結移住者何戸總代人）　何　某　印

年　月　日

北海廳長官宛

○內務省訓令第一號　明治三十一年二月三日

本年內務省告示第九號ニ依ル北海道移住民ノ鐵車賃汽船賃割引券取扱方左ノ通リ定ム

第一條　割引券ノ下附ヲ請フ者アルトキハ左ノ事項ヲ調査シテ之ヲ下附スヘシ

一　一時ノ出稼ニアラサル者

二　生業ノ目的ヲ以テ移住スル者

三　移住ニ要スル旅費ヲ辨ス得ル者

第二條　告示第三條第二項ニ依リ特ニ乘降地ヲ指定シタル各廳ハ乘車五日以前ニ其乘降スヘキ驛名並ニ乘車人員ヲ鐵道作業局運輸部ニ通知スヘシ但割引券下附後ニ在リテハ之ヲ訂正スヘシ

第三條　南和鐵道株式會社ノ鐵道ニ係ル割引券ヲ下附シタル各廳ハ豫メ其乘降スヘキ驛名並ニ乘車人員ヲ同會社ニ通知スヘシ

第四條　割引券ハ豫メ內務省ヨリ府縣ニ配附ス府縣ニ於テハ自ラ下附スルモノヲ除キ直ニ下級廳ニ分配スヘシ

第五條　割引券ノ受拂ヲ爲シタル各廳ニ於テハ割引券受拂簿竝ニ下附簿ヲ設ケテ左ノ事項ヲ登記スヘシ

受拂簿ニ登記スヘキ事項

受入ノ年月日、員數竝ニ送越ノ廳名

拂出ノ年月日、分配及下附ノ員數、乘却ノ事由及員數並ニ每月末現在高

下附簿ニ登記スヘキ事項

券面ノ番號下附ノ年月日受領人ノ住所、身分、職業、移住ノ目的、氏名、年齡

第六條　前條ノ事項ハ府縣知事ニ於テ每年左記甲乙兩號ノ表式ニ依リ本大臣ニ報告スヘシ

（甲號）

北海道移住民滊車賃滊船賃割引券受拂表式明治何年分

受		拂	
前年ヨリ越高		本年中下附高	
本年中受高		書損、損傷其ノ他變却高	
		現在高	
合計		合計	

（乙號）

北海道移住民滊車賃滊船賃割引券下附表式明治何年

移住國郡名	區別	農業	漁業	工業	商業	其ノ他	計
	甲	、、、、、、、、					
	乙	、					
		、					
合計							

記載例

一　表中區別ノ部(甲)ハ移住前ノ現業(乙)ハ移住目的ノ職業トス各欄ニ該當人員ヲ掲記スヘシ

二　本表合計末欄ノ(甲)及(乙)ノ人員ハ各相吻口シ且受拂表拂ノ部本年中下附高トモ吻合スルヲ要ス

○内務省訓令第十一號　明治三十一年四月八日

北海道移住民ニシテ北海道内ノ一港ニ上陸シ更ニ移住目的地ニ到ラントスル者ニ對シ其ノ廳又ハ支廳ハ本年二月内務省訓令第一號ニ依リ其ノ目的地ニ到ル迄ノ瀛車賃瀛船賃割引券ヲ下附スルコトヲ得

但上陸後二箇月ヲ經タル者ハ此限ニアラス

○内務省告示第九號　明治三十一年二月三日

北海道移住民ニ對スル瀛車賃及瀛船賃ノ無賃割引竝ニ其ノ取扱方法左ノ如シ

第一條　北海道移住民ニシテ瀛車賃及瀛船賃ノ無賃、割引ヲ受ケントスル者ハ原籍地ノ府縣、島廳又ハ郡市役所（東京市、京都市、大阪市及沖繩縣ニ於テハ區役所）ニ申出割引券ノ下附ヲ請フヘシ

第二條　前條ノ割引券ヲ携帶スル者ハ當初移住ノ往路ニ限リ左ノ區別ニ依リ無賃若ハ割引ヲ以テ乘車又ハ乘船スルコトヲ得

遞信省所管ノ鐵道	五	割	引
佐野鐵道株式會社ノ鐵道	五	割	引
京都鐵道株式會社ノ鐵道	三	割	引
上野鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
關西鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
甲武鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
川越鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
總武鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
播但鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
讃岐鐵道株式會社ノ鐵道	三	割	引
日本鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
參宮鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
阪鶴鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
山陽鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
九州鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
大阪鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
奈良鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
豫州鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
常磐鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
豊川鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
房總鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
成田鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
坂堺鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
南和鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
中越鐵道株式會社ノ鐵道	二	割	引
北海道炭礦鐵道株式會社ノ鐵道	無		
大坂商船株式會社ノ瀛船	一	割五分	引
日本郵船株式會社ノ瀛船	一	割五分	引

本條ニ掲ケル播但鐵道株式會社、山陽鐵道株式會社及九州鐵道株式會社ノ鐵道ニ於ケル割引ハ明治三十一年十二月三十一日迄トス

第三條　遞信省所管ノ鐵道ニ於ケル割引ハ左記ノ區別ニ從ヒ乘船地ニ到ル線路ニ限ル

乘船地		乘車線路
横濱	新橋、神戸間横須賀、武豊兩支線及富崎、横川間各驛	
熱田、半田、武豊、四日市	豊橋、神戸間及武豊線各驛	
大阪、神戸、兵庫	豊橋、神戸間北陸線各驛	
三國、敦賀、伏木	北陸線各驛	
直江津	信越線各驛	
青森	奥羽線各驛	

本條指定ノ線路ニ依ル能ハサル者ハ第一條ニ掲ケル各廳ニ申出特ニ乘降地ノ指定ヲ受ケルコトヲ得

第四條　日本鐵道株式會社ノ鐵道ニ於ケル割引ハ青森ニ山陽鐵道株式會社ノ鐵道ニ於ケル割引ハ神戸ニ

九州鐵道株式會社ノ鐵道ニ於ケル割引ハ門司ニ中越鐵道株式會社ノ鐵道ニ於ケル割引ハ高岡ニ到リ下車スル者ニ限ル

第五條　携帯品ノ無賃割引ハ左ノ區別ニ依ル

一　遞信省所管ノ鐵道ニ於テハ無賃定限ニ超過スル分ヲ五割引トス

二　北海道炭礦鐵道株式會社ノ鐵道ニ於テハ日常必要ノ家具衣類農具ニ限リ無賃トス

三　豐州鐵道株式會社ノ鐵道ニ於テハ日常必要ノ家具衣類農具漁具ニシテ定限ノ斤量ヲ超過セサル分ニ限リ無賃トス

四　中越鐵道株式會社ノ鐵道ニ於テハ日常必要ノ家具衣類漁具等ニシテ無賃定限ニ超過スル分ヲ五割引トス

五　其ノ他ノ鐵道（日本鐵道株式會社、豐宮鐵道株式會社、播但鐵道株式會社、背梅鐵道株式會社及山陽鐵道株式會社ノ鐵道ヲ除ク）及滊船ニ於テハ普通手荷物ニシテ無賃定限ニ超過スル分ヲ割引ス其ノ歩合ハ第二條ニ同シ

第六條　割引券ハ避ケ（カラサル事故ニ由リ滅失シタルモノ、外再ヒ下附セス

第七條　割引券ノ樣式ハ左ノ如シ

割引券樣式

割印	北海道移住民滊船貨	北海道移住民滊船貨
	割引券上（中）（下）等	割引券上（中）（下）等
	從何地	從何地
	到何地	到何地
		乘船地何港

御記例

一　此券ハ下附スルトキ式ノ如ク記入捺印スヘシ

二　山陽鐵道株式會社ノ鐵道ニ係ル切離滊車貨割引券ニシテ不用ノ分ハ下附スルトキハ取戻ヘシ

三　券面記入ノ文字ハ狼ニ改竄後抹スヘカラス若シ訂正ヲ要スルトキハ主任者之ニ捺印スヘシ

四　切離割引券ニシテ不用ノ分ハ下附スルトキハ取戻ヘシ

北海道移住民ニ滊車賃割引ヲ確認シテ此券ヲ下附スルコト

下附縣長之印

北海道移住民滊車賃滊船賃割引券上（中）（下）等北海道國郡町村行

明治　年　月　日

第　號

內務省北海道局之印

（東京市、京都市、大阪市及沖繩縣ニ於テハ區役所裏面ニ捺印同シ）

國郡町村番地族籍身分

職業　氏名　年月生

何府（縣、島廳、郡、市役所）

編印

表

割引	北海道移住民滊車貨	北海道移住民滊車貨
	割引券上（中）（下）等	割引券上（中）（下）等
	從何地	從何地
	到何地	到何地
	乘船地何港	乘船地何港

第　號	第　號	第　號
府（縣、島廳、郡、市役所）	府（縣、島廳、郡、市役所）	府（縣、島廳、郡、市役所）
明治　年　月　日下附	明治　年　月　日下附	明治　年　月　日下附

裏

鉄車賃減船賃割引券携帯者心得

一　此券ヲ携帯スル者ハ當初移住ノ往路ニ限リ明治三十一年内務省告示第九號ニ依リ無賃若クハ割引ヲ以テ乗車又ハ乗船スルコトヲ得

二　此券ハ乗車切符又ハ乗船切符買入ノ時差出シ要部ノ切取ヲ受ケ最後ニ於ケル北海道ノ鉄道ニハ渡切トス

三　此券ハ一人毎ニ携帯スルモノトス且ツ他人ニ譲與又ハ貸與スルヲ禁ス

四　此券不用トナリシトキハ速ニ受領シタル廳ニ返納スヘシ

五　此券ハ券面ノ日附ヨリ六十日ヲ經過シタルトキハ無効トス

第　號	府（縣、島廳、郡、市役所）	明治　年　月　日下附
第　號	府（縣、島廳、郡、市役所）	明治　年　月　日下附
第　號	府（縣、島廳、郡、市役所）	明治　年　月　日下附
第　號	府（縣、島廳、郡、市役所）	明治　年　月　日下附

○内務省告示第六十五號　明治三十一年七月九日

本年二月内務省告示第九號第二條第一項中遞信省所管ノ鉄道五割引ノ次ヘ北海道廳所管ノ鉄道無賃ヲ加フ

同第五條第二號中北海道炭礦鉄道株式會社ノ上ニ「北海道廳所管ノ鉄道及」ノ十字ヲ加フ

○内務省告示第二號　明治三十二年一月四日

明治卅一年三月内務省告示第九號第二項北海道移住民ニ對スル瀛東貨側引ノ期限播但鉄道株式會社ノ鉄道ハ更ニ無期トシ山陽鉄道株式會社ノ鉄道ハ仍ホ明治三十二年十二月卅一日迄トス

○北海道廳令第三十八號　明治三十一年五月十日

氏名確定團結移住者ニシテ貸付地豫定存置許可ノ後移住者ニ異動ヲ生シタルトキハ總代人及補欠移住者連署シ移住證明書及ヒ戸籍寫ヲ添ヘ當廳ニ出願スヘシ

○團結移住者規約標準

移住ノ目的

第一條　北海道廳ノ規定セラレタル團結移住ノ要領ニ準據シ茲ニ何府縣何郡區何市町村ノ住民何十戸ヲ以テ團結ヲ組織シ北海道ニ移住シテ專ラ農業（若クハ牛馬ヲ畜養、若クハ希望地ノ何々地方トス）ニ從事シ自作農タルヲ以テ目的トス

移住地ハ北海道廳ノ選定指示スル所ニ任ス（何々地方トス）

移住者ハ皆北海道ニ永住スルノ目的ナルヲ以テ移住ノ際ハ貸下豫定地内ニ轉籍スルモノトス

移住ノ戸數

第二條　此移住團躰ハ何雖以下何名ヨリ成立スルモノトス

但移住年限内ニ於テ疾病其他避クヘカラサル支障ノ爲メ欠員ヲ生シタルトキハ最終移住ノ年ニ限リ本人若クハ親戚ニ於テ自町村ヨリ適當ノ補欠移住者ヲ選出シ原籍地方長官ノ認可ヲ得テ移住セシムヘシ

移住戸數ノ配當

第三條　明治十七年ヨリ同廿九年迄三ヶ年間ニ貸下豫定地ニ總數何十戸移住スルモノトス其内譯左ノ如シ

明治二十七年	何十戸
同　二十八年	何十戸
同　二十九年	何十戸

毎年配當ノ戸數貸下豫定地内ニ移住シタルトキハ其年内ニ於テ總代人（若クハ各本人）ヨリ地元戸長役場ヲ經テ

北海道廳ニ届出ヘシ

自作小作ノ區別

第四條　此團躰ハ各自同一ノ權義ヲ有スル自作農ニシテ土地貸下期限中ハ小作ヲ爲サシメサルモノトス

勤儉貯蓄

第五條　移住者ハ勤儉ヲ旨トシ決シテ奢侈ニ渉ルコトヲ爲サス移住ノ翌年ヨリ協議ノ上應分ノ金品ヲ貯蓄シ以テ一村基本財産ノ基礎ト爲シ凶荒又ハ公共ノ用ニ供ス

但貯蓄ノ金品ハ協議ノ上最確實ナル方法ヲ設ケ總代人ヲシテ之ヲ保管セシム

習俗慣例

第六條　習慣ノ善良ナルモノハ之ヲ保守シ否ラサルモノハ之ヲ矯正スルコトニ務ムヘシ殊ニ左ノ各項ヲ遵守スルモノトス

一　常ニ親睦ヲ旨トシ苟モ喧嘩口論スヘカラス

二　金錢物品ヲ賭シ博奕ヲ爲スヘカラス

三　祝祭弔慰ノ外猥リニ集會シテ酒宴ヲ開クヘカラス

四　冠婚葬祭其分ニ越ユヘカラス

五　忠君愛國ノ氣風ヲ養成スヘシ

相互救護

第七條　移住者中疾病ニ罹リ若クハ不時ノ災害ヲ被リタルトキハ相互ニ救護ヲ爲スハ勿論萬一右ノ爲メ開墾ノ進捗ヲ妨ケ起業方法書ノ如ク土地ヲ成功セサルノ虞アルトキハ相協力シテ豫期ノ功程ヲ擧クシムルモノトス

移住旅費支辨ノ方法

第八條　移住旅費ハ各自ノ負擔トス

但時宜ニ依リ團結同盟者ニ於テ何分一ヲ補助スルコトアルヘシ

移住後家作、器具、糧食等諸費支辨ノ方法

第九條　移住後家作器具糧食等各自ニ必要ノモノハ各自ノ負擔トス

但二年目以後ノ假小屋ハ特ニ先住者ニ於テ準備シ新移住者ヲ歡迎スルノ意ヲ表スルモノトス

移住總代人ニ關スル規程

第十條　便宜上團躰中ヨリ互選ヲ以テ總代人何人ヲ置キ左ノ事項ヲ取扱ハシム

一　土地貸下拂下其他ニ關シ官廳ヘ諸願届等ニ關スル件

二　公達命令等傳達ノ件

三　開墾上管理ノ件

四　貯蓄ノ金品保管ノ件

五　規約違戻者處分執行ノ件

規約違戻者處分事項

第十一條　本規約ニ違背シ若クハ左記ノ一ニ該當スル者アルトキハ衆議ノ上總代人ヨリ一應說諭ヲ加ヘ尚改メサルトキハ輕キハ何圓乃至何圓ノ違約金ヲ徵シ重キハ本團躰ヨリ除名スルモノトス

一　故ナク開墾ニ從事セサル者

二　故ナク他ニ轉居スル者

三　農期間他人ヲ誘導シ出稼ヲ爲ス者

四　相互救護ノ義務ヲ果サヽル者

五　本團躰ノ面目ヲ汚スヘキ行爲アル者

雜　則

第十二條　違約徵收金ハ他ノ貯金ト共ニ保管シ團躰ノ公共事業ニ費消スルモノトス

第十三條　除名者ノ貯蓄シタル金品ハ之ヲ返付セサルモノトス

第十四條　他日移住者中ニ於テ本規約ノ改正ヲ必要トスル場合アルトキハ團躰全戸數三分二以上ノ同意ヲ以テ改正スルコトヲ得

此場合ニ於テハ當初本規約ノ認可ヲ得タル府縣廳及北海道廳ノミノ承認ヲ受クルモノトス

但全部移住後ニ於テ改正スルトキハ北海道廳ノミノ承認ヲ受クルモノトス

第十五條　團躰者各自本規約ヲ是認シ且之ヲ履行スヘキコトヲ誓ヒ茲ニ記名捺印スル者ナリ

明治　年　月　日

住所

氏名　印

家族何人

（以下各自列記スヘシ）

驛遞ニ關スル新規則

拓地殖民ノ要主トシテ交通ノ機關ノ整否ニアリ而シテ交通機關ヲ類別スレハ道路鐵道船舶水利運輸等總テ國家及公共ノ義務ニ屬スルモノ枚擧ス可ラスト雖モ特リ驛遞ノ設備ニ至テハ拓殖上一日モ欠ク可ラサル樞機ニシテ交通運輸ト驛遞ノ事務トハ相伴ハサルヲ得ス假令ハ刑法ニ猶訴訟法アリテ圓滑ニ之ヲ運用スルカコトク本道ノ如キ創始未開ノ地多ク人煙稀少ナリト雖モ或ハ國縣道ニ位シ甲地ヨリ乙地ヘ聯絡セサル可ラサル必要アリテ偖ニ通行ヲナシ得ルト雖モ驛遞準備ナキニ於テハ終ニ通行ヲ妨クルノ例比々然ラサルナシ之レニ依テ開拓使以來北海道廳ニ至ル年々之レカ增設ヲ見ルト雖モ輓近落ルシク增殖シテ爲メニ行路人ノ爲メニ便益ヲ與ヘラレタルモノ少カラス今最近ニ係ル其規則ノ梗概ヲ左ニ揭クテ參照トナサシム

明治三十一年十月二十二日北海道廳令第七十七號ヲ以テ渡船取締規則廳令四十七號ヲ以テ人馬繼立營業取締規則定メラル今他府縣移住者等ニシテ土地不案內ナル旅人ノタメ左ニ之レヲ揭ク

渡船取締規則

第一章　通則

第一條　本則ニ於テ渡船營業ト稱スルハ河川湖沼ニ於テ兩岸間交通ノ爲メ渡船ノ往復ヲナス營業ヲ云フ

第二條　渡船營業ヲナサントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ地元戶長役場ヲ經テ所轄北海道廳支廳長ニ願出許可ヲ受クヘシ

一　營業者本籍居所氏名年齡

二　船夫ノ員數

三　營業年限

四　渡船ノ方法及渡船場工事ノ設備

五　渡船ノ種類、員數及其構造

六　渡船賃額

七　渡船場、渡船通行線延長、連絡道路、營業人居所ヲ記シタル圖面

八　會社組合ノ由願ニ在リテハ前各號ノ外業務擔當者ノ本籍居所氏名年齡

渡船營業期限ハ五年以內ニ限ル但シ滿期後再願スルコトヲ得

第三條　渡船、營業滿期後再願ヲナストキハ願書ニ年限其他必要ナルモノヽ外前條ノ各號ヲ具悉スルヲ要セス

第四條　本則第二條各號ノ事項ヲ變更スルトキハ左ノ手續ヲナスヘシ

一　二號乃至七號ヲ變更スルトキハ地元戶長役場ヲ經テ所轄北海道廳支廳長ニ願出許可ヲ受クヘシ

二　一號八號ニ變更アリタルトキハ三日以內ニ地元戶長役場ヲ經テ所轄北海道廳支廳長ニ屆出ヘシ

第五條　渡船營業者營業期限內ニ於テ廢業ヲナサントスルトキハ地元戶長役場ヲ經テ所轄北海道廳支廳長ニ願出許可ヲ受クヘシ

第六條　渡船營業者及船夫ハ渡船場ニ居住スルヲ要ス但シ會社組合ノ營業ニ係ルモノハ此限ニアラスト雖モ其執業者ハ渡船場ニ居住スヘシ

第七條　北海道廳支廳長ハ左ノ場合ニ於テ營業年限內ト雖モ其營業ヲ禁止スルコトアルヘシ

一　公益ノ爲メ必要ト認ムルトキ

二　第六條ニ違背シ又ハ第八條第九條第二十一條ノ命令ニ違背シタルトキ

三　第十九條ノ場合ニアテスシテ營業ヲ休止シタルトキ

四　二回以上第二十六條ノ處分ヲ受ケ營業不適任ト認ムルトキ

第二章　渡船場及渡船

第八條　渡船場ニ工事ノ施設ヲ要スルモノ又ハ其施設ニシテ不完全ナリト認ムルトキハ北海道廳支廳長ハ營業者ノ私費ヲ以テ其施設又ハ改良修繕ヲ命スルコトアルヘシ

第九條　北海道廳支廳長ハ渡船ノ位置ヲ不適當ナリト認ムルトキハ營業者ノ私費ヲ以テ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第十條　渡船ハ船躰堅牢ニシテ器具完備ノモノタルヘシ

當該官吏又ハ警察官吏ハ其船躰其器具ニ不備アリト認ムルトキハ其使用ヲ停止スルコトアルヘシ

第十一條　渡船營業人又ハ船夫ノ居住セサル一方ノ沿岸ニハ艀木又ハ半鐘等ヲ設置シ出船ヲ求ムル者ノ合圖ニ備フヘシ但シ兩岸ノ距離四十間ニ滿タサル場所ハ此限ニアラス

第十二條　北海道廳支廳長又ハ警察官署長ニ於テハ渡船ノ乘載制限ヲ定ムル必要アリト認ムルトキハ船ニ吃水線ヲ畫セシメ又ハ乘載員數ヲ指定シタルトキハ其員數ヲ渡船內ニ揭示スヘシ

前項ニ依リ乘載員數ヲ指定シタルトキハ其員數ヲ渡船內ニ揭示スヘシ

第三章　業務及船夫

第十三條　船夫ハ滿二十年以上滿六十年以下ニシテ身躰強壯且ツ其事務ニ熟練ナル者ニ限ル但シ北海道廳支廳長ハ河川湖沼ノ狀況ニ依リ制限ヲ要セサルモノト認ムルトキハ其制限ヲ變更スルコトヲ得

第十四條　出船ヲ求ムル者アルトキハ晝夜又ハ乘員貨物ノ多寡ニ拘ラス直ニ之ニ應スヘシ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ミ又ハ遲延スヘカラス

第十五條　熟醉又ハ見苦シキ風躰ヲナシテ業務ヲ執ルヘカラス

第十六條　夜中渡船ノ操業ヲナストキハ必ス船燈ヲ點スヘシ

第十七條　乘員及貨物ニ對シ懇切ニ取扱ヒ粗暴ノ行爲アルヘカラス

第十八條　船躰不相應ノ乘載ヲナスヘカラス暴風出水ノ場合ニ於テ當該官吏又ハ警察官吏ニ於テ必要ト認ムルトキハ乘載制限ノ有無ニ拘ハラス特ニ其乘載制限ヲ命シ又ハ船夫ノ增員渡船ノ停止ヲ命スルコトアルヘシ

第十九條　暴風出水又ハ結氷ノ爲メ業務ヲ執ル能ハスシテ二日以上休業スルトキハ地元戶長役場若ハ警察官吏ニ屆出ヘシ

第二十條　渡船營業者ハ本則ノ全文ヲ渡船場ニ揭示スヘシ

第二十一條　船夫ニシテ二回以上本則ニ違背スル行爲アリタルトキハ北海道廳支廳長又ハ警察官署長ハ其船夫ノ執務禁止ヲ營業者ニ命スルコトヲ得

第四章　賃錢

第二十二條　北海道廳支廳長ハ公益上必要ト認ムルトキハ渡船賃ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二十三條　渡船賃ノ定額ハ渡船場及渡船内ニ掲示スヘシ

第二十四條　何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス定額以外ノ金錢若ハ物品ヲ受クヘカラス

第二十五條　左ノ場合ニ於テハ賃錢ヲ受クヘカラス

一　軍隊隊伍ヲ組ミ進行ノトキ

二　警察官、憲兵、公務ノ爲メ制服ヲ着シ通行ノトキ

三　警察官吏、司獄官吏、囚人又ハ犯罪人ヲ護送引致ノトキ

但シ囚人犯罪人及其繩取人夫トモ

四　森林檢査員及森林監守手簿ヲ携帶通行ノトキ

但シ犯罪人引致ノ場合ハ其犯罪人及繩取人トモ

五　消防組水火災警防又ハ演習ノ際制服ヲ着シ通行ノトキ

六　郵便電信遞送集配人其遞送集配ノ爲メ制服ヲ着シ又ハ印鑑ヲ携帶シテ通行ノトキ

七　小學校生徒通學ノトキ

第五章　罰則

第二十六條　本則第二條第四條第六條第十條第一項第十一條第十二條第二項第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第一項第十九條第二十條第二十三條第二十四條第二十五條ニ違背シ又ハ第十條第二項第十八條第二項第二十一條ノ命令又ハ第十二條ノ乘載制限ニ違背シタル者ハ一日以上三日以内ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十七條　前條ノ家族傭人ノ所爲ト雖モ渡船營業者ハ其責ヲ免ルヽコトヲ得ス

會社組合ニ在リテハ業務擔當者其責ニ任ス

第六章　附則

第二十八條　本則ハ營業目的ニアラサル渡船ニモ之ヲ準用ス但シ北海道廳支廳長ノ認可ヲ得テ渡船場ニ居住セサルコトヲ得郡町村若ハ公共ヲ目的トスル組合ニ在リテハ第二條八號及第六條但書ニ依ル

第二十九條　本則第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條第十七條第十八條第十九條第二十條第二十一條第二十三條第二十四條第二十五條第二十六條第二十七條ハ官設渡船場取扱人ニモ之ヲ準用ス

第三十條　官設渡船取扱ニ關シ第三者ニ對スル責任ハ其取扱人之ヲ負フ

北海道廳訓令第四十九號

渡船取扱規程左ノ通定ム

但シ明治二十七年九月北海道廳訓令第五十四號渡船場取扱手續明治二十八年三月北海道廳訓令第十一號官設渡船場取扱人手當金支給規程ハ廢止ス

明治三十一年十月二十二日

渡船取扱規程

第一條　官設渡船場ヲ分テ左ノ二種トス

一　渡船取扱人ヲ命シ渡船場所用ノ物件又ハ渡船取扱人手當ノ全部又ハ幾分ヲ官ニテ支辨シ渡船賃ヲ徵收セサルモノ

二　渡船取扱人ヲ命シ渡船場所用ノ物件又ハ渡船取扱人手當ノ幾部ヲ官ニテ支辨シ渡船賃ヲ渡船取

扱人ノ收入トスルモノ

橋梁ノ破壞流失ニ依リ一時渡船ヲ設クルモノ及特ニ其必要ヲ認ムルモノハ第一種ニ依リ其他ハ第二種ニ依ル

但シ橋錢ヲ徵收スル橋梁ノ破壞流失ニ係ルモノ又ハ繕費ノ支出ニ支障アルトキハ此限ニアラス

第二條　支廳長ハ渡船官設ノ必要ヲ認ムルトキハ左ノ事項ヲ具シ上申スヘシ但シ支廳豫算內及其權限內ニテ設置シ得ルモノ及第四條ニ係ルモノハ此限ニアラス

一　渡船設置ノ理由

二　開始年月日、設置年限

三　渡船場用地種、官私有ノ區別、若シ私有地ナルトキハ借用契約ノ要領

四　渡船ノ種類員數及其構造

五　渡船ノ方法及渡船場工事ノ設備

六　船夫ノ人員

七　渡船賃額

八　渡船場、渡船通行線延長、連絡道路、渡船取扱人ノ居所等ヲ示シタル圖面

九　費用及其說明、內譯

官設渡船場ノ設置ハ五年以內ニ限ル但シ滿期後更ニ繼續スルコトヲ得

第三條　前條ノ上申ハ每年十一月三十日限リ取纏メ進達スヘシ但シ至急ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第四條　橋梁破壞流失假橋ヲ設クル能ハサル場合ハ速ニ渡船ヲ設置スヘシ渡船ノ流失破壞シタル場合亦同シ但シ一時ノ用ニ過キサルモノハ成ヘク渡船其他ノ物件ヲ借上ルヲ要ス

本條ノ場合ニ於テハ第五條ノ報告ニ拘ラス即時電報ヲ以テ其事由及費用ノ概算ヲ報告スヘシ但シ支廳豫算內ヲ以テ支辨シ得ルモノハ此限ニアラス

第五條　官設渡船場又ハ私設渡船場ヲ置キタルトキハ支廳長ハ第二號書式渡船場臺帳ニ記載スヘキ事項（取扱人營業人ノ族籍居所氏名年齡ヲ除ク）及渡船取締規則第二條七號又ハ本則第二條八號ノ圖面ヲ具シテ報告シ同時ニ警察上必要ノ事項ヲ所轄警察官署ニ通報スヘシ但シ第二條ノ上申ヲナシタルモノハ其上申ニ具シタル事項ニ相違セルモノノミヲ報告スヘシ

報告事項ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

第六條　渡船ヲ官設スルトキハ官設渡船取扱人ヲ命シ保證人ヲ立テシメ第一號書式ニ依リ命令書ヲ交付シ保證人連署ノ受書ヲ徵スヘシ但シ保證人ハ其地方在住者ニシテ相當ノ資產アル者ニ限ル

第七條　渡船賃額ハ成ルヘク詳細ニ定メ且ツ町村民又ハ渡船場附近人民ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ特ニ其賃額ヲ定ムルヲ要ス但シ渡船取扱人又ハ渡船營業人ハ支廳長ノ命令又ハ許可ヲ得テ其町村ヨリ補助金品ヲ受ケ其町村民ノ渡船賃額ヲ低減又ハ徵收セサルモ妨ナシ

第八條　渡船場用地ノ官有ニ屬スルモノハ其官設ト私設トニ拘ラス渡船場用地ニ編入シ私設ナルトキハ其土地貸付ノ手續ヲナスヘシ但シ渡船ノ目的ノ一時ニ過キサルモノハ此限ニアラス

第九條　渡船取締規則第八條第九條第十條第十二條第十三條但書第二十一條第二十二條第二十六條ノ命令又ハ處分ヲナシ又ハ第十九條ノ屆出ヲ受ケ若ハ取締上必要ト認ムルモノアルトキハ當事ノ支廳又ハ警察官署ハ一方ノ官廳ニ通報スヘシ

第十條　支廳長ハ第二號書式ニ依リ渡船場臺帳ヲ備フヘシ

第十一條　支廳長ハ每年二回以上渡船場ヲ檢查セシメ其結果ヲ渡船場臺帳記事欄內ニ記入スヘシ

（第一號式命令書）

命　令　書

右何某ニ對シ明治何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何年ノ期限ヲ以テ何國何郡何町村何番地
人ヲ命シタルニ付左ノ各條遵守スヘシ　　何國何郡何町村何番地
　　官設渡船取扱人　　何　　某
明治何年月日　　何國何郡何町村何番地
　　右保證人　　何　　某

第一條　手當ハ一箇月金何圓ヲ給ス

第二條　渡船取扱人ハ船夫何人ヲ以テ業務ニ從事スヘシ
　但渡船取扱人ハ船夫タルヲ妨ケス

第三條　渡船假繫ヲ官設スルノ外業務ニ要スル器具建物ハ渡船取扱人ノ支辨トス但シ天災其他已ヲ得サル事故ニ依リ大破損ヲ
ヲ要スルモノアルトキハ官ニ於テ施設スルコトアルヘシ

第四條　渡船場及官設物件ノ修繕ハ渡船取扱人ノ負擔トス但シ天災其他已ヲ得サル事故ニ依リ大破損ヲ
生シタルトキハ其狀況ニ依リ官ニ於テ修繕ヲナスコトアルヘシ

第五條　渡船取扱人ハ保管ノ渡船場及官設物件ヲ自己ノ財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲナス責ニ任ス

第六條　渡船賃額ハ左ノ通トス但シ必要ト認ムルコトアルトキハ變更スルコトアルヘシ

（賃額ヲ記スヘシ）

北海道廳何支廳長支廳長氏名印

渡船賃ハ渡船取扱人ノ收入トス

第七條　渡船取扱人ハ毎年四月三十日限リ前年度ノ渡船賃收入額ヲ取調ベ地元戶長役場ヲ經テ届出ヘシ

第八條　渡船取扱人ハ就職年限間已ヲ得サル事由アルニアラサレハ就職後滿二箇年內辭職ヲナスコトヲ
得ス

第九條　手當金給與方ハ左ノ各項ニ依ル
一　手當金ハ其月分ヲ毎月下旬之ヲ給與スヘシ
二　左ノ場合ニ於テハ其月ノ現日數ニ依リ日割ヲ以テ給與スヘシ
一　新ニ渡船取扱人ヲ命シタルトキハ業務開始ノ日ヨリ給與ス
二　渡船取扱人罷免死亡又ハ廢職ノトキハ其通達ヲ受ケタル日又ハ死亡ノ日マテ給與ス
三　手當增減ノトキハ其命令書ニ定メタル期日ニ依リ給與ス

第十條　左ノ場合ニ於テハ何時タリトモ取扱人ヲ罷免スルコトアルヘシ
一　公益ノ爲メ必要ト認ムルトキ
二　本命令ニ違背シタルトキ
三　渡船取締規則第六條又ハ第二十一條ノ命令ニ違背シ又ハ第十九條ノ場合ニアラスシテ渡船ヲ休
業シタルトキ
四　渡船取締規則第二十九條ニ依リ二回以上ノ處分ヲ受ケ渡船ノ業務ニ堪ヘサル者ト認メタルトキ

第十一條　前條ノ罷免ニ依リ何等ノ損害アルモ官廳ハ其賠償ノ責ニ任セス

第十二條　保證人ハ渡船取扱人擔保ノ責ニ任シ渡船取扱人ニシテ其義務ヲ盡サヽルトキハ保證人ハ其代
辨ヲナスヘシ
本命令第四條ニ依リ修繕スヘキモノニシテ保證人ハ前項ノ義務ヲ盡サルヽトキハ官ニ於テ修繕シ其費

用ハ渡船取扱人及保證人ヲシテ支辨セシムルコトアルヘシ

渡船取扱人ハ本命令第八條ニ違背シテ辭職ヲ出願シタルトキ又ハ第十條二號三號四號ニ依リ罷免シタルトキハ渡船取扱人就職年限内若ハ適當ノ後代者アルマテ保證人ヲシテ渡船ノ業務ヲ取扱ハシムルコトアルヘシ保證人亦其義務ヲ盡サヽルトキハ官ニ於テ他人ヲシテ代辨セシメ其費用ハ渡船取扱人及保證人ヲシテ支辨セシム

（本書式ニ記載ノ條文外ニ猶必要ナルモノアルトキ又ハ官設物件及取扱人手當等ノ如何ニ依リ更改ヲ要スルモノアルトキハ適宜增減ヲナスコトヲ得）

人馬車繼立營業取締規則

第一條　本則ニ於テ人馬車繼立營業ト稱スルハ貨錢ヲ受ケ人夫牛馬荷車荷櫃荷馬車荷馬櫃等ヲ使用シ旅客及貨物ヲ運送スルモノヲ云フ

第二條　人馬車繼立營業ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記シ所轄警察官署ニ届出ヘシ

一　人夫馬丁ノ員數

二　乘用ニ供スル馬匹ノ頭數及毛色年齡

三　貨物運搬ニ供スル牛馬ノ頭數

四　車櫃及乘鞍ノ員數

第三條　營業者轉居改氏名廢業死亡又ハ人夫馬丁牛馬車櫃乘鞍員數ニ異動ヲ生シタルトキハ五日以内ニ所轄警察官署ニ届出ヘシ但シ死亡シタルトキハ家督相續人又ハ家族ヨリ届出ヘシ

第四條　營業者死亡ノ場合ニ於テ家督相續人營業ヲ繼承セントスルトキハ其旨所轄警察官署ニ届出ヘシ

第五條　人夫ハ身躰强壯乘用馬匹ハ三歲以上ニシテ惡癖ナク車櫃及附屬器具ハ堅牢ノモノヲ用フヘシ

第六條　營業ニ供スル牛馬車櫃及器具ハ警察官ニ於テ隨時檢査ヲ爲スコトアルヘシ

第七條　營業所及取扱所ニハ營業名ヲ記シタル看板ヲ揭出シ尙隣村及十里未滿各驛ノ里程賃錢及運搬制限ヲ揭示シ置クヘシ

第八條　牛馬ハ一定ノ場所ニ倘養スルヲ要ス但シ放牧又ハ營業所若クハ取扱所ヨリ十町以外ノ箇所ニ倘養セントスルトキハ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ

第九條　營業者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　旅客及貨物ヲ懇切ニ保護シ粗暴ノ行爲アルヘカラス

二　旅客ニ對シ侮慢ノ言行アルヘカラス

三　醉中執業スヘカラス

四　運送中濫リニ車馬ヲ休止シ又ハ疾驅セシメ若クハ競爭スヘカラス

五　牛馬ヲ殘虐ニ取扱フヘカラス

六　客ノ許諾ナクシテ人夫馬車櫃等ヲ途中ニテ繼換ヲ爲スヘカラス

七　正當ノ理由ナクシテ人夫牛馬車櫃ノ差立ヲ拒ミ又ハ濫リニ請求ノ時間ヲ遲延スヘカラス

第十條　營業者ハ牛馬車櫃及附屬器具ヲ常ニ清潔ニシ置クヘシ

第十一條　乘用ニ供スル馬匹ニハ客ノ需メアルトキハ馬丁ヲ附スヘシ

馬丁ハ滿十六年以上ノ者ニシテ馬匹ノ取扱ニ慣熟シタル者タルヘシ

第十二條　左ニ記載シタル事項ハ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ但シ所轄警察官署區域内ニ二人以上ノ同業者アルトキハ申合ヲ以テ之ヲ定メ認可ヲ受クルモノトス此ノ場合ニハ申合ニ入ラサル者ハ營業スルコトヲ得ス

一　賃錢ニ關スル事項

二　里程ニ關スル事項

三　運搬ニ關スル事項

第十三條　何等ノ名義ヲ以テスルモ定額以外ノ賃錢ヲ請求スヘカラス

第十四條　里程ハ北海道廳ニ於テ告示シタルモノアルトキハ其告示ニ據ルヘシ

第十五條　貨物ノ運搬ハ左ノ制限迄ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

一　人夫一人　七貫目迄

二　牛馬一頭　三十二貫目迄

三　荷馬車一頭曳　八十貫目迄

四　同　二頭曳　百三十五貫目迄

五　荷馬橇一臺　九十貫目迄

六　荷車荷橇一臺　十五貫目迄

道路險惡等ノ爲メ前項ノ制限ニ據ル能ハサルトキハ申合又ハ組合規約ヲ以テ更ニ其制限ヲ定ムルコトヲ得

第十六條　組合設置ノ必要アリト認ムルトキハ警察官署ニ於テ特ニ區域ヲ定メ其設置ヲ命スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ組合地區內ノ營業者ハ組合ニ入ラスシテ營業スルコトヲ得ス

第十七條　組合ニハ繼立取扱所ヲ設ケ取扱人ヲ置クヘシ

取扱人ハ組合內同業者ノ互選ヲ以テ定メ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ其規約スヘキ事項ハ左ノ如シ

第十八條　組合ハ規約ヲ定メ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ

一　組合名稱及取扱所ノ位置

二　旅客及貨物繼立方法

三　賃錢ノ定額

四　取扱人選擧手續

五　取扱人ノ事務及任期

六　組合加入者及退去者手續

七　組合費用ノ收入支出手續

八　規約違背者處分手續

九　前各號ノ外必要ナル事項

第十九條　取扱人ニ不都合ノ處爲アリト認ムルトキハ所轄警察官署ニ於テ改選ヲ命スルコトアルヘシ

第二十條　公益上必要ト認ムルトキハ警察官署ニ於テ賃錢定額ノ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二十一條　本則第二條第三條（廢業死亡ヲ除ク）第四條第五條第七條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十五條第一項第十六條第二項ニ違犯シタルトキハ刑法第四百二十七條第八項ニ依リ所罰セラルヘシ廢業死亡ノ屆出ヲ爲サザルトキハ壹圓二拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十二條　營業者不正ノ行爲アリ又ハ本則ニ據リ一ヶ年以內三回以上所罰セラレタルトキハ三ヶ年以內ノ期間ヲ定メ營業ヲ停止スルコトアルヘシ

第二十三條　本則第九條第二十一條ハ雇人ニモ之ヲ適用ス

第二十四條　營業上ニ就テハ家族雇人（前條ニ據リ所罰セラルヘキ者ヲ除ク）又ハ同居者ノ所爲ト雖モ營業者其責ニ任ス

第二十五條　營業者未成年者禁治產者ナルトキハ父母又ハ後見人營業上ノ責ニ任ス

附　則

第二十六條　乘合馬車營業取締規則人力車營業取締規則貸馬業取締規則ニ據ルヘキモノ及一市內ノ營業ニ就テハ本則ヲ適用セス

第二十七條　從前ノ營業者ハ本則施行ノ日ヨリ一ケ月以內ニ本則ニ據リ更ニ屆出ヘシ

驛遞所規程

驛遞所設置廢止

第一條　驛遞所ハ人馬車繼立所又ハ宿屋ノ必要アル所ニシテ其營業者ナキトキ若ハ其營業者アルヲ公益上必要ト認ムルトキハ之ヲ設置スルモノトス

第二條　驛遞所ノ土地建物馬匹ハ其必要ニアリ之ヲ官設スルモノトス

前項ノ土地建物馬匹ノ官設ハ左ノ制限ニ依ル

一　土地ハ牧場地畑地建物敷地ノ用ニ限リ設備シ其面積ハ必要ニ應シ之ヲ定ム

二　建物ハ第一號書ノ標準ニ依ル但土地ノ情況ニ依リ其設計ヲ伸縮スルコトヲ得

三　馬匹ハ十頭以內トス但必要ニ依リ特ニ其數ヲ增スコトアルヘシ

第三條　驛遞所ニ驛遞取扱人ヲ置ク

驛遞取扱人ニハ月額金十圓以內ノ手當金ヲ支給スルコトヲ得但必要ニ依リ特ニ其金額ヲ增スコトアルヘシ

第四條　驛遞所ニ充ツル建物ヲ官設セサルトキハ其取扱人居所ヲ以テ驛遞所トス但特ニ之ヲ指定スルコトアルヘシ

第五條　第八條ニ依リ人馬車繼立取扱人ヲ以テ驛遞取扱人トナストキハ官設ノ牧場地畑地ハ人馬車繼立營業組合營業者營業馬匹ノ共用ニ供フ但此規定ニ依リ難キ事情アルモノハ此限ニアラス

第六條　支廳長ハ驛遞所及土地建物馬匹手當金ノ廢設增減ヲ必要ト認ムルトキハ左ノ事項ヲ調査シ每年十一月限リ取纏メ北海道廳長官ニ進達スヘシ

一　驛遞所位置及隣村隣驛ノ里程ヲ記シタル圖面

二　土地建物ノ位置構造坪數及經費豫算金額ノ調査並圖面

三　馬匹購入費及手當金額

四　驛遞所及土地建物馬匹手當金ノ廢設增減ヲ要スル理由

取扱人任免及物件設備

第七條　驛遞取扱人ハ左ノ各號ニ該當スル者ニ限ル

一　二十年以上ノ男子ニシテ土地又ハ家屋ヲ有シ及業務上必要ノ設備ヲナスノ資力ヲ有スル者

二　人馬車繼立營業者宿屋營業者ノ資格ヲ有スル者

故意ヲ以テ郵便電信ニ關スル罪ヲ犯シ其刑ニ處セラレタル者又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者ハ驛遞取扱人タルコトヲ得ス

第八條　人馬車繼立營業組合設置ノ箇所ニ於テ驛遞取扱人タル資格ヲ有スル保證人ヲ立ツルヲ要ス

ツ但此規定ニ依リ難キ事情アルモノハ此限ニ非ス

第九條　支廳長ハ驛遞取扱人ヲ任免ス

支廳長ハ驛遞取扱人ヲ命スルトキハ第二號書ノ命令書及官設物件ヲ交付シ保證人連署ノ受書ヲ徵スヘシ

第十條　建物附屬物ハ官印ヲ押捺スルニアラサレハ取扱人ニ交付スルヲ得ス

馬匹ニハ第三號書ノ烙印ヲ左臀ニ押捺スルヲ要ス但滿二歲以下ノ仔馬ハ此限ニ在ラス

第十一條　支廳長ハ官馬ヲ不必要ト認メ賣渡サントスルトキハ北海道廳長官ノ認可ヲ受クヘシ

取扱人服務

第十二條　驛遞取扱人ハ驛遞所ニ居住シ命令ニ於テ示定スル所ノ營業ニ從事スヘシ

第十三條　驛遞取扱人ハ官設物件ニ對シ本規程及命令ノ定ムル所ニ依リ私費ヲ以テ保管ノ責ニ任ス
驛遞取扱人ハ私費ヲ以テ逃物及其附屬物修繕ノ義務ヲ負フ若其修繕ノ義務ヲ怠リタルトキハ官ニ於テ之ヲ修繕シ其費用ヲ驛遞取扱人ニ支辨セシムルコトアルヘシ

第十四條　官設物件ノ外營業上設備ヲ要スルモノハ驛遞取扱人ノ私費ヲ以テ支辨スヘシ但支廳長ハ特ニ其設備ノ種類員數及其增補ヲ命スルコトアルヘシ

第十五條　牧場地ニハ馬匹ノ逃逸ヲ防シ爲メ驛遞取扱人又ハ私費ヲ以テ第五條ノ人馬車繼立營業組合營業者共用ノ場合ニハ組合費ヲ以テ適當ナル柵垣ヲ設クヘシ但柵垣ノ必要ナキモノニシテ特ニ支廳長ノ認可ヲ得タルモノハ此限ニ非ス

第十六條　驛遞取扱人ハ官設馬匹ノ外支廳長ノ命スル所ニ依リ馬匹ヲ設備シ缺乏アルトキハ遲滯ナク之ヲ補缺スヘシ

官設馬匹ニ缺乏ヲ生シタルトキハ取扱人ハ遲滯ナク其缺數ヲ私馬ニ於テ增備スルヲ要ス

第十七條　驛遞取扱人ニ於テ私費ヲ以テ官設ノ土地建物ニ工事ヲ加ヘントスルトキハ仕樣方法書及圖面ヲ添ヘ支廳長ニ願出許可ヲ受クヘシ

驛遞取扱人罷免若ハ死亡シタルトキ又ハ官設ヲ廢止シタル場合ニ於テハ支廳長ハ期限ヲ指定シ取扱人又ハ其相續人ノ私費ヲ以テ原形ニ修復セシムヘシ此場合ニ於テ取扱人又ハ其相續人之ヲ修復セサルトキハ官ニ於テ之ヲ修復シ其費用ヲ支辨セシメ又ハ無償ニテ國ノ所有ニ移スコトアルヘシ

第十八條　馬匹ハ常ニ注意保護シ苟モ苛酷ノ取扱ヲ爲スヘカラス

第十九條　官設ノ牝馬ハ適當ノ期節ニ交尾ヲナサシメ努メテ蕃殖ヲ圖ルヘシ

官設牝馬ノ產シタル仔馬ハ滿三歲ニ至ルマテ取扱人ニ於テ私費ヲ以テ保管ノ義務ヲ負フモノトス

前項ノ仔馬滿三歲ニ至リタルトキハ支廳長ハ適當ノ處置ヲ爲スヘシ其仔馬ノ見積價格二百圓未滿ノモノハ隨意契約ヲ以テ驛遞取扱人ニ特賣スルコトヲ得

第二十條　官馬ノ生產死亡逃亡シタルトキ又ハ盜難ニ罹リタルトキハ驛遞取扱人ハ事實ヲ記シ遲滯ナク支廳ニ屆出ヘシ但死亡ノトキハ獸醫所在地ニ於テハ獸醫ノ鑑定書ヲ添フヘシ逃亡又ハ盜難ニ罹リタルトキハ前項屆出ト同時ニ警察官署ニ屆出ヘシ

前二項屆出ノ逃亡及盜難馬匹ノ所在發見シタルトキハ之ヲ支廳及警察官署ニ屆出ヘシ

第二十一條　官設ノ物件ハ目的以外ニ使用シ若ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第二十二條　驛遞取扱人ハ繼立賃金及宿泊料收入額ヲ各毎月ニ區分シ半箇年分ヲ取纏メ七月又一月ノ兩回ニ支廳ニ屆出ヘシ

第二十三條　驛遞取扱人罷免セラレタルトキ若ハ死亡シタルトキハ驛遞取扱人又ハ其相續人ハ三十日以內ニ保管ノ物件ヲ返納スヘシ但支廳長ハ特ニ其返納期日ヲ指定スルコトヲ得

第二十四條　驛遞取扱人又ハ其相續人ノ故意怠慢ニ因リ官設ノ物件ヲ毀損失亡シタルトキハ相當代價ヲ辨償セシムヘシ

第二十五條　驛遞取扱人本規程又ハ命令ニ違背シタルトキ若ハ人馬車繼立營業取締規則宿屋取締規則ニ違背シタルトキ又ハ支廳長ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキハ支廳長ハ其情狀ニ依リ取扱人ヲ罷免シ又ハ二ケ月以內ノ手當金ヲ支給セサルコトアルヘシ

第二十六條　驛遞取扱人罷免セラレタルトキ又ハ官設物件及手當金ヲ增減廢止セラレタルトキハ何等ノ損失アルモ其賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十七條　驛遞取扱人ノ手當金ハ其月末日之ヲ支給ス新ニ驛遞取扱人ヲ命シタルトキ又ハ解免死亡ノトキ若ハ手當金ヲ增減シタルトキハ其月手當金ハ日割ヲ以テ支給ス

臺帳及監督

第二十八條　支廳長ハ第四號書ニ依リ驛遞當帳ヲ製スヘシ

第二十九條　支廳長ハ驛遞取扱人ヲ任免シ又ハ土地建物馬匹手當金ヲ廢設變更シタルトキハ北海道廳長官ニ報告シ及警察官署ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル警察官署ハ其通知ノ事項ヲ人馬車繼立營業臺帳及宿屋營業臺帳ニ記入スヘシ

第三十條　支廳長ハ毎年一回以上驛遞所ニ就キ左ノ事項ヲ檢査シ其狀況ヲ北海道廳長官ニ報告スヘシ

一　官馬ノ狀況（第五號書ニ依ルヘシ）

二　官馬以外ノ繼立用馬匹數

三　土地建物並附屬物件ノ狀況

四　營業用品設備ノ狀況

五　人馬車繼立賃金及宿泊料收入簿ノ整否及收支損益ノ狀況

六　現在設備ニ對スル需要供給ノ狀況

警察官署ニ於テ驛遞取扱人タル人馬車繼立營業者又ハ宿屋營業者ヲ檢査スルトキハ前項ノ各號ヲ視察シ異狀ヲ認メタルトキハ所轄支廳長ニ報告スヘシ

支廳長及警察官署ニ於テ官ノ種馬ヲ借用セル驛遞取扱人ニ人馬車繼立營業取締規則宿屋取締規則及驛遞所設置規程違背ノ行爲アルヲ認メタルトキハ事實ヲ具シ北海道廳長官ニ報告スヘシ

第三十一條　警察官署ニ於テ驛遞取扱人タル人馬車繼立營業者又ハ宿屋營業者ニ人馬車繼立營業取締規則第十九條第二十條第二十一條宿屋取締規則第三條第二項第四條第三十七條ノ處分ヲナシタルトキハ支廳長ニ報告スヘシ

驛遞所調

國名	郡名	驛名	事由
渡島	松前	福山	放牧場ハ官地ナリ
同	同	江差	同
同	久遠	町遠	手當金給與サル
同	同	澗	同
後志	太櫓	生ヶ	官設建物及手當金給與サル
同	同	口	同
同	瀬棚	秩多	同
同	同	珍古	手當金給與サル
同	同	邊牛	放牧地ハ官地ナリ
同	島牧	戰	手當金給與サル
同	壽都	歌永	放牧地ハ官地ナリ
同	磯谷	島古	手當金給與サル
同	同	兒布	官設建物馬匹及手當金給與サル
同	同	内川	官設建物及官馬備付
膽振	虻田	俱知安	官設建物官馬及手當金給與サル
同	同	メム	官設建物及手當金給與サル
同	同	礼文華	手當金給與
同	同	虻田	官馬備付
同	同	真狩	同
同	同	真狩別	同

同	同	憂茂別	官馬備付及手當金給與
同	同	中山	官設建物官馬及手當金給與
同	同	留邊都	官馬備付
同	同	早來	手當金給與
同	同	勇拂	同
同	同	鵡川	同
同	同	似湾	官設建物官馬及手當金與給
日高	沙流	門別	手當金給與
同	同	厚別	同
同	新冠	下々方	同
同	三石	姨布	官馬備付及手當金給與
同	浦河	浦河	同
同	様似	様似	手當金給與
同	幌泉	幌泉	同
同	同	庶野	官馬備付及手當金給與
同	同	猿留	同
十勝	廣尾	廣尾	手當金給與
同	同	サシラルンベ	官設建物及手當金給與
同	當縁	歴舟	手當金給與

欠

MISSING

石狩	空知太	官廳建物	同
同	同	同 官馬備付	同
空知	雨龍	官馬備付及手當金給與	同
同	同	同	同
同	同	官廳建物官馬備付及手當金給與	同
同	同	同	同
同	同	官馬備付及手當金給與	同
同	同	同	同
同	同	官廳建物及馬備付	同
同	同	同	同
同	同	手當金給與	同
同	同	官廳建物	同
同	同	手當金給與	同
同	同	官馬備付及手當金給與	同
同	同	官廳建物及手當金給與	同

同	同	増毛	官馬備付
同	同	仁奈耳	官設建物官馬備付及手當金給與
同	同	ガロー	手當金給與
同	留萌	留萌	官馬備付
同	同	鬼鹿	同
同	苫前	苫前	同
同	同	栗參別	官馬備付及手當金給與
同	天鹽	遠別	官設建物官馬備付及手當金給與
同	同	天鹽	手當金給與及官馬備付
同	同	オトンルイ	官設建物及手當金給與
同	同	稚咲内	官設建物官馬備付及手當金給與
千島	國後	泊	官馬備付及手當金給與
同	同	東沸	手當金給與
同	同	瀬石	官馬備付及手當金給與
同	同	乳呑路	同
同	同	植内	同
同	擇捉	内保	官設建物官馬備付及手當金給與
同	同	イリヽブシ	同
同	振別	留別	官馬備付及手當金給與

同	同	グヤ	官設建物官馬備付及手當金給與
同	同	テイネー	同
同	紗那	紗那	官馬備付及手當金給與
同	同	年萌	官設建物官馬備付手當金給與
同	同	別飛	同
同	蘂取	蘂取	同
同	同	ソキヤ	同
同	同	ホロス	同

計　百五十八ヶ所

備考　前表ノ箇所ハ三十三年九月十一日現在ナリ

同	同	増毛	官馬備付
同	同	仁奈貝	官設建物官馬備付及手當金給與
同	同	カロー	手當金給與
同	留萠	留萠	官馬備付
同	同	鬼鹿	同
同	苫前	苫前	同
同	同	聚參別	官馬備付及手當金給與
同	天鹽	遠別	官設建物官馬備付及手當金給與
同	同	天鹽	手當金給與及官馬備付
同	同	オトンルイ	官設建物及手當金給與
同	同	稚咲内	官設建物官馬備付及手當金給與
千島	國後	泊	官馬備付及手當金給與
同	同	東沸	手當金給與
同	同	瀬石	官馬備付及手當金給與
同	同	乳呑路	同
同	同	植内	同
同	擇捉	内保	官設建物官馬備付及手當金給與
同	同	イリ、プシ	同
同	振別	留別	官馬備付及手當金給與

同	同	ケヤ	官設建物官馬備付及手當金給與
同	同	テイネー	同
同	紗那	紗那	官馬備付及手當金給與
同	同	年萌	官設建物官馬備付手當金給與
同	同	別飛	同
同	蘂取	蘂取	同
同	同	ソキヤ	同
同	同	ホロス	同

計　百五十八ヶ所

備考　前表ノ箇所ハ三十三年九月十一日現在ナリ

43
138

23/6/35

明治三十五年五月十七日印刷
明治三十五年五月二十日發行

增補北海誌料與附
海紀行

東京市神田區裏神保町九番地
發行者 合資會社 富山房
合資會社富山房社長 坂本嘉治馬

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地
印刷者 青木弘

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地
印刷所 株式會社 秀英舍

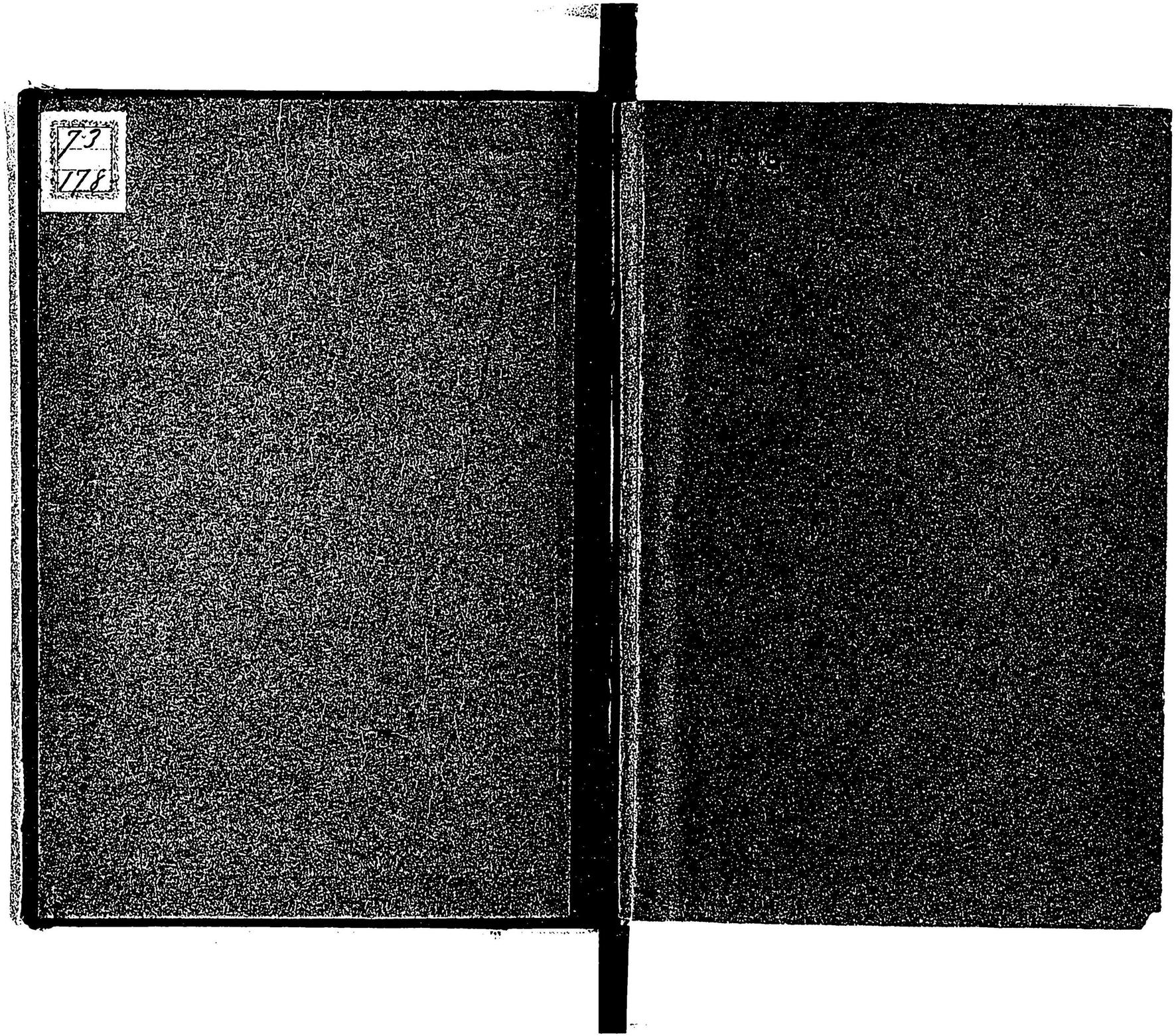
發兌書肆
合資會社 富山房
長距離電話本局一〇三六番 電報ヤマフ加入

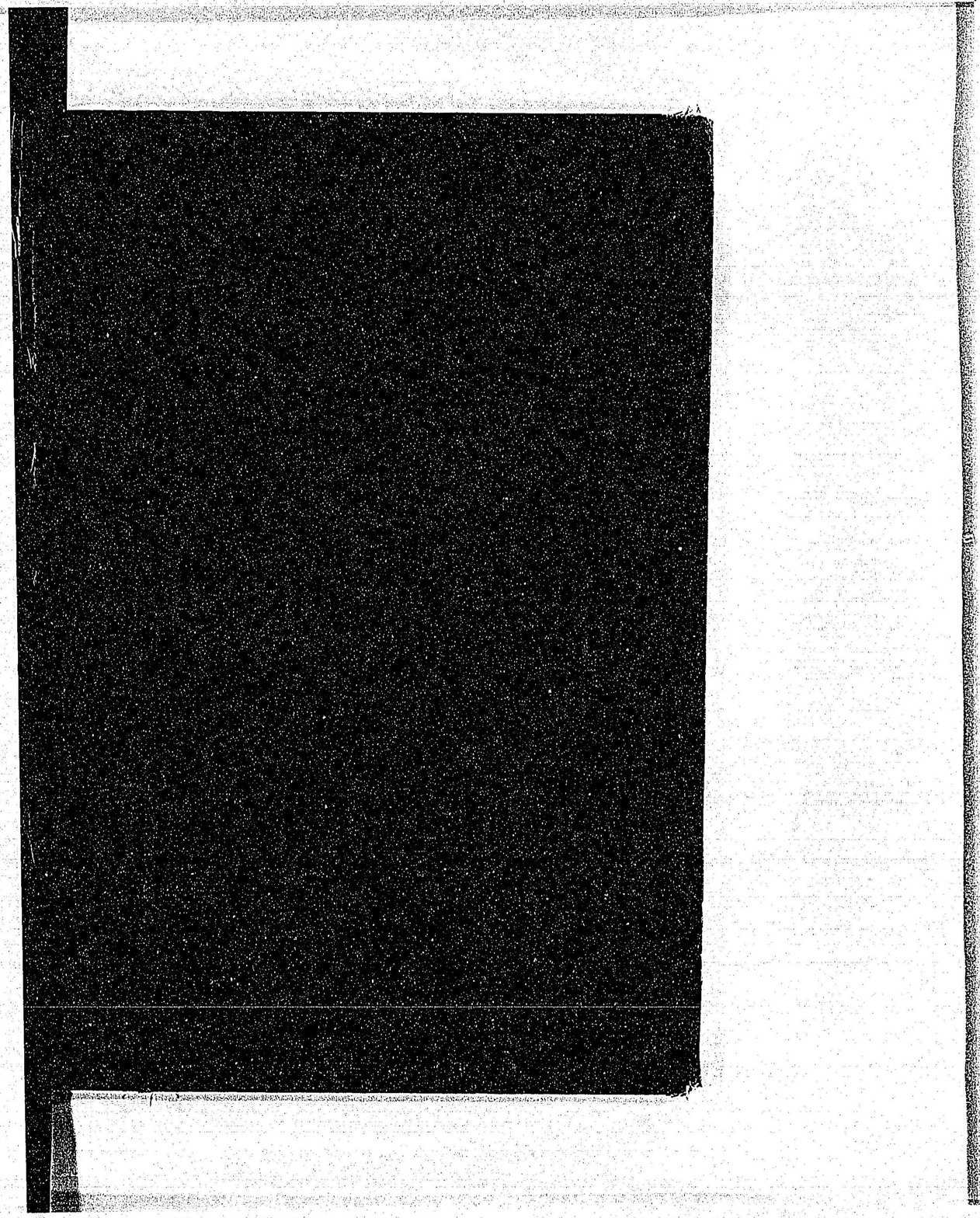
版權所有

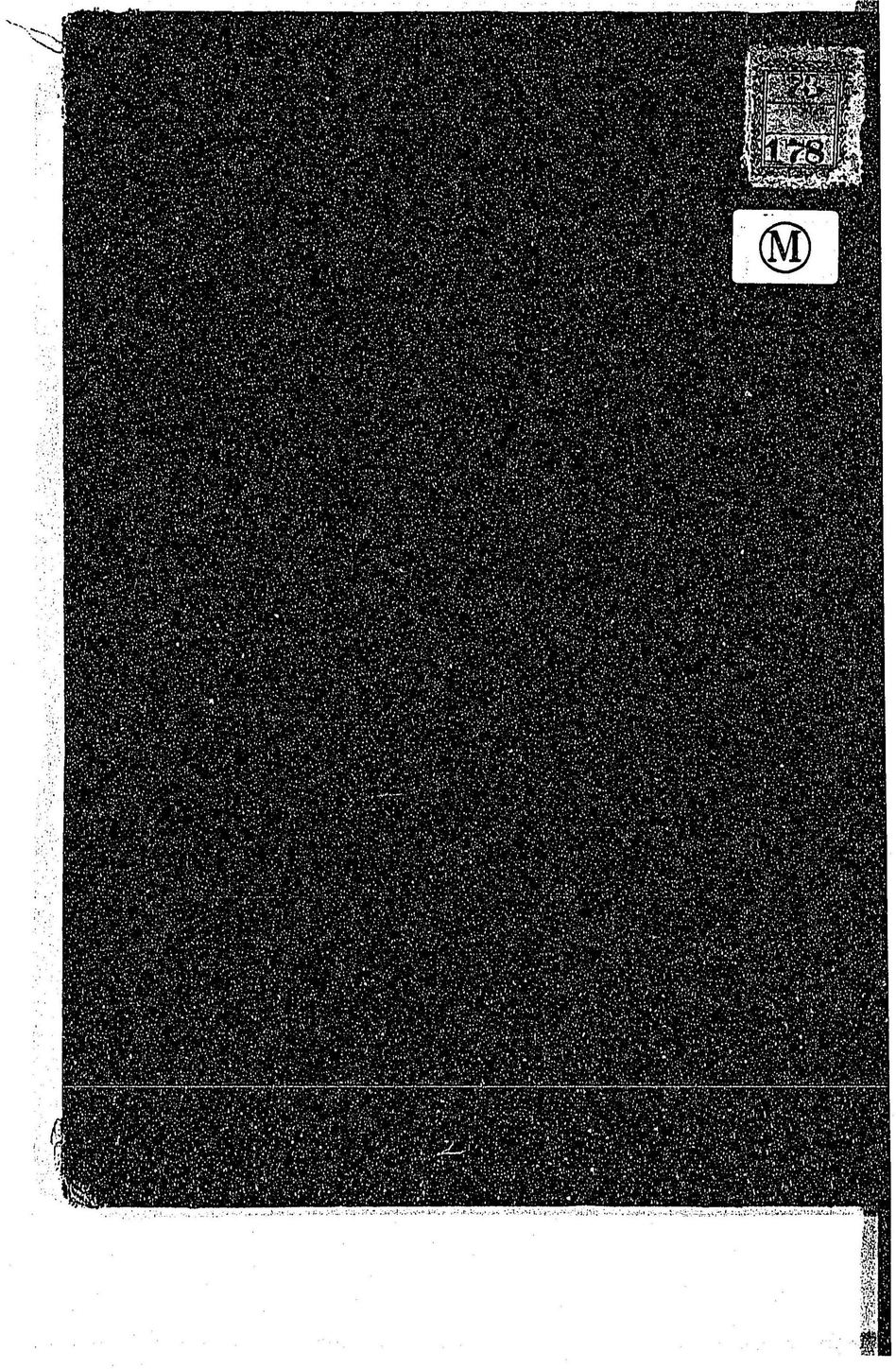
合資會社 富山房出版圖書特約販賣店

東京神田區	東京堂
仝	播磨屋
仝	寶永館
仝日本橋區	林平次郎
仝	青野友三郎
仝京橋區	東海堂
京都下京區	松田庄助
仝仝	若林茂一郎
仝篠山	小山富之助
大阪東區	吉岡平助
仝仝	三宅荘藏
北海道札幌	振進堂書店
仝仝	富貴堂
北海道函館	魁文舍
仝小樽	川南重祐
神奈川横濱	弘集堂書店
兵庫神戸	吉岡支店
長崎市	安中虎與號
新潟長岡	目黒十郎
仝水原	西村六平
仝長岡	愛張治平
仝高田	高橋揩店
仝頸城	川崎貞治
仝佐渡	浦本介一
埼玉鴻巣	長島爲一郎
仝浦和	高野幸吉
群馬前橋	煥平堂書店
仝仝	文江堂書店
千葉東金	多田屋本店
千葉千葉町	多田屋支店
茨城水戸	川又銀藏
仝土浦	伊沼彌助
仝眞壁	寺田清兵衛
栃木宇都宮	内田濱吉
愛知名古屋	川瀬代助
仝仝	永東書店
仝仝	三輪文次郎
靜岡靜岡市	吉見書店
仝濱松	谷島屋書店
山梨甲府	柳正堂書店
仝仝	内藤書店
滋賀彦根	廣田七四郎
岐阜岐阜市	郁文堂
仝可兒郡	堀田幾三郎
長野長野市	西澤喜太郎
仝松本	水翠堂
仝長野市	荻原朝陽館
仝上諏訪	日新堂書店
宮城仙臺	隣崎書店
仝	有千閣
福島郡山	磐屋堂
仝會津	森萬作
岩手一ノ關	文港堂書店
仝盛岡	上村才六
青森弘前	今泉道次郎
仝八戸	伊吉商店
山形山形市	牧野徳太郎
秋田秋田市	成見清兵衛
秋田大館	藤島富三郎
福井福井市	中村六三郎
仝仝	日新館
石川金澤市	宇都宮源平
富山富山市	中田清兵衛
仝高岡市	學海堂
鳥取豐岡	石田松造
島根濱田	安達共榮堂
岡山岡山市	森博文堂
仝	竹内彌三郎
仝津山	仁科書店
廣島廣島市	積善館支店
山口山口市	小原松千代
仝岩國	白銀伊兵衛
徳島徳島市	黒崎精二
香川丸龜	入江開文舍
愛媛松山	土肥與平
高知市	澤本駒吉
福岡博多	積善館支店
仝博多	眞海書店
仝久留米	菊竹書店
仝仝	田中幸次郎
仝豐津町	佐野長七
大分大分町	甲斐治平
仝仝	安東平太郎
佐賀市	河内莊助
熊本熊本市	長崎次郎
宮崎宮崎市	津野書店
鹿兒島鹿兒島市	吉田幸兵衛

73
178


73
178





023235−000−9

73−178

北海誌料（北海紀行）

林 顕三／編

M35

ADC−0082